

# 大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事（建築）

図 面 リ ス ト							
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト	A-16	3階天井伏図(校舎)	A-32	立面図(2)(屋内運動場)	M-00	表紙・図面リスト
A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	A-17	矩計図(管理・教室棟)	A-33	屋根伏図(屋内運動場)	M-01	機械設備工事特記仕様書(その1)
A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	A-18	矩計図(特別教室棟)	A-34	1階天井伏図(屋内運動場)	M-02	機械設備工事特記仕様書(その2)
A-03	建築改修工事特記仕様書(その3)	A-19	矩計図(普通教室棟)	A-35	2階天井伏図(屋内運動場)	M-03	付近見取図・配置図
A-04	建築改修工事特記仕様書(その4)	A-20	塔屋平面図・断面図(特別教室棟)	A-36	矩計図(1)(屋内運動場)	M-04	空調設備 1階平面図(改修)
A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)	A-21	屋上平面図・断面図(普通教室棟)	A-37	矩計図(2)(屋内運動場)	M-05	空調設備 2階平面図(改修)
A-06	付近見取図・配置図	A-22	屋根改修詳細図(1)(校舎)	A-38	屋根改修詳細図(屋内運動場)	M-06	空調設備 3階平面図(改修)
A-07	改修仕上表(校舎)	A-23	屋根改修詳細図(2)(校舎)	A-39	外部建具表(屋内運動場)	M-07	空調設備 1階平面図(既存)
A-08	1階平面図・外部建具キープラン(校舎)	A-24	外部建具表(1)(校舎)			M-08	空調設備 2階平面図(既存)
A-09	2階平面図・外部建具キープラン(校舎)	A-25	外部建具表(2)(校舎)	—	I期工事仮設計画図(参考図)	M-09	空調設備 3階平面図(既存)
A-10	3階平面図・外部建具キープラン(校舎)	A-26	外部建具表(3)(校舎)	—	II期工事仮設計画図(参考図)		
A-11	立面図(1)(校舎)	A-27	屋外階段断面詳細図(普通教室棟)				
A-12	立面図(2)(校舎)	A-28	改修仕上表(屋内運動場)				
A-13	屋根伏図(校舎)	A-29	1階平面図・外部建具キープラン(屋内運動場)				
A-14	1階天井伏図(校舎)	A-30	2階平面図・外部建具キープラン(屋内運動場)				
A-15	2階天井伏図(校舎)	A-31	立面図(1)(屋内運動場)				

令和6年度  
株式会社 マック

# 建築改修工事特記仕様書

大 津 町

建築改修工事特記仕様書	大津町	建築士事務所名	1級建築士事務所 一級建築士事務所	熊本県知事登録 株式会社 マック	1889号	工 事 名 称	大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事	
		設 計 者 氏 名	1級建築士	大臣登録第 松本 義勝	344205 印	号	図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書（その１）  図面番号 A-01









8  
の  
0

耐震改修工事  
  
鉄骨工事

(鉄骨工事一般事項)  
鉄骨製作工場

・監督員の承認する工場  
・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(※)日本鉄骨評価センター又は(※)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める、下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場  
H・M・R・J グレード  
・下記の条件を満たしている工場  
イ) WBS103 1級 ( )名以上 2級 ( )名以上  
ロ) NDIUT 面積 ( )名以上 II 種 ( )名以上  
ハ) 超常設検査機 ( )台以上  
ニ) 鉄骨製作管理技術者 1級 ( )名以上 2級 ( )名以上  
ホ) 半自動溶接技術者  
下向及び横内で板厚 ( )mmの資格を有するもの ( )名以上  
ヘ) 手溶接技術者  
下向及び横内で板厚 ( )mmの資格を有するもの ( )名以上

鉄骨製作管理技術者の活用  
適用 ・しない。 ・する。

材質 [表8.2.7] により表7.2.1) [表7.2.1) [表8.2.8] [表8.2.7]  
種類の記号 形状・寸法 適用箇所  
※ 表示による ( )  
※ 表示による ( )

高力ボルトの使用 [8.2.9]  
・トルシヤ形高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)  
・JIS形高力ボルト  
・溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)  
ねじの呼び径 ※ 表示による ( )

仮組  
・実施する ( ) ・実施しない (7.3.10) [8.13.10]

技能資格者  
溶接作業における技能資格者の技量付加試験 (7.6.3) [8.16.3]  
・実施する ( ) ・実施しない

溶接接合)  
溶接条件  
入熱、パス間温度の溶接条件 (7.6.10) [8.15.10]  
適用箇所 ・ 表示による  
・ 柱、梁、ブレース接合部の完全溶け込み溶接部

溶接部の試験  
溶接部の外観試験 [8.15.12]  
「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月3日建設省告示第1464号)第二条に関する補則試験方法等  
JASS6付属B(鉄骨強度検査基準)の付表3「溶接」に関する補則試験方法等  
完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験  
・行わない  
・行う (全ての溶接部について試験を行う)

耐火被覆)  
耐火被覆材の種類及び性能 [8.18.2～8]  

種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所
・耐火材 吹付け [8.18.4]	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		
・耐火板 張り [8.18.5]	・繊維強化入り炭化シリウム板		
・耐火材 巻付け [8.18.6]	・高断熱ロックウール		
・ラス張り モルタル塗り [8.18.7]			
・耐火塗料 [8.18.8]			

溶融亜鉛めっき  
高力ボルト接合  
摩損面の処理 [8.20.6]  
・プラスト処理 ・りん酸塩処理 ( )

8  
の  
8

耐震改修工事  
  
連続繊維補強工事

3 連続繊維シートでの施工準備

仕上りモルタルの除去  
※ 既存構造物全面で除去する ・ モルタル除去は行わない (8.24.6)  
既存モルタルの圧縮強度測定  
・行う ( ) ・行わない  
ひび割れ部の修復  
・行わない  
・行う  
範囲 ※ 表示による ( )  
工法の種類 ※ 表示による ( )  
柱及び梁の隅角部における面取りの大きさ  
※ 工法の詳細内容により、半径は20mm又は30mmとする。( )

炭素繊維補強シートの施工  
炭素繊維の目付量  
※ 表示 ・ 200g/m<sup>2</sup> ・ 300g/m<sup>2</sup> ( )  
炭素繊維シートの手書き数  
※ 表示 ・ 1書き ・ 2書き ( )  
引張強度試験 [8.24.6]  
・実施する (JIS A 1191に準拠する)※ 実施しない  
試験数量 ( )  
付着強度試験  
・実施する (JIS A 6909に準拠する)※ 実施しない  
試験数量 ( )

5 連続繊維補強材の強度試験

耐震スリットの種類及び形状 [8.25.1] [8.25.2]  
完全スリットの形状  

記号	一般型	一面せん断型
形状	※ 表示	※ 表示
幅W (mm)	※ 表示	※ 表示
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい	・ 切断してよい ・

  
部分スリットの形状  

記号	片側スリット	両面スリット
形状	※ 表示	※ 表示
幅W (mm)	※ 表示	※ 表示
基礎部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ t <sub>ef</sub> (mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ t <sub>ef</sub> (mm)
既存鉄筋の処理	・ 存在する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい	・ 存在する ・ 切断してよい

  
耐震スリット部の配管等の調査 [8.25.2]  
範囲 ※ 耐震スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去の範囲全て。  
・ 表示による ( )  
方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知器)により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。  
・ はつり出しによる ( )  
耐震スリットの逃げ位置  
・ 梁との接合部 ( )  
壁上部端  
・ 柱の仕上げを逃けたきわ部 ( )  
壁下部端  
・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ( )

2 耐震スリットの施工

1 基礎工事に用いる材料 [8.2.16]  
砂利地盤に使用する砂利  
・ 再生クワッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石  
砂利等に使用する砂  
・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めた山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂  
枕の材料 ※ 表示による ( )  
継ぎ手の箇所、材料、工法 (枕に継ぎ手を設ける場合)  
※ 表示による

2 土工事 [8.28.3] [表8.28.1]  
埋戻し及び盛土の材料並びに工法  
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ( )  
建設局生地の処理 [8.28.3]  
※ 改善措置8.28.3(2)(エ)による 表示による  
崩壊防止措置 [8.28.3]  
※ 改善措置8.28.3(3)(ク)による 表示による ( )  
山留め壁等  
※ 撤去する ・ 存置する

3 地業工事 [8.28.4]  
試験坑の位置、本数及び寸法  
※ 表示による  
教育試験  

教育試験	坑の教育試験	地盤の教育試験
・ 鉛直教育試験 ・ 水平教育試験		・ 平板教育試験
試験位置、本数、教育荷重等	※ 表示による ・ 位置 ( ) ・ 本数 ( ) ・ 教育荷重 ( )	※ 表示による ・ 位置 ( ) ・ 教育荷重 ( )
試験の方法	・ 表示による ( ) ・ ( ) ( )	・ 表示による ( ) ・ ( ) ( )
報告書の記載事項等	・ 表示による ( ) ・ ( ) ( )	・ 表示による ( ) ・ ( ) ( )

  
枕地盤の工法等  

工法	※ 表示による ( )
支保層の位置、土質	※ 表示による ・ 位置 ( ) 土質 ( )
枕の投入長さ	※ 表示による ( )
枕の水平方向の位置ずれの程度	※ 表示による ( )
枕の寸法	※ 表示による ( )
技術資格者の技量、溶接部の確認	※ 表示による
枕頭部の処理	・ 必要 ・ 不要
本枕の施工方法	・ 改善措置8.28.4(3)(h)による ・ 表示による

  
砂利、砂、砕コンクリート地盤等  

砂利及び砂地盤の範囲及び厚さ	範囲	※ 表示による ( )
砕コンクリートの範囲及び厚さ <th>範囲</th> <th>※ 表示による ( )</th>	範囲	※ 表示による ( )

8  
の  
0

環境配慮  
(グリーン)改修工事

○ 1 石綿含有建材の処理

とりこわし工事前に先行し、飛散性石綿含有建材の除去工事を行う。  
た り こ わ し 工 事 の 施 工 場 所  
※ 除去処理  
・ 封じ込め処理  
建築物などの保全技術 ・ 技術審査証明事業により証明された業者及び工法とする  
石綿含有建材除去後の仕上がり工事 ・ 表示による ( )  
石綿含有建材の調査 [1.5.1]  
※ 行う  
調査範囲 ( )  
貸与する既存調査報告書等 ( )  
分析による石綿含有調査  
・ 行う 分析方法 ( ) ・ 行わない  
石綿防じん濃度測定  
・ 行う ・ 行わない  

測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考
処理作業前	測定1	処理作業室内	※各室共 50㎡以下 2点 50㎡～300㎡以下 3点	
処理作業中	測定2	調査対象室外部の付近	2点 大気	
測定3	測定4	処理作業室内	※に同じ	
測定5	負圧、除じん装置の排出口	2点 大気		
測定6	風速1m/s以下の位置	2点		
測定7	処理作業室内	2点		
測定8	調査対象室外部の付近	2点 大気		

  
・ 石綿含有吹付け材の除去 [9.1.3]  
工法 ※ 改善措置9.1.3(2)(ア)による ・ 表示による  
飛散防止措置 ※ 塵化した ・ 塵化した  
処分 ・ 改善措置9.1.3(3)(ニ)(a)による ・ 改善措置9.1.3(3)(ニ)(b)による  
・ 石綿含有保護材等の除去 [9.1.4]  
除去方法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし  
飛散防止措置 ※ 塵化した ・ 塵化した  
処分 ・ 改善措置9.1.3(3)(ニ)(a)による ・ 改善措置9.1.3(3)(ニ)(b)による  
・ 石綿含有成形板の除去 [9.1.5]  
石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分 ・ 中間処理  
アスベスト成形板の保護等  

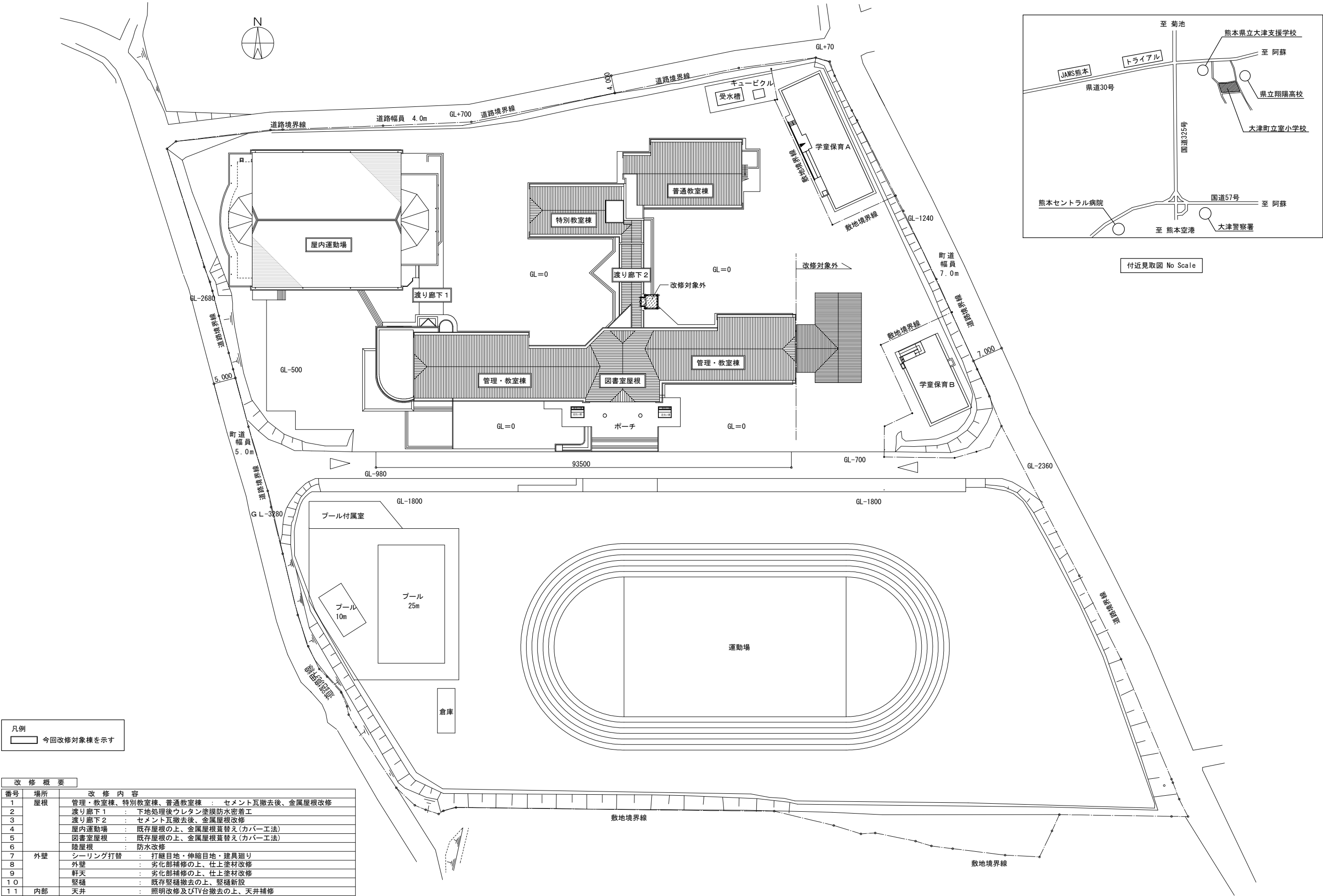
種 別	厚 さ (mm)	備 考
・ 化粧せつこうボード	・ 9.5	・
・ ビニル床タイル	・ 2.0	・

  
・ 石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6]  
除去方法 ・ 剥離剤 ・ 高圧水 ・ 電動グラインダー ( )  
汚泥としての処理 ・ 適用する ・ 適用しない

2 断熱材

外断熱及び断熱材打込み工法 [9.2.2] [9.8.2]  

種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
・ 押出法			



※関係法令に基づく届け出を行うこと。

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

Architect  
Architect

Date  
R 6 . 0 3

Project  
大津町立室小中学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
付近見取図・配置図



Scale  
A1 : 1 / 400  
A3 : 1 / 800  
Drawing No.  
A - 0 6

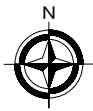
内 外 部 改 修 仕 上 表					
	符号	改修工事項目	改修工事内容		
外部	①	屋根 1 (普通教室棟)	改修前	コンクリート打放しの上 発泡スチロールt=25、木製瓦葺：35×45φ370、化粧セメント瓦葺き	【撤去】
			改修後	既存コンクリートの上 高圧水洗浄 嵌合式立平H-45 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 Z型補強下地 ガルバリウム鋼板 t=2.3 片面2層発泡アルミフォーム t=29 防水材：片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2	【新設】
	②	屋根 2 (管理・教室棟)	改修前	コンクリート打放しの上 発泡スチロールt=25、化粧セメント瓦葺き	【撤去】
			改修後	既存コンクリートの上 高圧水洗浄 嵌合式立平H-45 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 片面2層発泡アルミフォーム t=9 防水材：片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2	【新設】
	③	屋根 3 (図書室上部屋根)	改修前	コンクリート打放しの上 金属板葺き	【既存のまま】
			改修後	既存屋根の上 高圧水洗浄 嵌合式立平H-45カバー工法 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 片面2層発泡アルミフォーム t=9 防水材：片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2	【新設】
	④	屋根 4 (管理・教室棟 陸屋根)	改修前	コンクリート打放しの上、露出アスファルト防水(平場 既存のまま)(立上り部、防水押えアングル共 撤去)	【防水改修】
			改修後	【M40工法】既存防水の上、高圧水洗浄、アスファルト屋根露出防水密着工法 (G-1) 防水押えアングル(シーリング共)	【新設】
	⑤	屋根 5 (特別教室棟塔屋)	改修前	コンクリート打放しの上、露出アスファルト防水(平場 既存のまま)(立上り部、防水押えアングル共 撤去)	【防水改修】
			改修後	既存防水の上、高圧水洗浄の上、改質水性アスファルト系塗膜防水工法(ナルファルト防水改修工法同等以上)	【新設】
	⑥	軒樋 1	改修前	防水モルタル	【防水改修】
			改修後	既存防水モルタルの上、高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	【新設】
	⑦	軒樋 2	改修前	防水モルタル下地の上、塗膜防水	【防水改修】
			改修後	既存防水の上、高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	【新設】
	⑧	縦樋 1	改修前	VP管φ50 SOP塗装、ステンレス掴み金物	【撤去】
			改修後	カラーVP管φ50、ステンレス掴み金物	【新設】
	⑨	縦樋 2	改修前	VP管φ100 SOP塗装、ステンレス掴み金物	【撤去】
			改修後	カラーVP管φ100、ステンレス掴み金物	【新設】
	⑨b	養生管	改修前	養生管 鋼管φ125 SOP塗装	【塗替】
			改修後	下調整 (RB種)の上、DP塗装	【塗替】
	⑩	ドレン 1	改修前	ルーフドレン (鋳鉄製) φ50	【撤去】
			改修後	改修用ドレンφ50用	【新設】
	⑪	ドレン 2	改修前	ルーフドレン (鋳鉄製) φ100	【撤去】
			改修後	改修用ドレンφ100用	【新設】
	⑫	外壁 1	改修前	コンクリート打放し(特殊樹脂化粧型枠)	【塗替】
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【塗替】
	⑬	外壁 2	改修前	コンクリート打放し 複層塗材E	下地調整材にアスベスト含有
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【塗替】
	⑭	外壁 3	改修前	コンクリート打放し	【清掃】
			改修後	既存面 高圧水洗浄	【清掃】
	⑮	外壁 4	改修前	コンクリート打放し アクリルクリヤー塗装	下地調整材にアスベスト含有
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【塗替】
⑯	軒裏 1	改修前	コンクリート打放し 複層仕上塗材	下地調整材にアスベスト含有	
		改修後	既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【塗替】	
⑰	軒裏 2	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E	下地調整材にアスベスト含有	
		改修後	既存面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E	【塗替】	
⑱	打継目地	改修前	PU-2・20×15	【撤去】	
		改修後	PU-2・20×15	【新設】	
⑲	伸縮目地	改修前	PU-2・20×15	【撤去】	
		改修後	PU-2・20×15	【新設】	
⑳	建具廻りシーリング	改修前	MS-2・10×15	【撤去】	
		改修後	MS-2・10×15	【新設】	
㉑	点検ハッチ	改修前	鋼製点検ハッチ600角	【撤去】	
		改修後	ステンレス製点検ハッチ600角(カギ付)	【新設】	
㉒	外部階段(普通教室棟)	改修前	外部階段 SOP塗装	【塗替】	
		改修後	既存下地調整 (RB種)の上、DP塗装	【塗替】	
㉓	建具改修	改修前	引き違い窓(ランマ W1,720 H570) (ガラス共)	【撤去】	
		改修後	引き違い窓(ランマ W1,620 H430) (ガラス共) (カバー工法)	【新設】	
㉔	E X P、J カバー	改修前	アルミ製 t=12.5 E X P、J カバー	【撤去】	
		改修後	アルミ製 t=12.5 E X P、J カバー	【新設】	
㉕	庇	改修前	防水モルタル	【撤去】	
		改修後	既存防水モルタルの上、高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	【新設】	
㉖	手摺壁 (コンクリートブロック)	改修前	コンクリートブロック	【清掃】	
		改修後	既存面 高圧水洗浄	【清掃】	
㉗	建具	改修前	鋼製建具	【塗替】	
		改修後	下調整 (RB種)の上、DP塗装	【塗替】	
㉘	手摺	改修前	鋼管φ42.7 SOP塗装	【塗替】	
		改修後	下調整 (RB種)の上、DP塗装	【塗替】	

仕 上 特 記 仕 様 書
使用する特定建材（下地、接着材、内装材、塗料等）は全てF☆☆☆☆とする。
特記なき限り外壁に取付ける金物の雨掛り部周囲はシール材を充填すること。
高圧水洗浄の高圧ポンプ種別は、高圧水洗浄：10～15MPa程度とする。

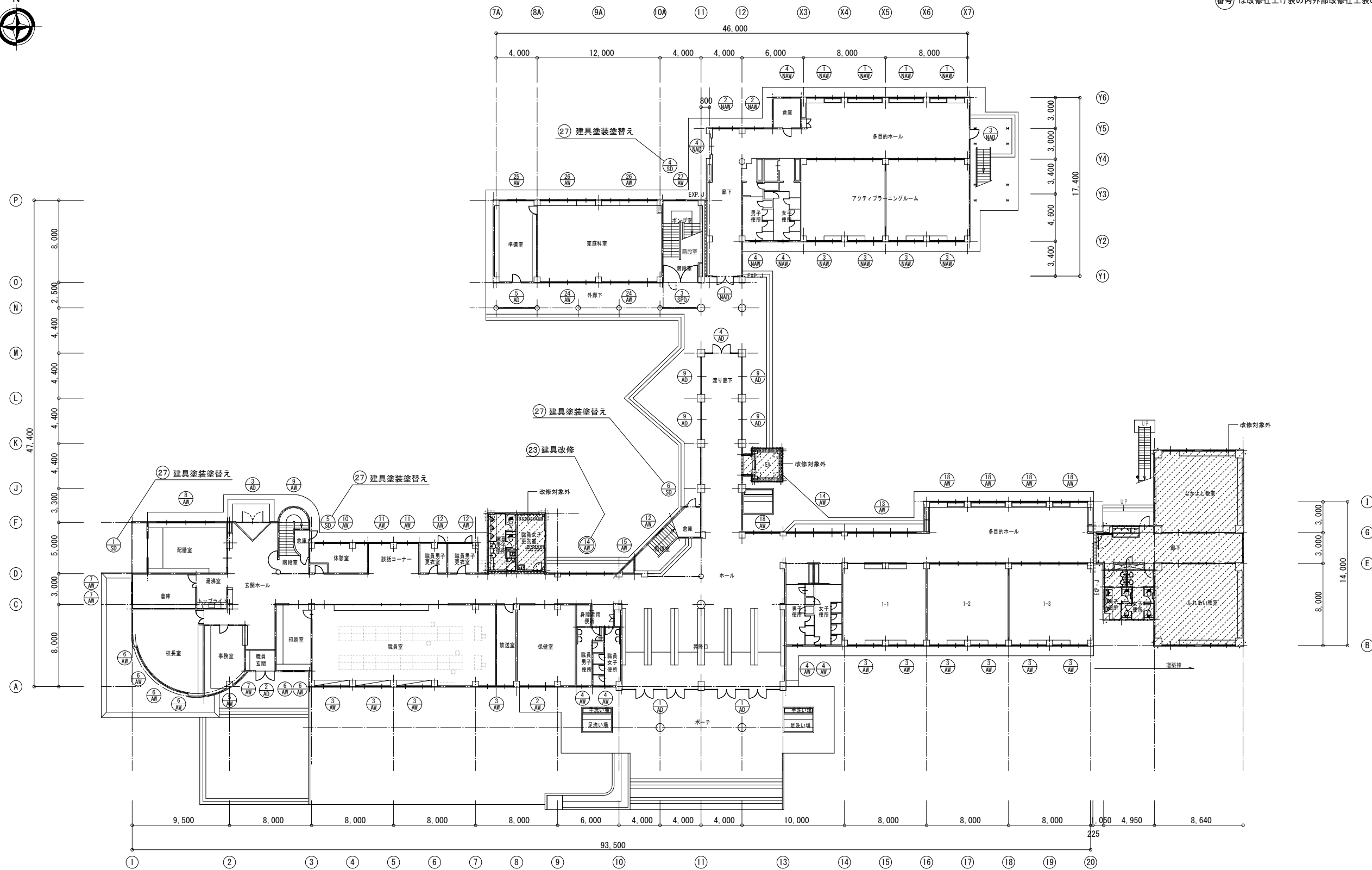
表 示 略 号		
部位	表示略号	表 示 事 項
塗 装	S O P	合成樹脂調合ペイント塗り
	D P	耐候性塗料塗り

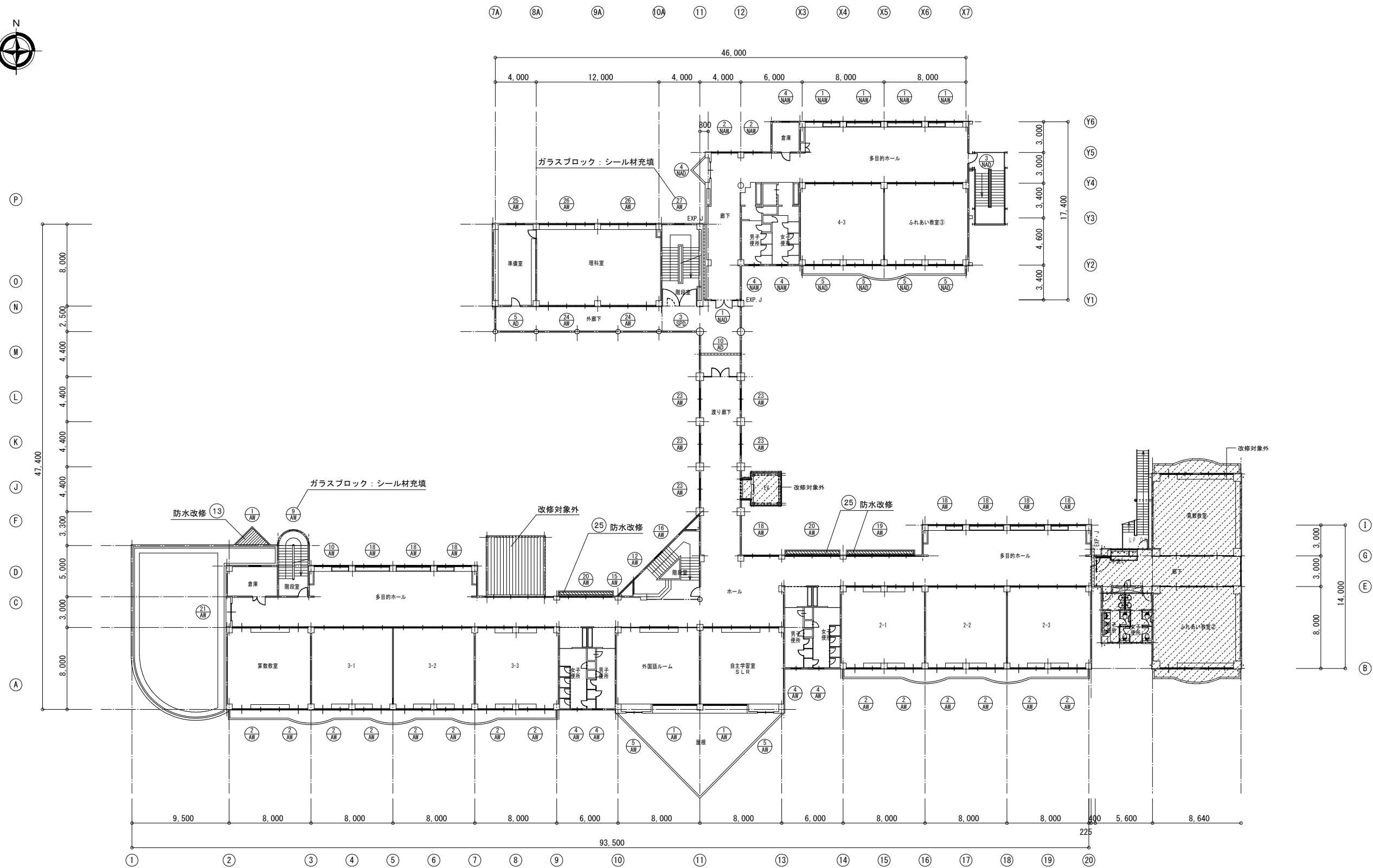
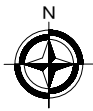
備考)  
1) 天井改修範囲は天井伏図を参照のこと。

2) ガラスブロック   は既存シールの上にシール材（SR-2 20×10）を充填のこと。

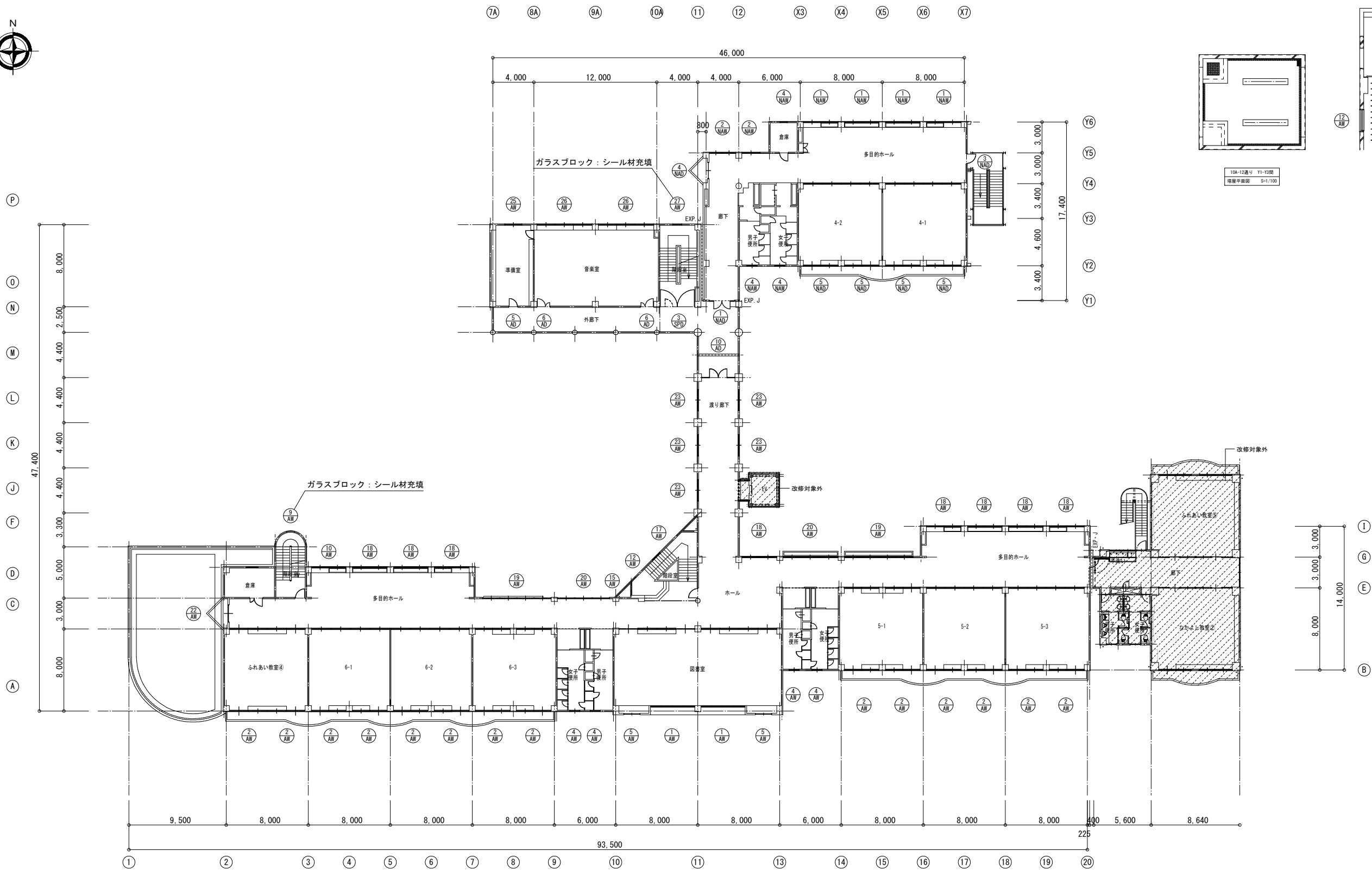


備考)  
(番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。





2階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200

参考図

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

Architect  
Architect

Date  
R 6 . 0 3

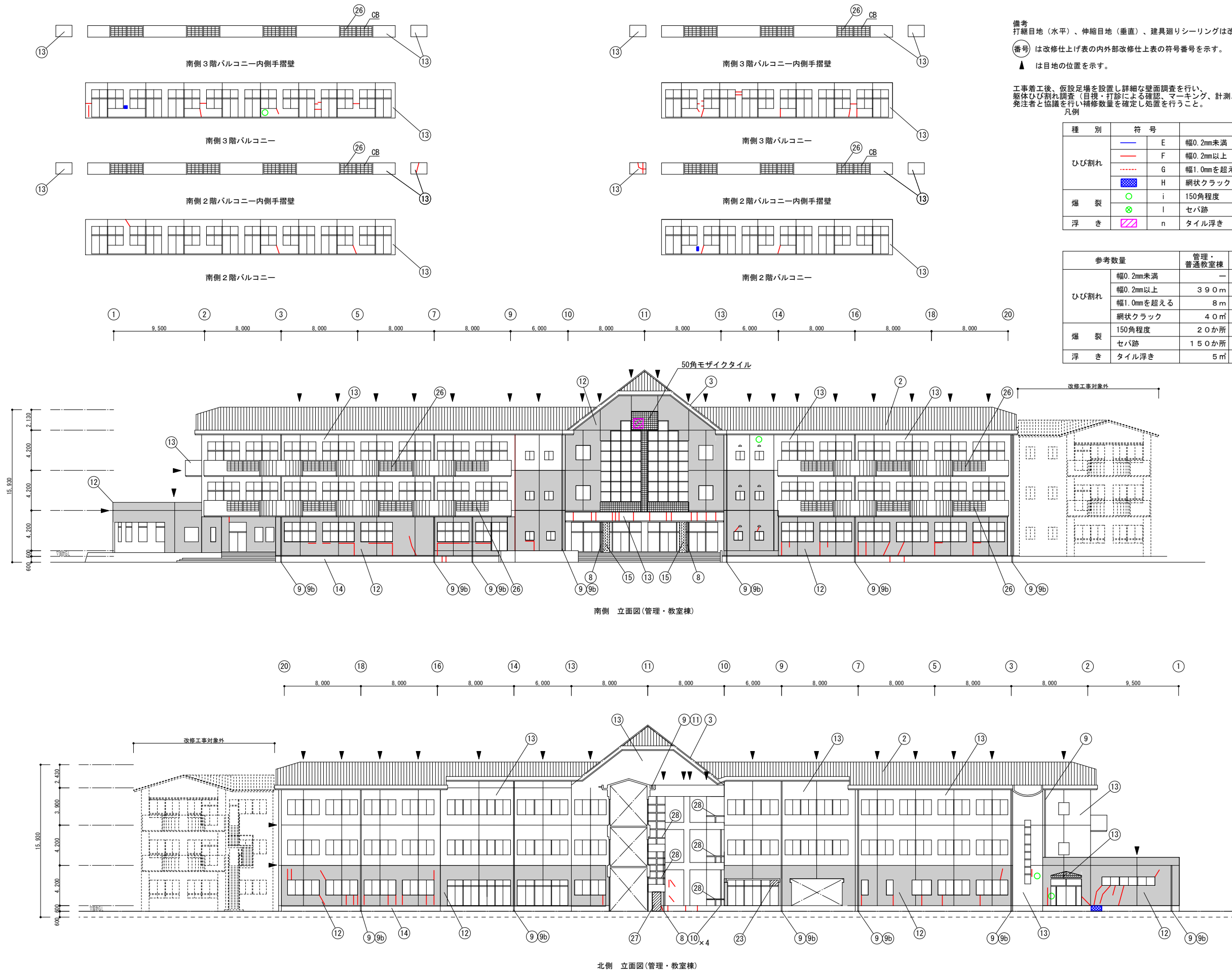
Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
3階平面図・外部建具キープラン(校舎)

Scale  
A1 : 1/200  
A3 : 1/400

Drawing No.  
A-10



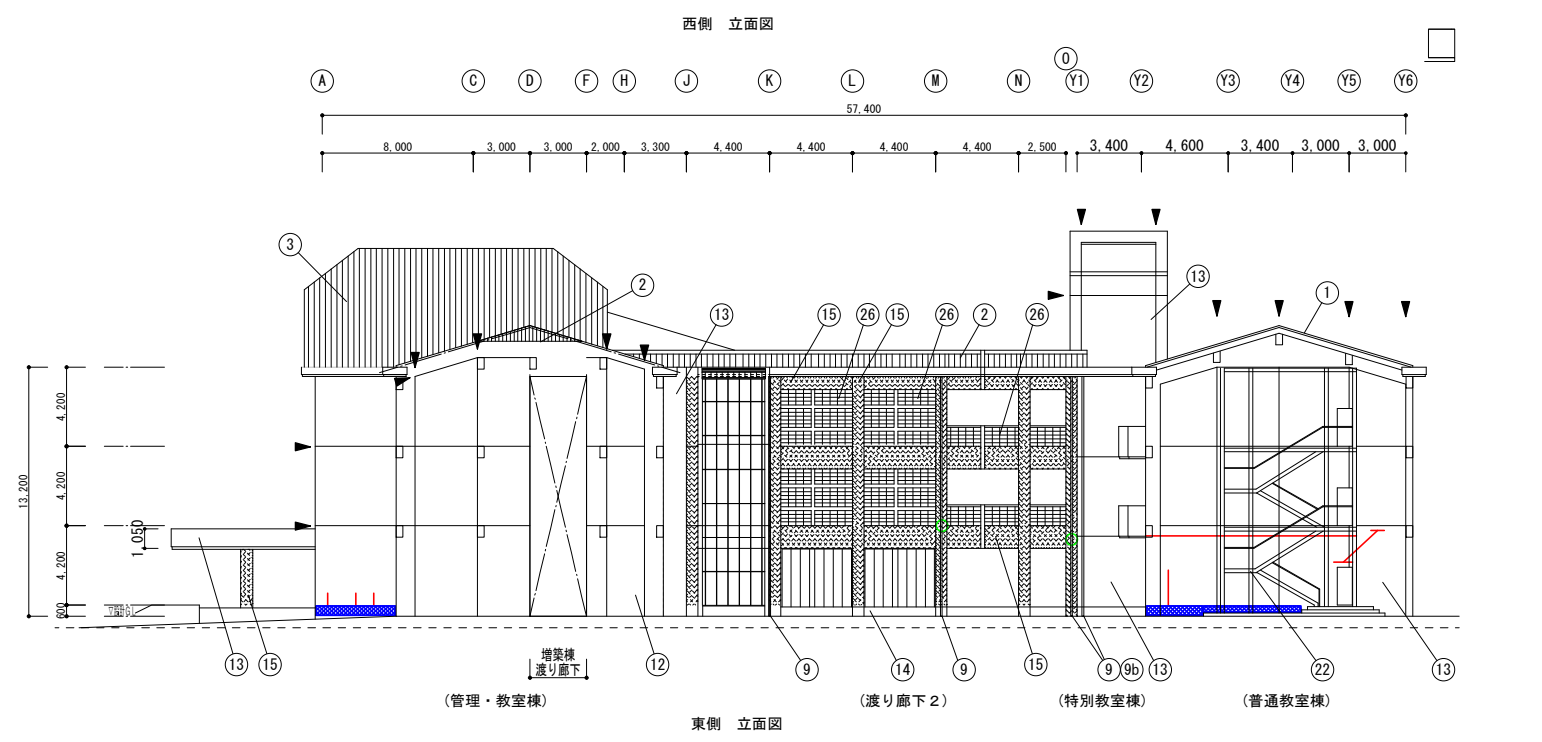
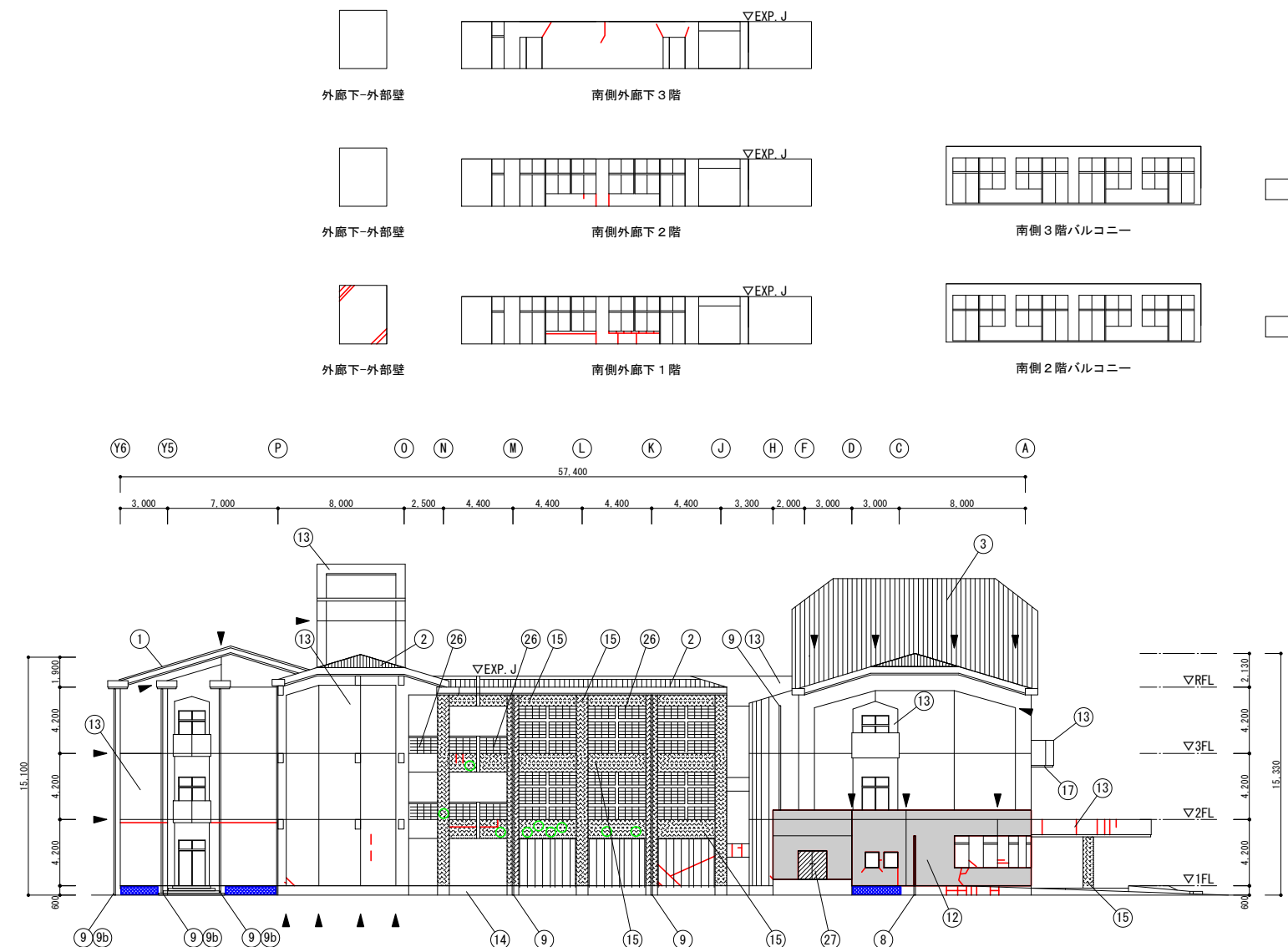


備考  
打継目地（水平）、伸縮目地（垂直）、建具廻りシーリングは改修対象棟の全ての部分を改修とする。  
（番号）は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。  
▲ は目地の位置を示す。

工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）を実施し報告書を提出の上、発注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行うこと。  
凡例

種 別	符 号			
ひび割れ	—	E	幅0.2mm未満	シーリング工法
	—	F	幅0.2mm以上	樹脂注入工法
	---	G	幅1.0mmを超える	Uカットシール材充填工法
	■	H	網状クラック	ポリマーセメントモルタル塗り
爆 裂	○	i	150角程度	浸透性防錆工法
	⊗	l	セバ跡	
浮 き	■	n	タイル浮き	アンカービニング樹脂注入工法

参考数量		管理・普通教室棟	特別教室棟	渡り廊下	普通教室棟
ひび割れ	幅0.2mm未満	—	—	—	—
	幅0.2mm以上	3 9 0 m	6 5 m	6 5 m	1 3 0 m
	幅1.0mmを超える	8 m	1 m	1 m	3 m
	網状クラック	4 0 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	1 5 m <sup>2</sup>
爆 裂	150角程度	2 0 か所	5 か所	5 か所	7 か所
	セバ跡	1 5 0 か所	2 5 か所	2 5 か所	5 0 か所
浮 き	タイル浮き	5 m <sup>2</sup>	—	—	—



備考  
打継目地（水平）、伸縮目地（垂直）、建具廻りシーリングは改修対象様の全ての部分を改修とする。

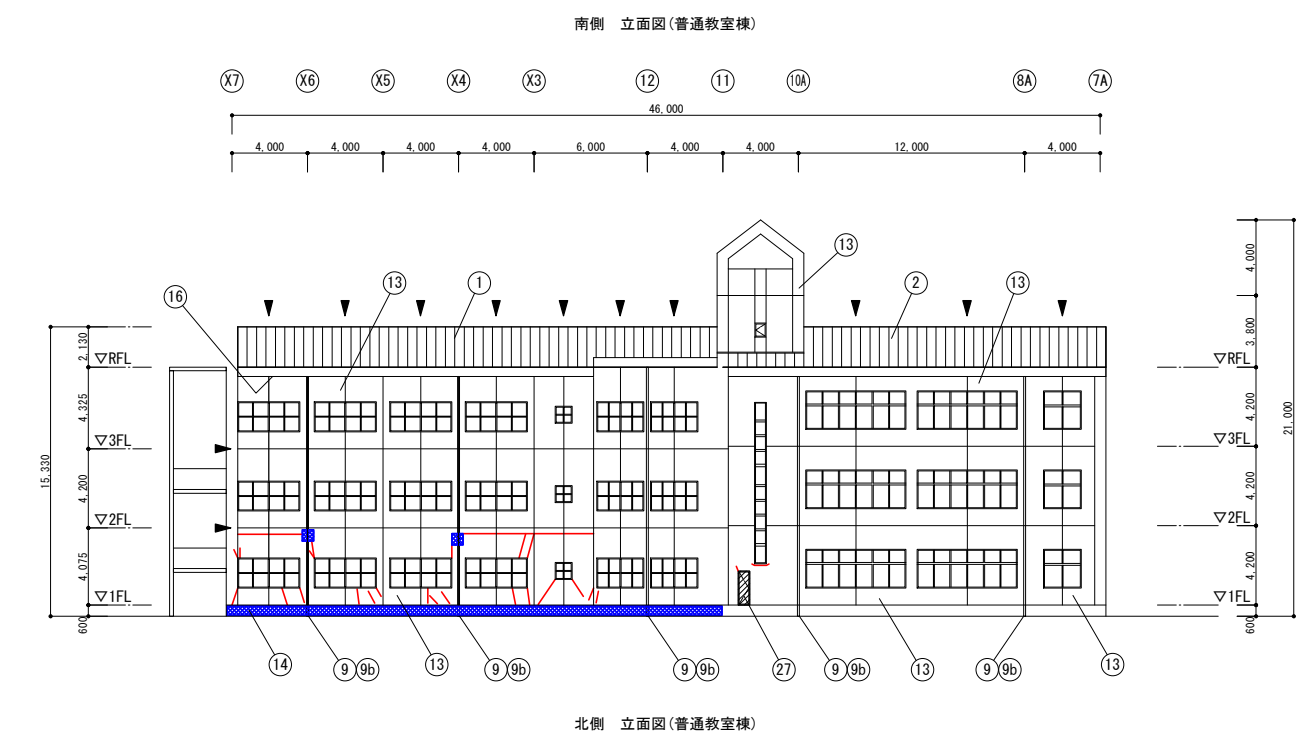
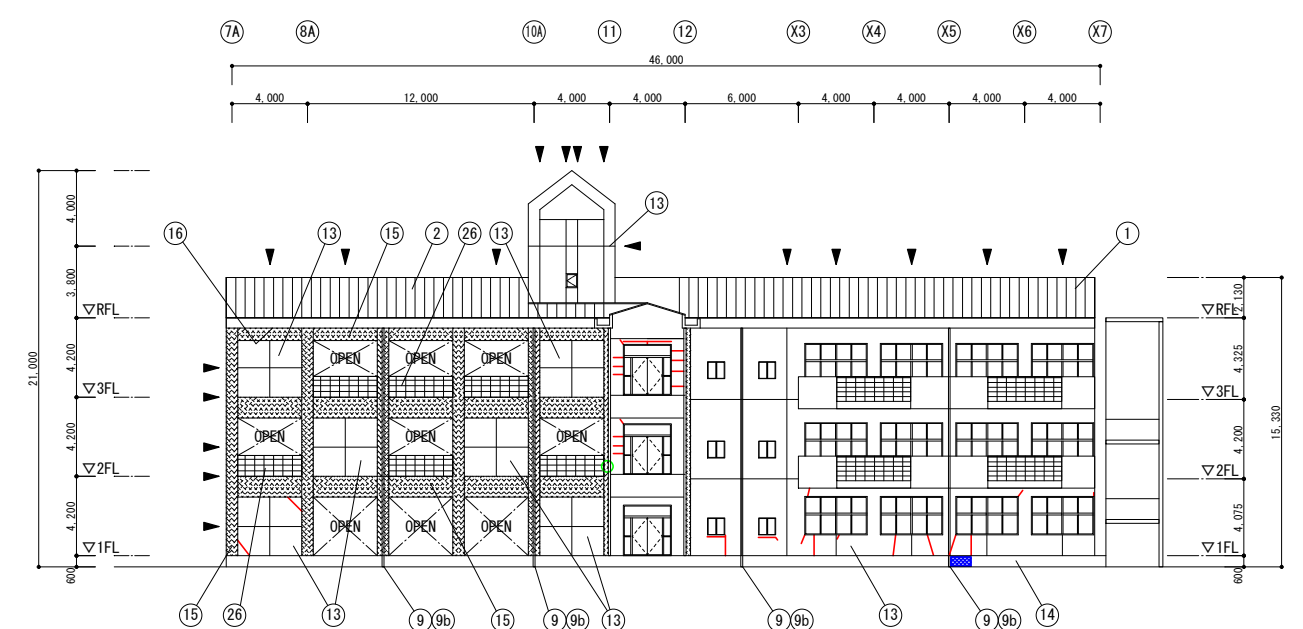
（番号）は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

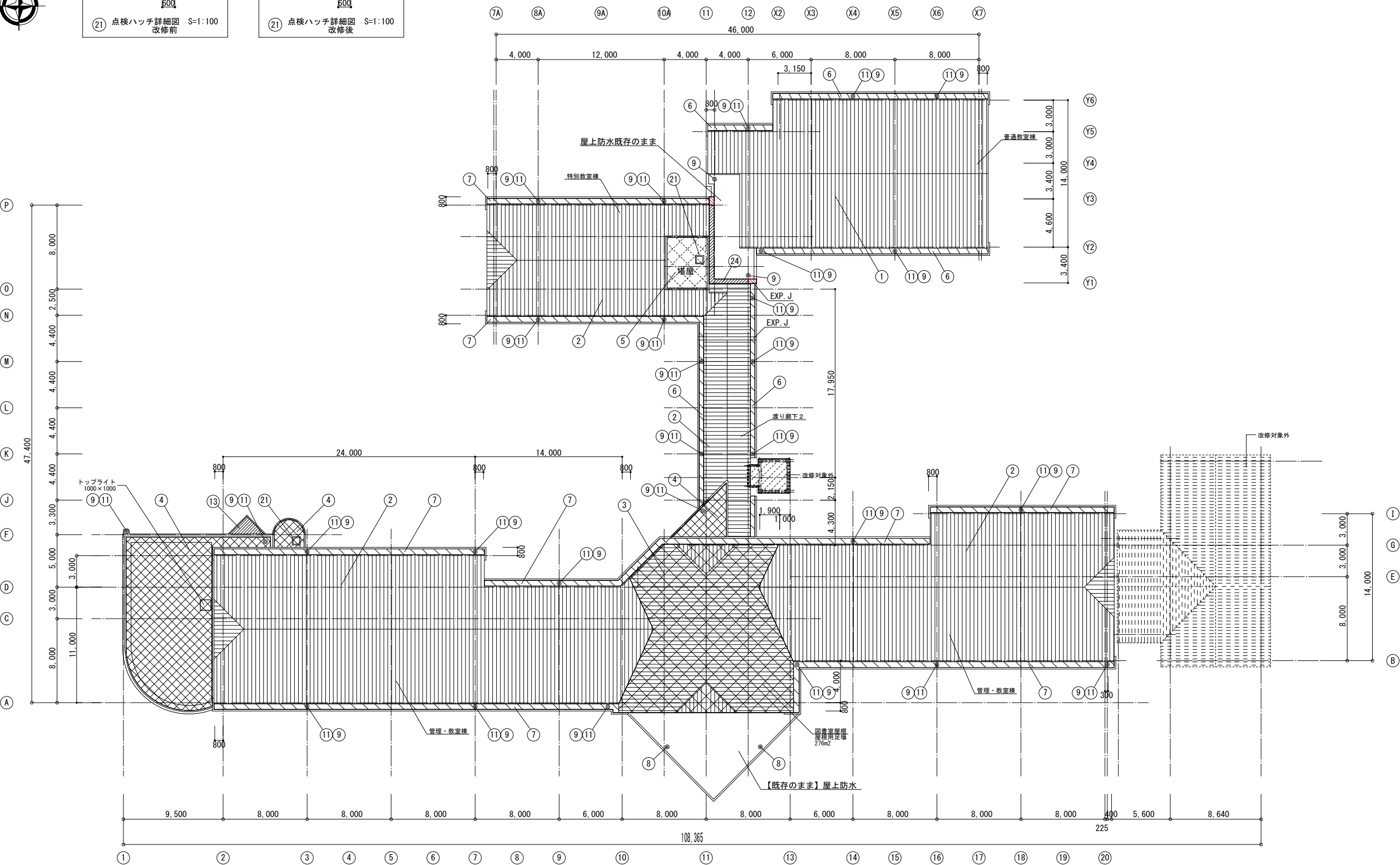
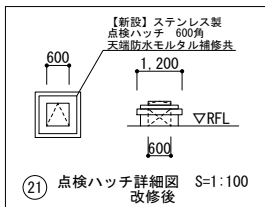
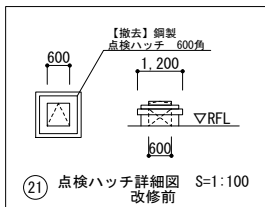
▲ は目地の位置を示す。

工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）を実施し報告書を提出の上、免注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行うこと。

凡例

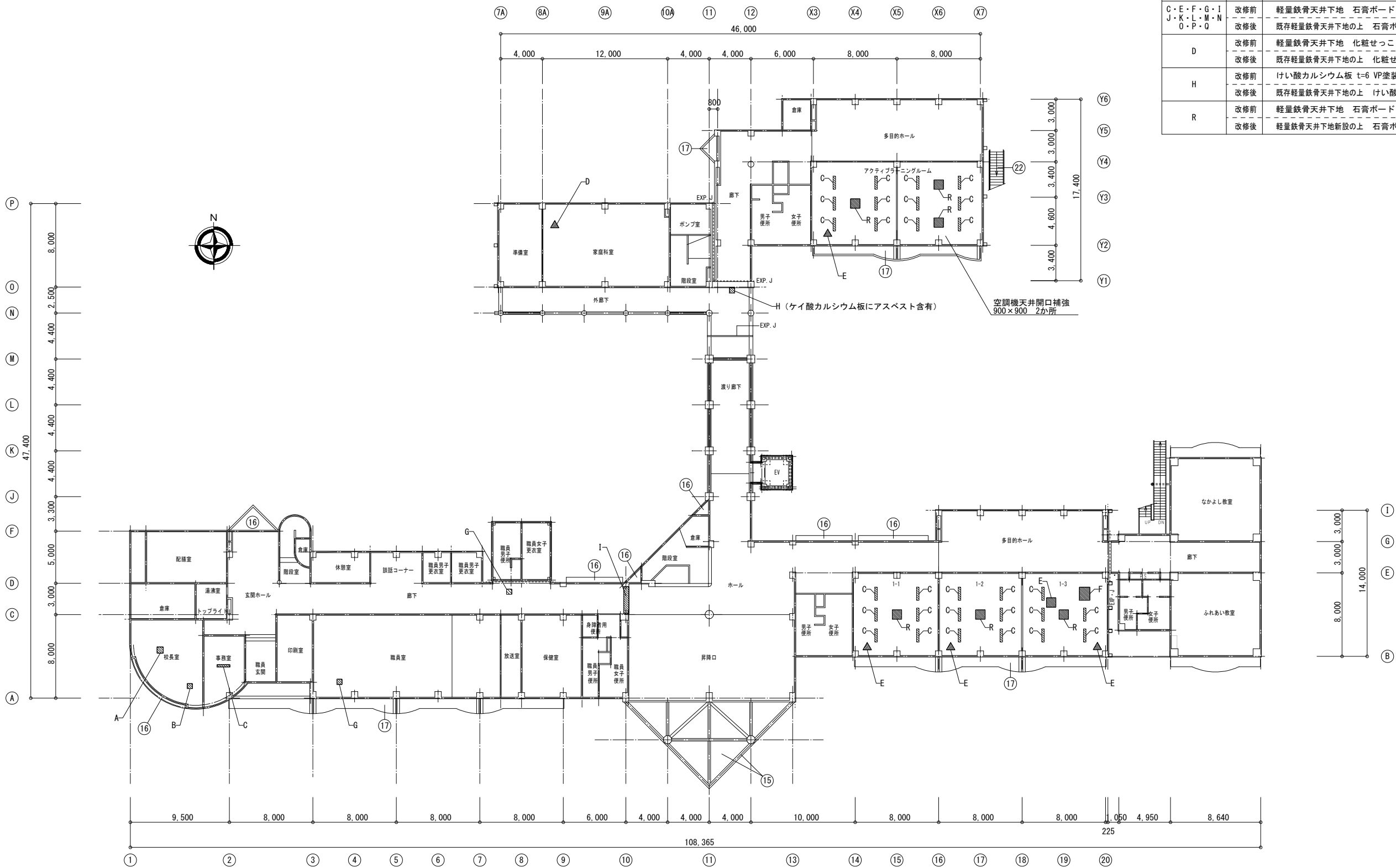
種 別	符 号		
ひび割れ	E	幅0.2mm未満	シーリング工法
	F	幅0.2mm以上	樹脂注入工法
	G	幅1.0mmを超える	Uカットシール材充填工法
爆 裂	H	網状クラック	ポリマーセメントモルタル塗り
	i	150角程度	浸透性防錆工法
	l	セバ跡	





屋根伏図

備考)  
(番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。



天井改修工事一覧表				
符号				
A・B	改修前	石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【一部撤去】	
	改修後	石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【新設】	
C・E・F・G・I J・K・L・M・N O・P・Q	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】	
D	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧せっこうボード t=9	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧せっこうボード t=9.5	【新設】	
H	改修前	けい酸カルシウム板 t=6 VP塗装 (アスベスト含有)	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 けい酸カルシウム板 t=6 EP塗装	【新設】	
R	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】	
	改修後	軽量鉄骨天井下地新設の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】	

1階 天井改修工事数量一覧表		
符号	算定式 (m)	数量 (か所)
A	0.60×0.60	1
B	0.50×0.50	1
C	1.25×0.30	30
D	0.90×0.90	1
E	0.90×0.90	5
F	1.00×1.25	1
G	0.50×0.50	2
H	0.50×0.50	1
I	0.50×3.00	1
J	2.00×2.00	—
K	1.25×0.60	—
L	3.00×0.50	—
M	3.00×1.00	—
N	2.00×1.00	—
O	2.00×3.00	—
P	1.00×1.00	—
Q	0.50×1.00	—
R	0.90×0.90	6

1階天井伏図

- 凡例
- △ : テレビハンガー (天井吊りパイプ) 【撤去】
  - ▲ : テレビハンガー (本体+天井吊りパイプ) 【撤去】
  - : 天井改修範囲

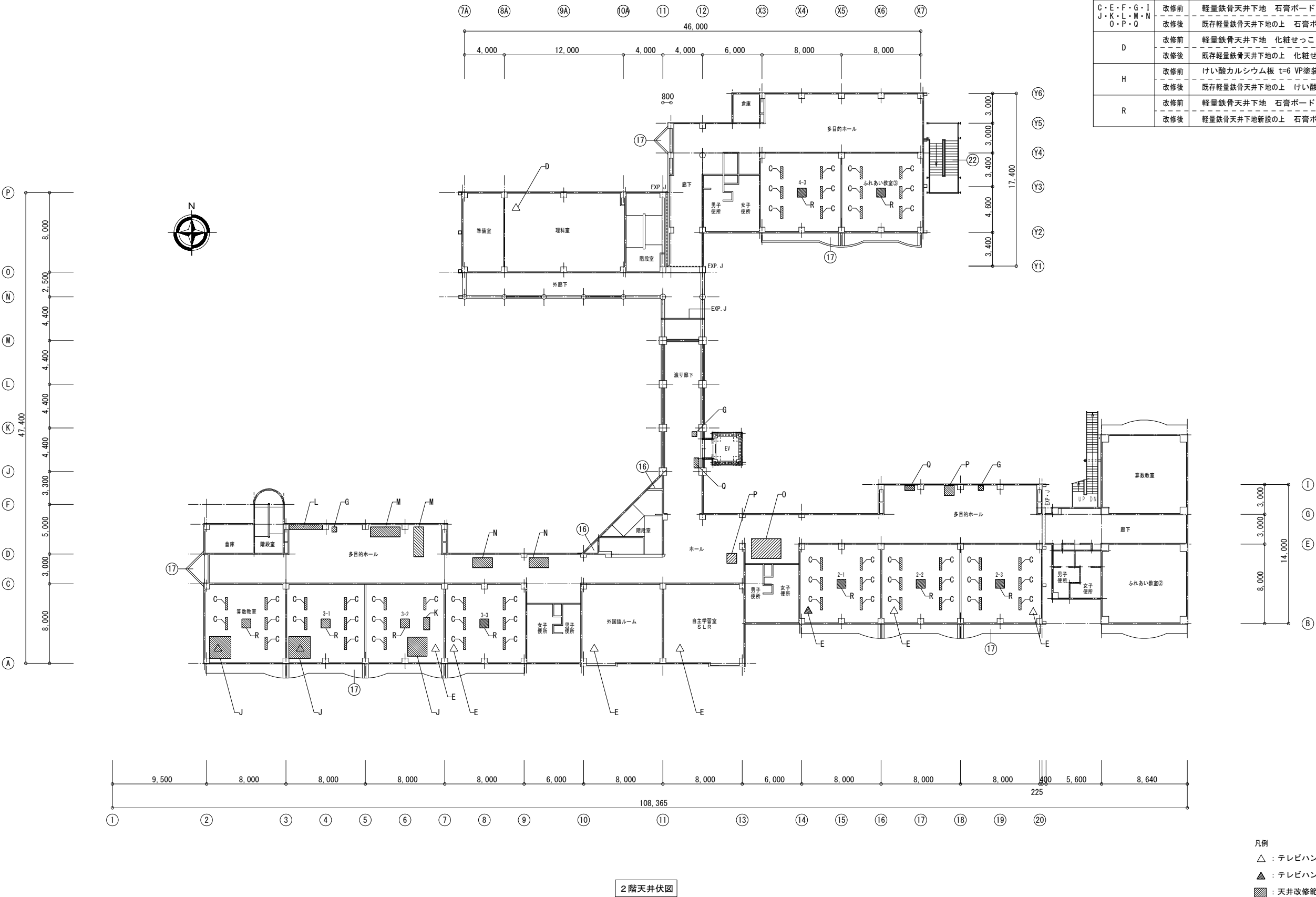
備考)  
空調機天井開口補強 900×900 普通教室棟 2か所 【新設】  
アルミ枠天井点検口 450×450 管理棟 3か所、普通教室棟 2か所 【新設】

外部の(番号)は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

天井改修工事一覧表

符号			
A・B	改修前	石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=19（リブ付）	【一部撤去】
	改修後	石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=19（リブ付）	【新設】
C・E・F・G・I J・K・L・M・N O・P・Q	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】
D	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧せっこうボード t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧せっこうボード t=9.5	【新設】
H	改修前	けい酸カルシウム板 t=6 VP塗装（アスベスト含有）	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 けい酸カルシウム板 t=6 EP塗装	【新設】
R	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】
	改修後	軽量鉄骨天井下地新設の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】

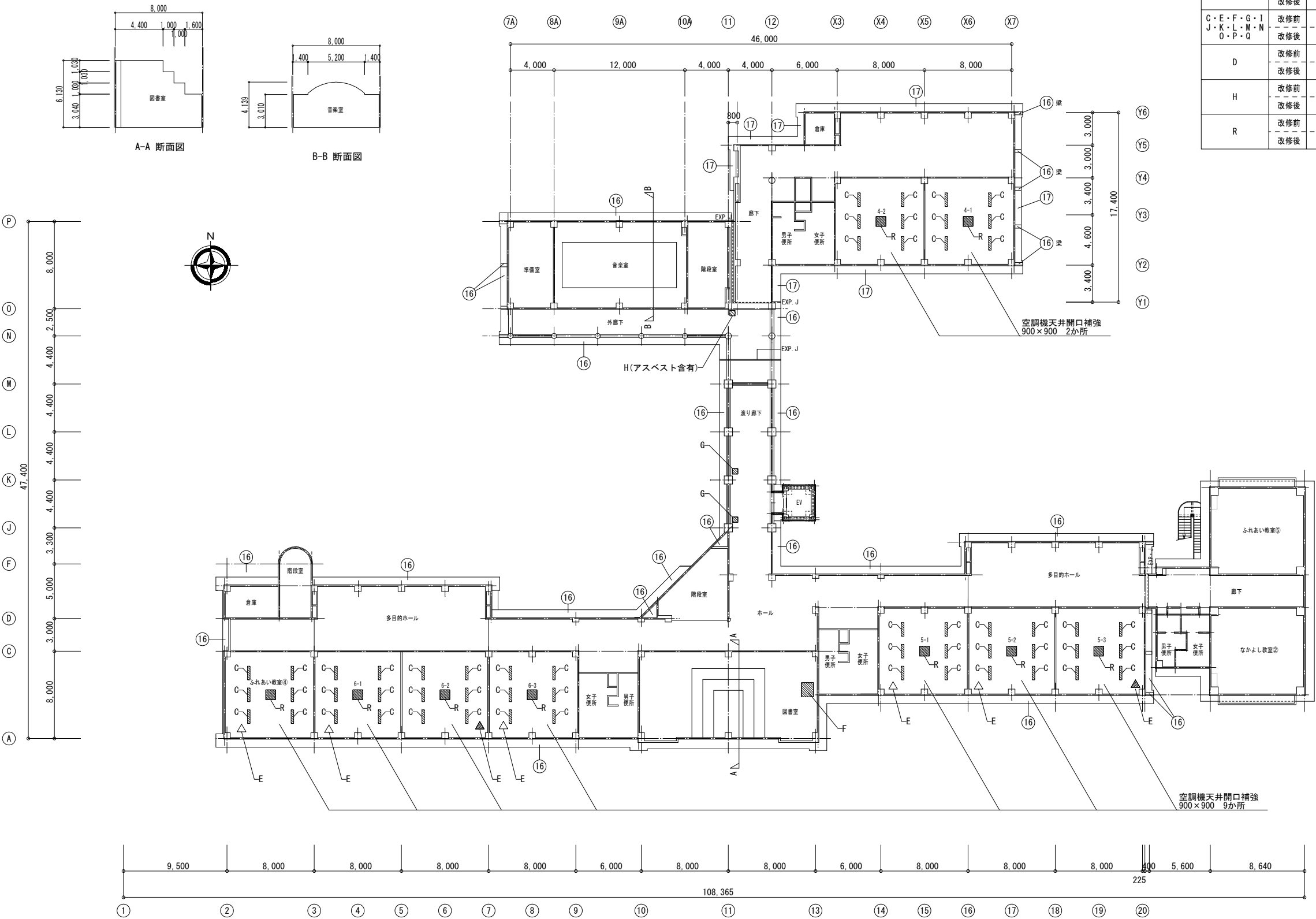
2階 天井改修工事数量一覧表		
符号	算定式 (m)	数量 (か所)
A	0.60×0.60	—
B	0.50×0.50	—
C	1.25×0.30	51
D	0.90×0.90	1
E	0.90×0.90	7
F	1.00×1.25	2
G	0.50×0.50	3
H	0.50×0.50	—
I	0.50×3.00	—
J	2.00×2.00	3
K	1.25×0.60	1
L	3.00×0.50	1
M	3.00×1.00	2
N	2.00×1.00	2
O	2.00×3.00	1
P	1.00×1.00	2
Q	0.50×1.00	2
R	0.90×0.90	9



- 凡例
- △ : テレビハンガー（天井吊りパイプ）【撤去】
  - ▲ : テレビハンガー（本体+天井吊りパイプ）【撤去】
  - : 天井改修範囲

備考）  
アルミ枠天井点検口 450×450 管理棟 12か所、普通教室棟 3か所 【新設】

外部の(番号)は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。



天井改修工事一覧表				
符号				
A・B	改修前	石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【一部撤去】	
	改修後	石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【新設】	
C・E・F・G・I J・K・L・M・N O・P・Q	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】	
D	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧せっこうボード t=9	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧せっこうボード t=9.5	【新設】	
H	改修前	けい酸カルシウム板 t=6 VP塗装 (アスベスト含有)	【一部撤去】	
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 けい酸カルシウム板 t=6 EP塗装	【新設】	
R	改修前	軽量鉄骨天井下地 石膏ボード t=12捨貼 岩綿吸音板 t=9	【一部撤去】	
	改修後	軽量鉄骨天井下地新設の上 石膏ボード t=12.5捨貼 岩綿吸音板 t=9	【新設】	

3階 天井改修工事数量一覧表		
符号	算定式 (m)	数量 (か所)
A	0.60×0.60	—
B	0.50×0.50	—
C	1.25×0.30	54
D	0.90×0.90	2
E	0.90×0.90	7
F	1.00×1.25	1
G	0.50×0.50	2
H	0.50×0.50	1
I	0.50×3.00	—
J	2.00×2.00	—
K	1.25×0.60	—
L	3.00×0.50	—
M	3.00×1.00	—
N	2.00×1.00	—
O	2.00×3.00	—
P	1.00×1.00	—
Q	0.50×1.00	—
R	0.90×0.90	9

凡例  
△ : テレビハンガー (天井吊りパイプ) 【撤去】  
▲ : テレビハンガー (本体+天井吊りパイプ) 【撤去】  
■ : 天井改修範囲

備考)  
空調機天井開口補強 900×900 管理棟 7か所、普通教室棟 2か所 【新設】  
アルミ枠天井点検口 450×450 管理棟 2か所、普通教室棟 2か所 【新設】

外部の(番号)は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

Architect  
Architect

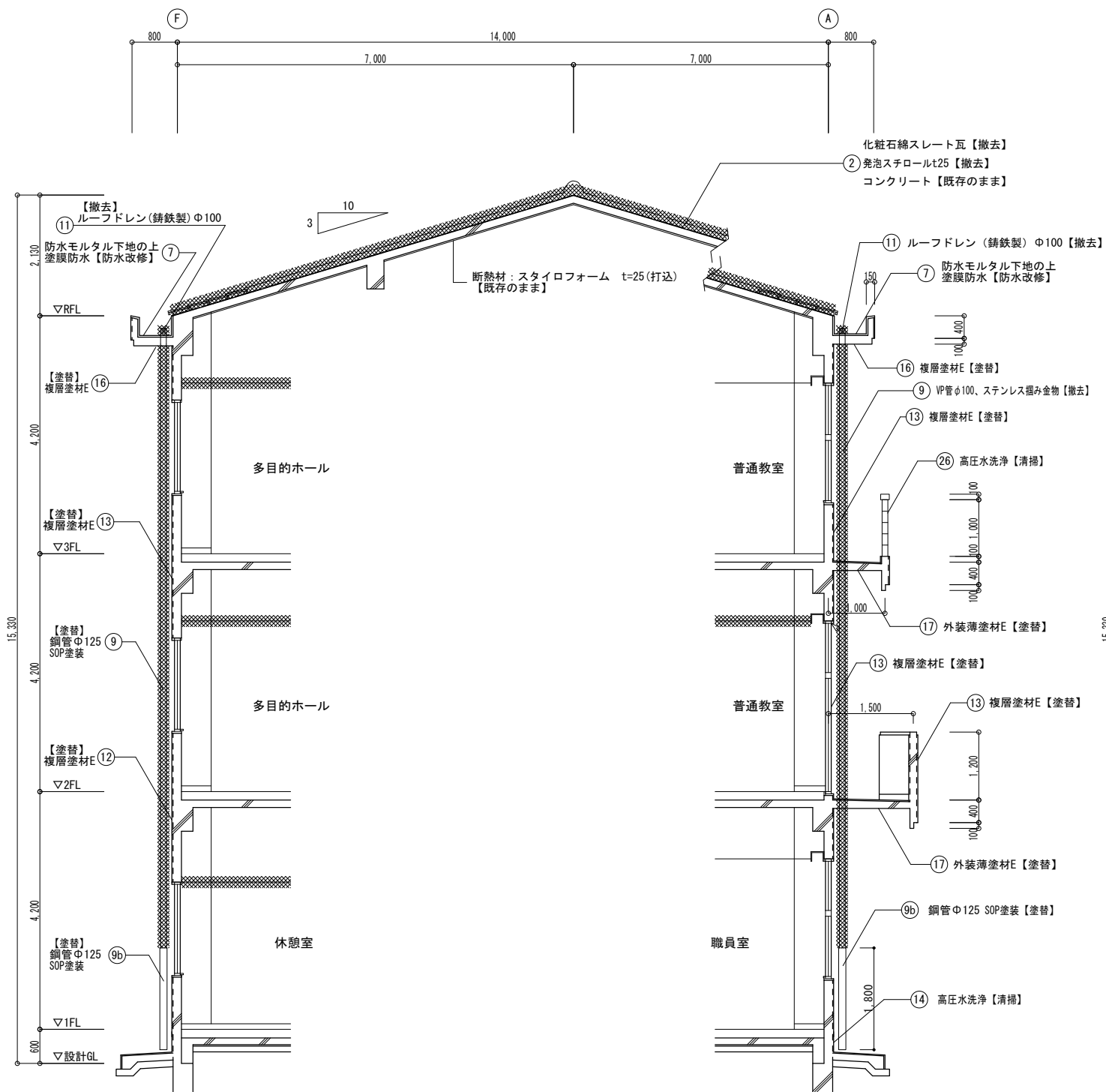
Date  
R 6 . 0 3

Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
3階天井伏図 (校舎)

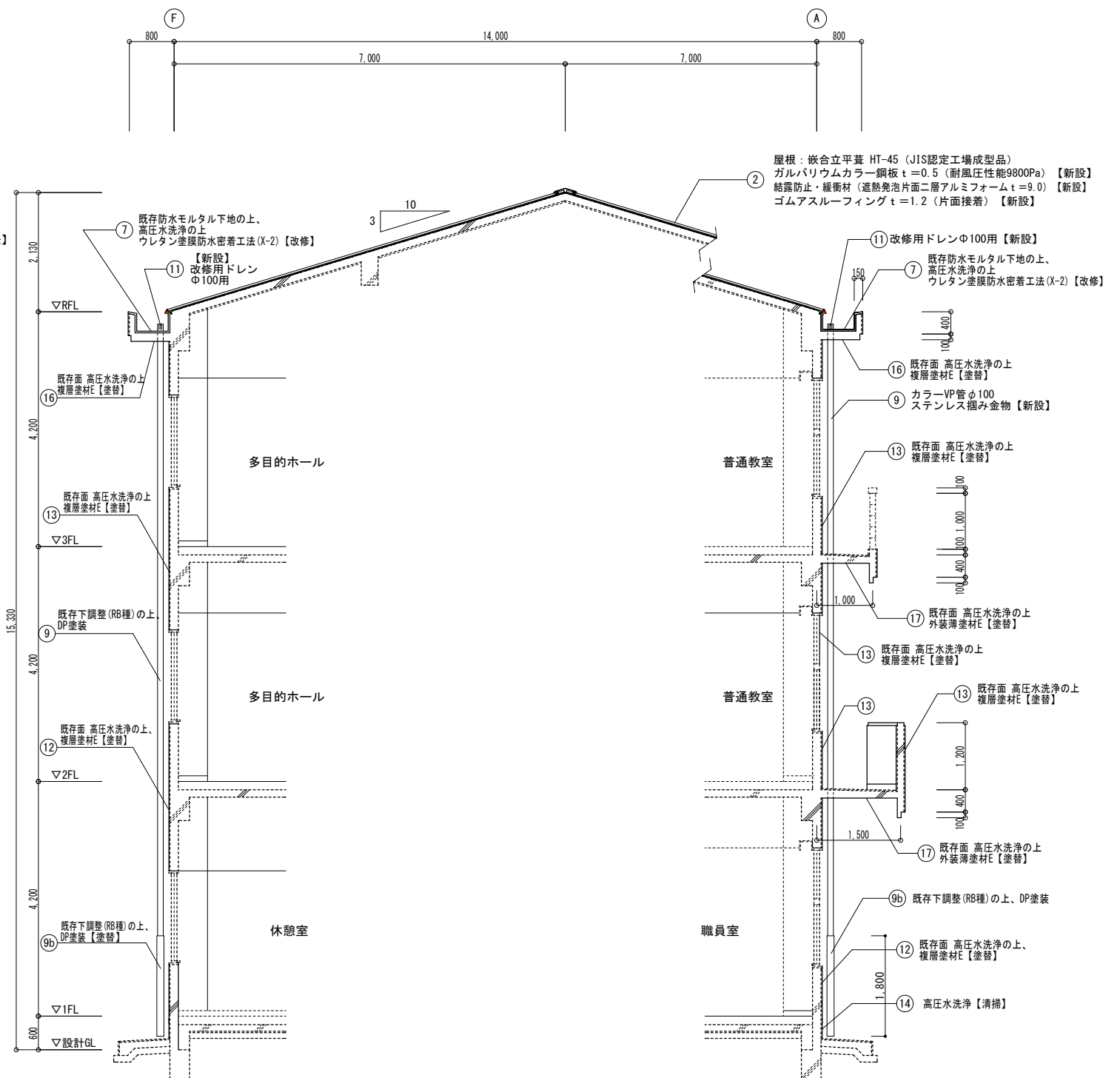
Scale  
A 1 : 1 / 2 0 0  
A 3 : 1 / 4 0 0  
Drawing No.  
A - 1 6





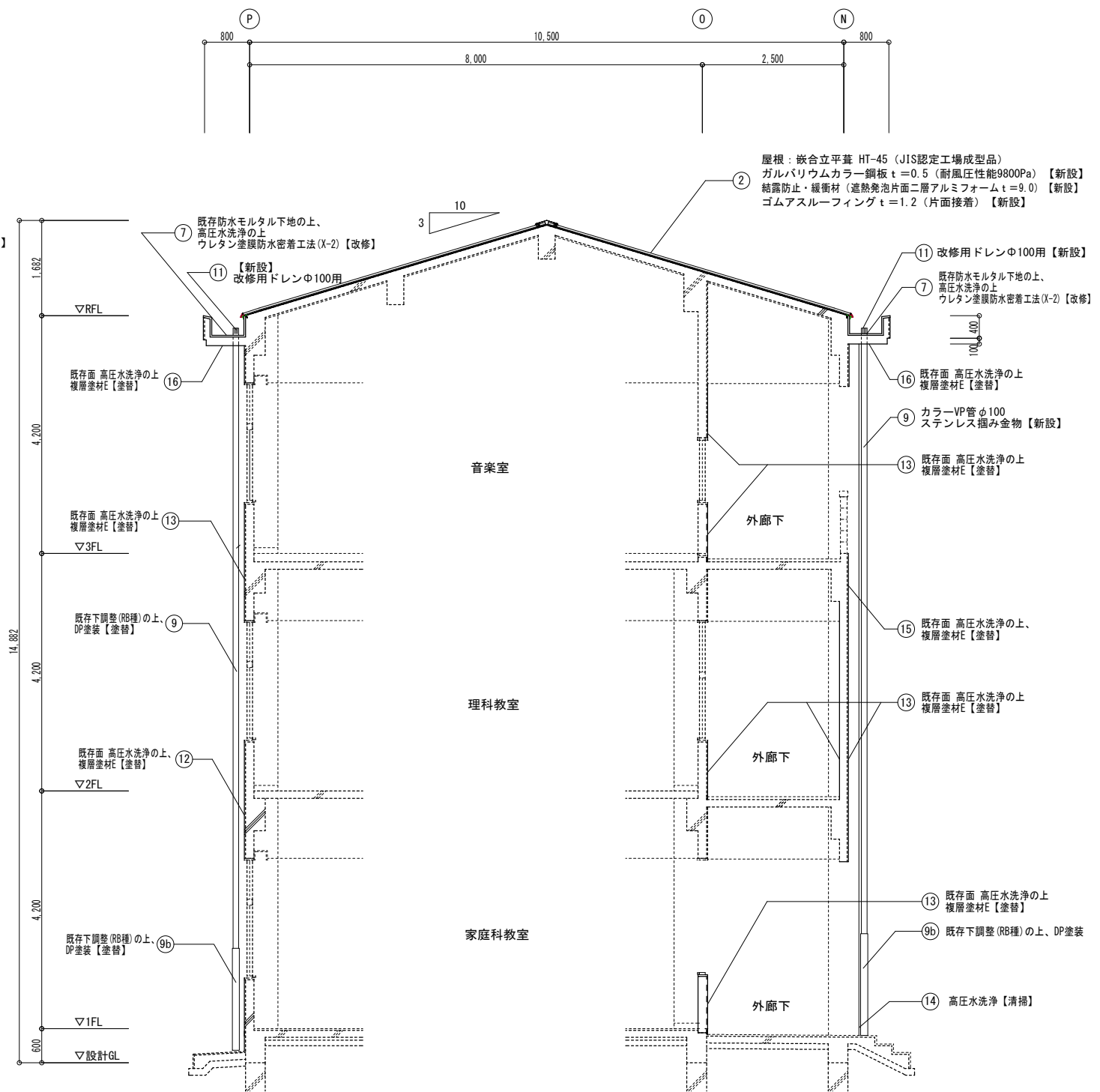
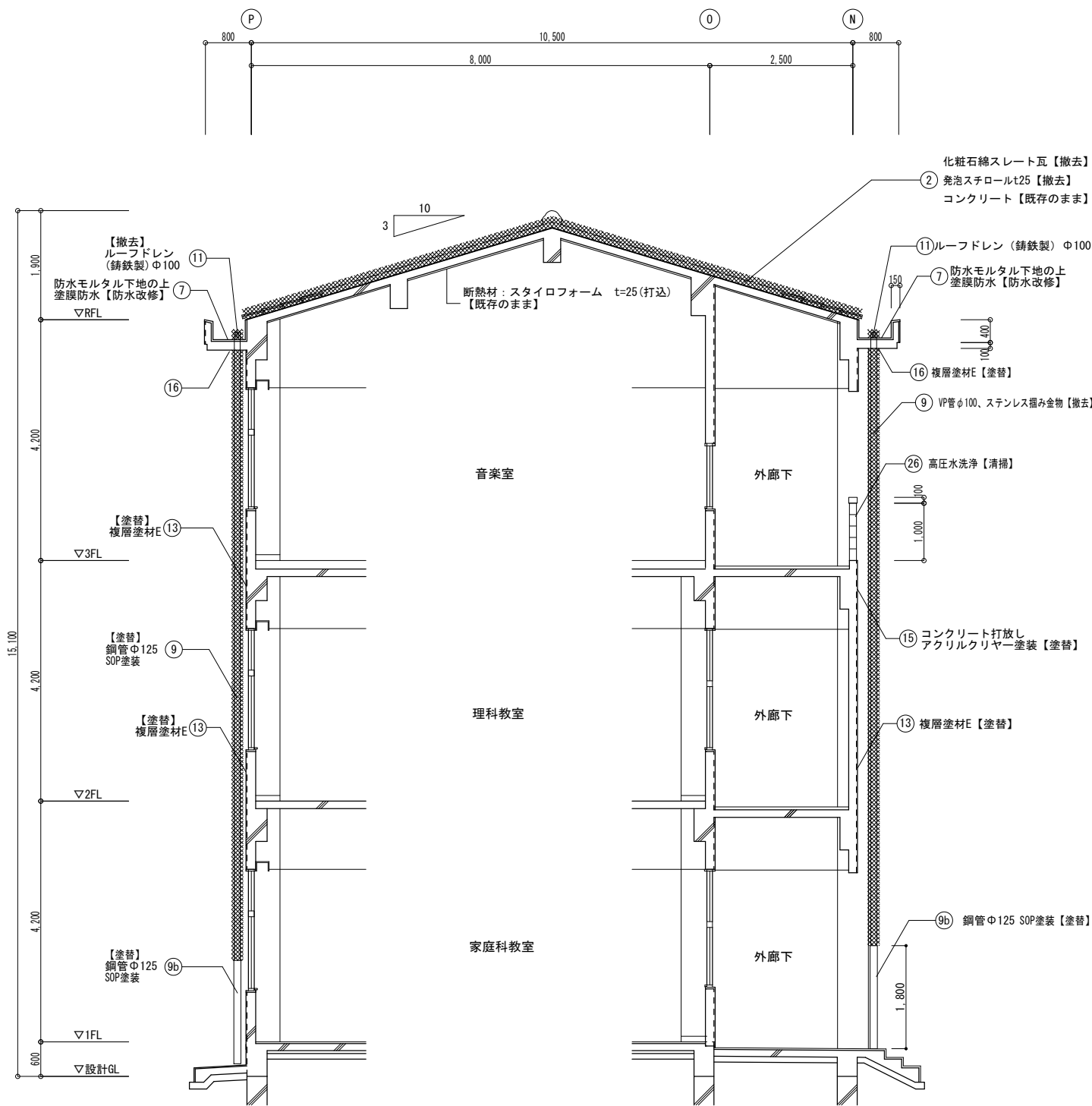
改修前矩計図 S=1/50

凡 例  
撤去部分を示す。  
シーリング打替位置を示す。



改修後矩計図 S=1/50





凡 例  
撤去部分を示す。  
シーリング打替位置を示す。

改修前矩計図 S=1/50

改修後矩計図 S=1/50

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松 本 義 勝

Architect  
Architect

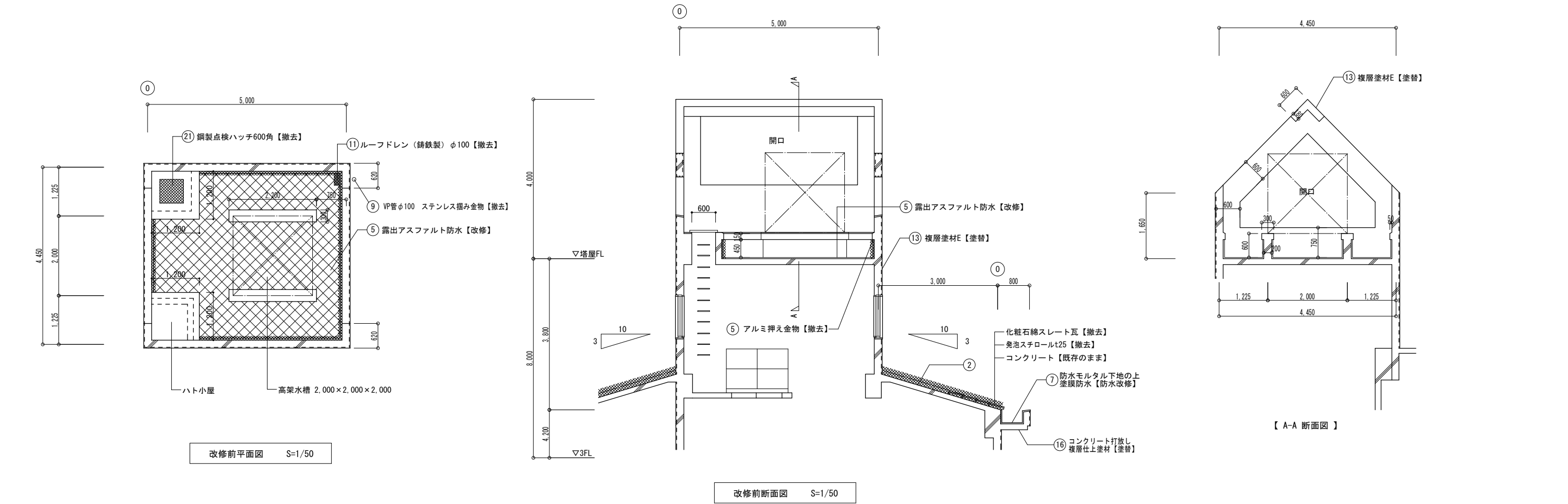
Date  
R 6 . 0 3

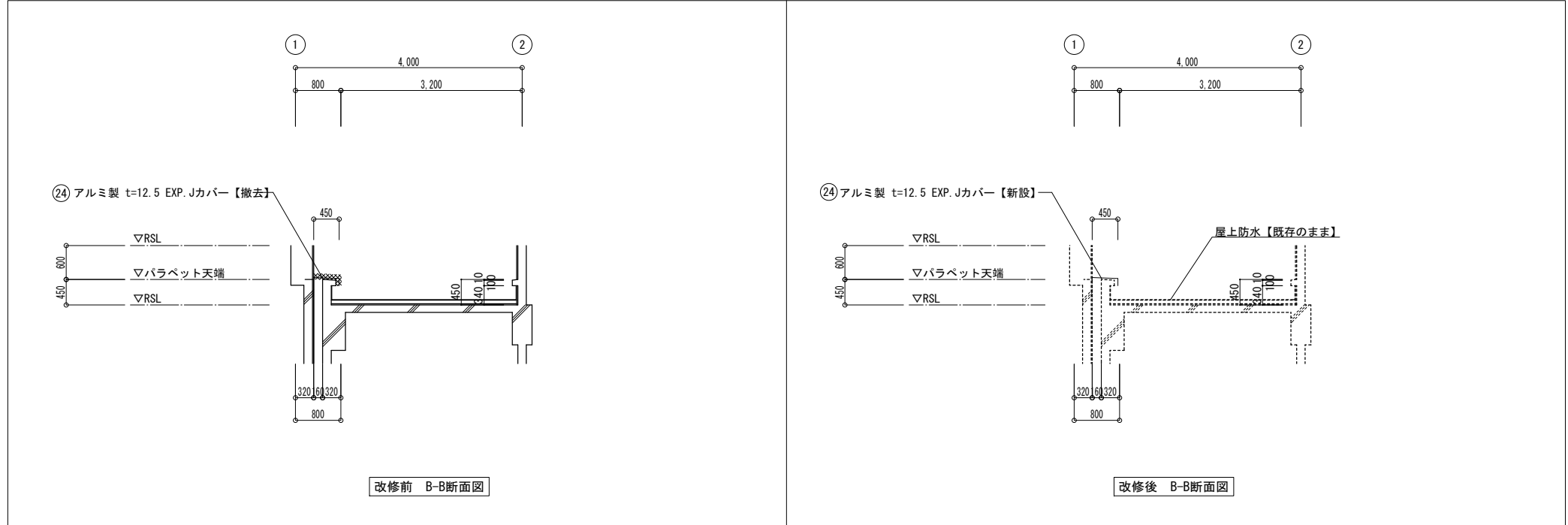
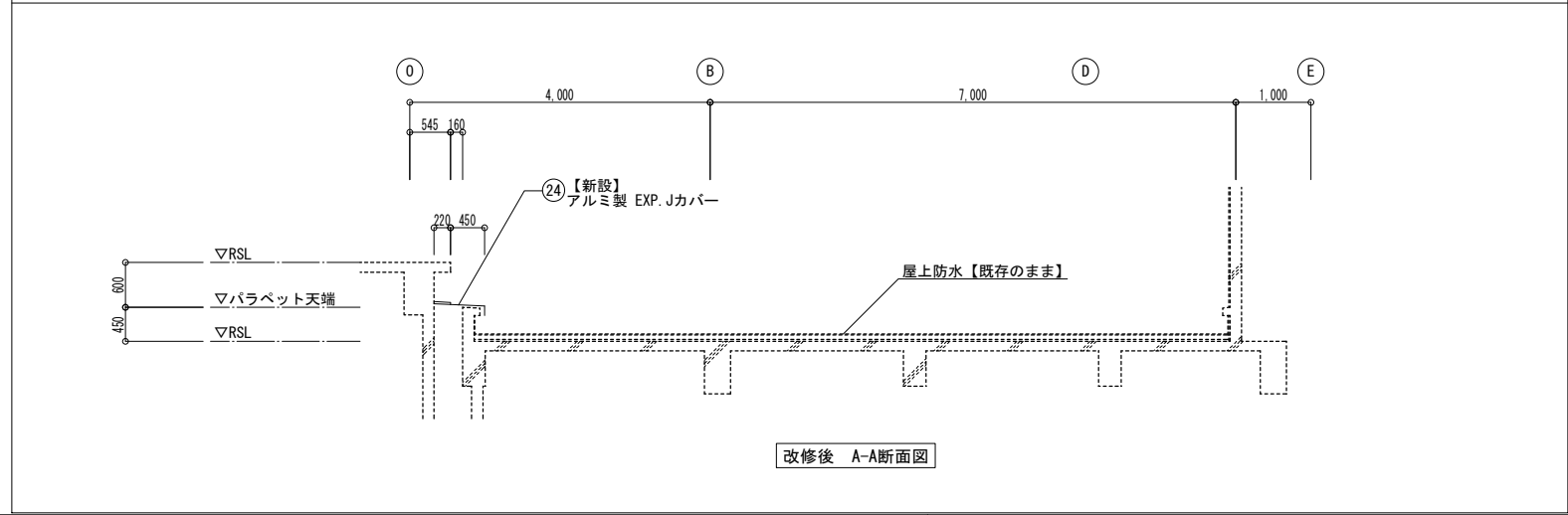
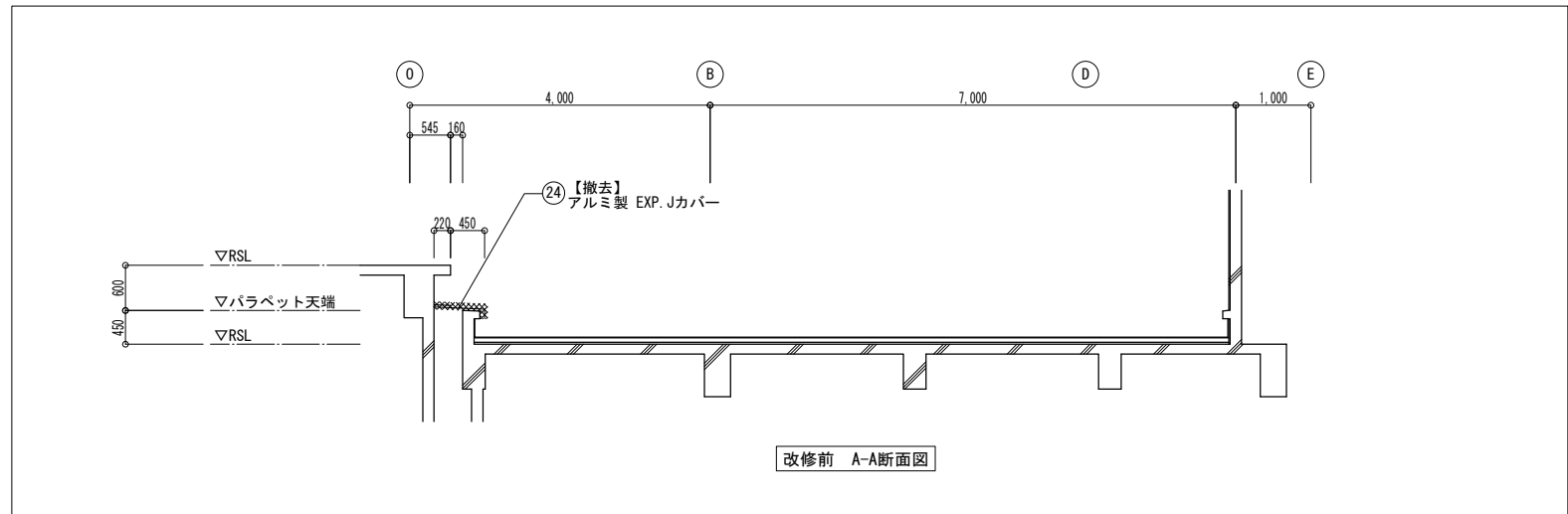
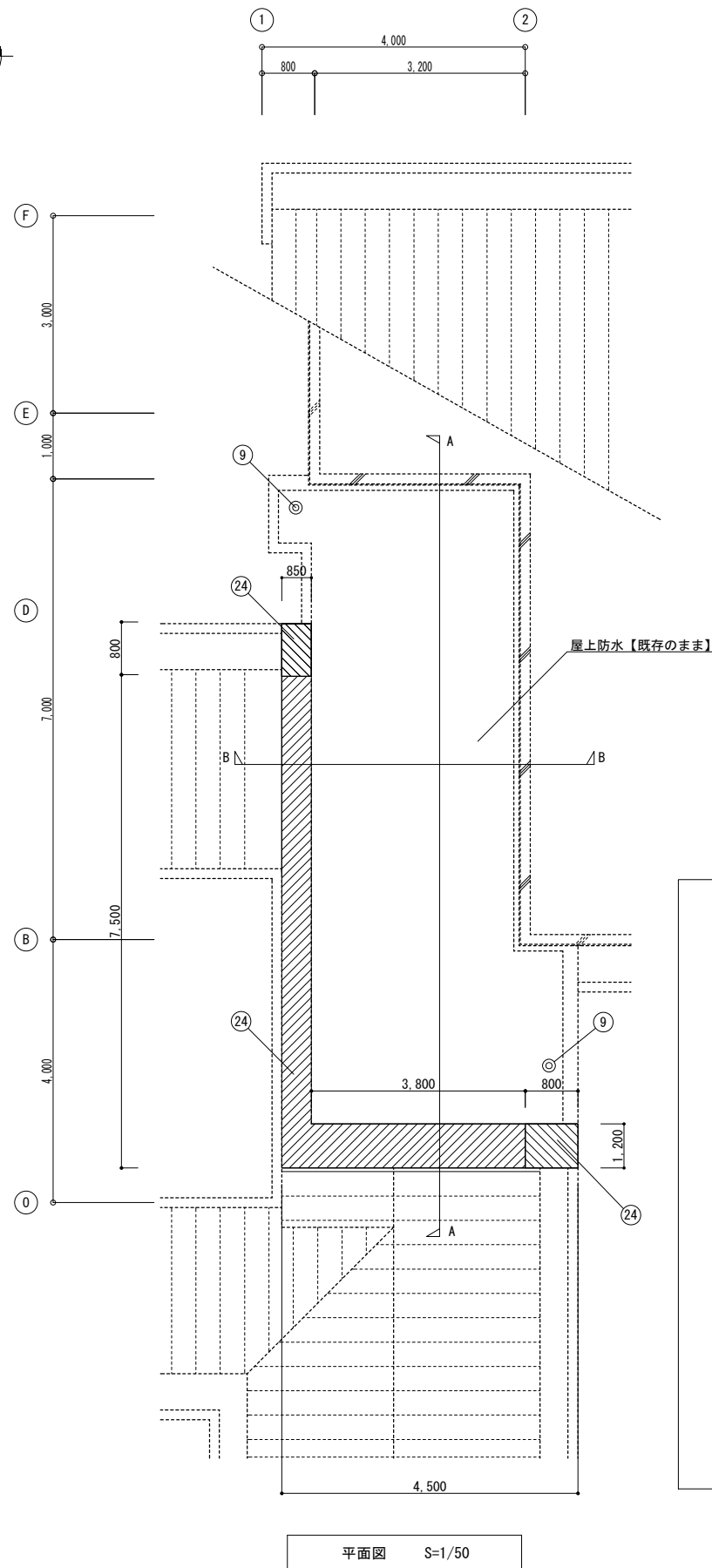
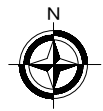
Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
矩計図(特別教室棟)

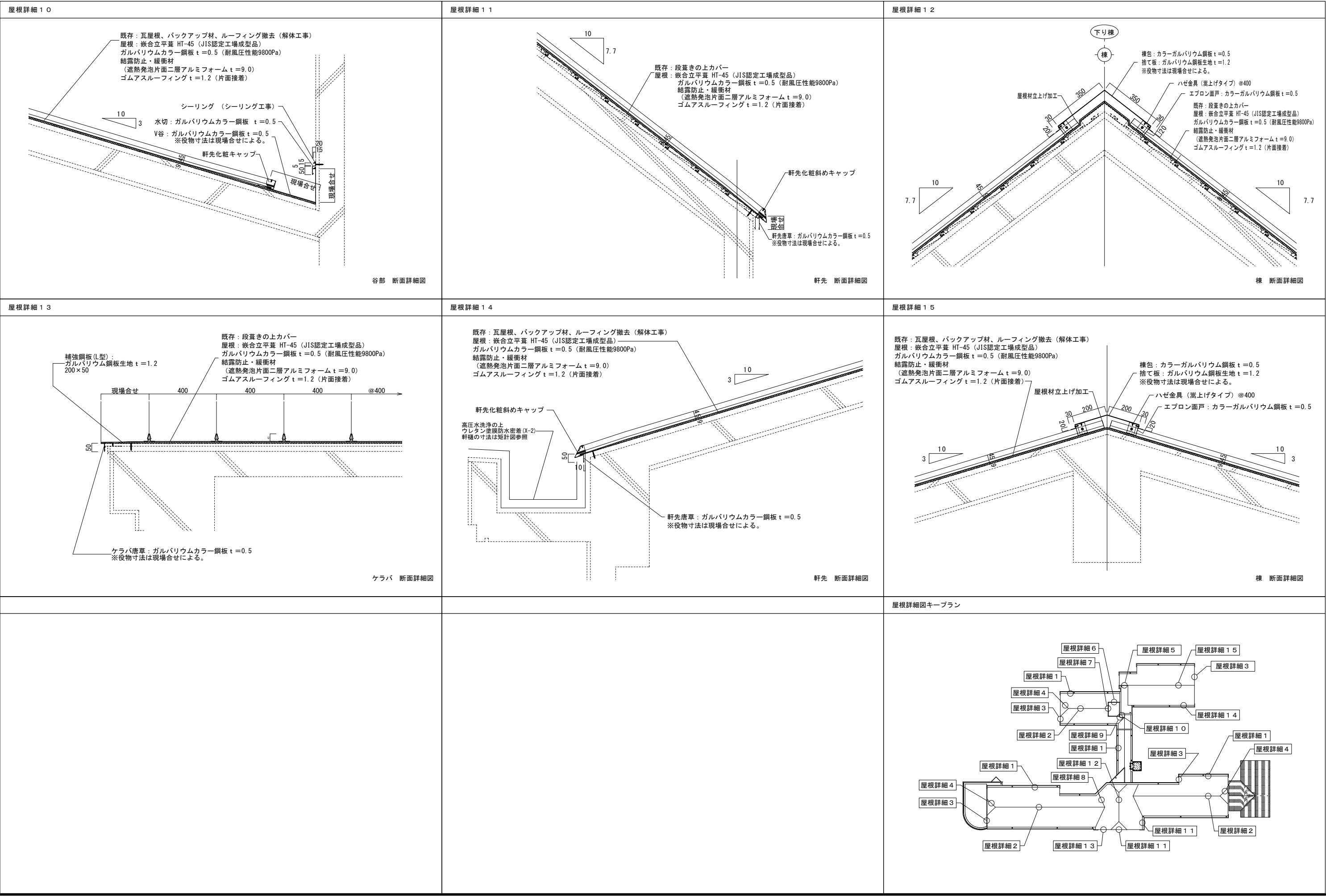
Scale  
A 1 : 1 / 5 0  
A 3 : 1 / 1 0 0  
Drawing No.  
A - 1 8









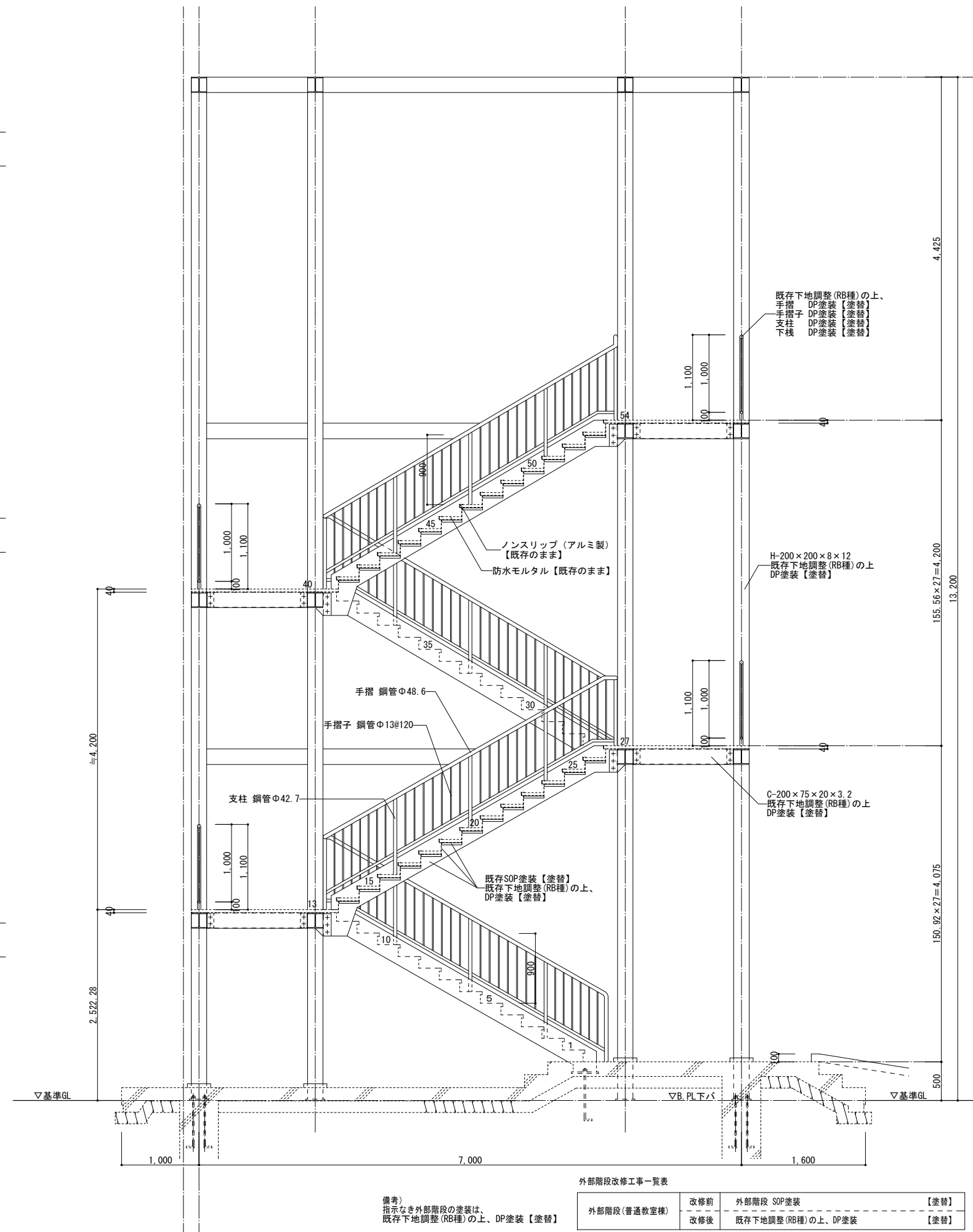
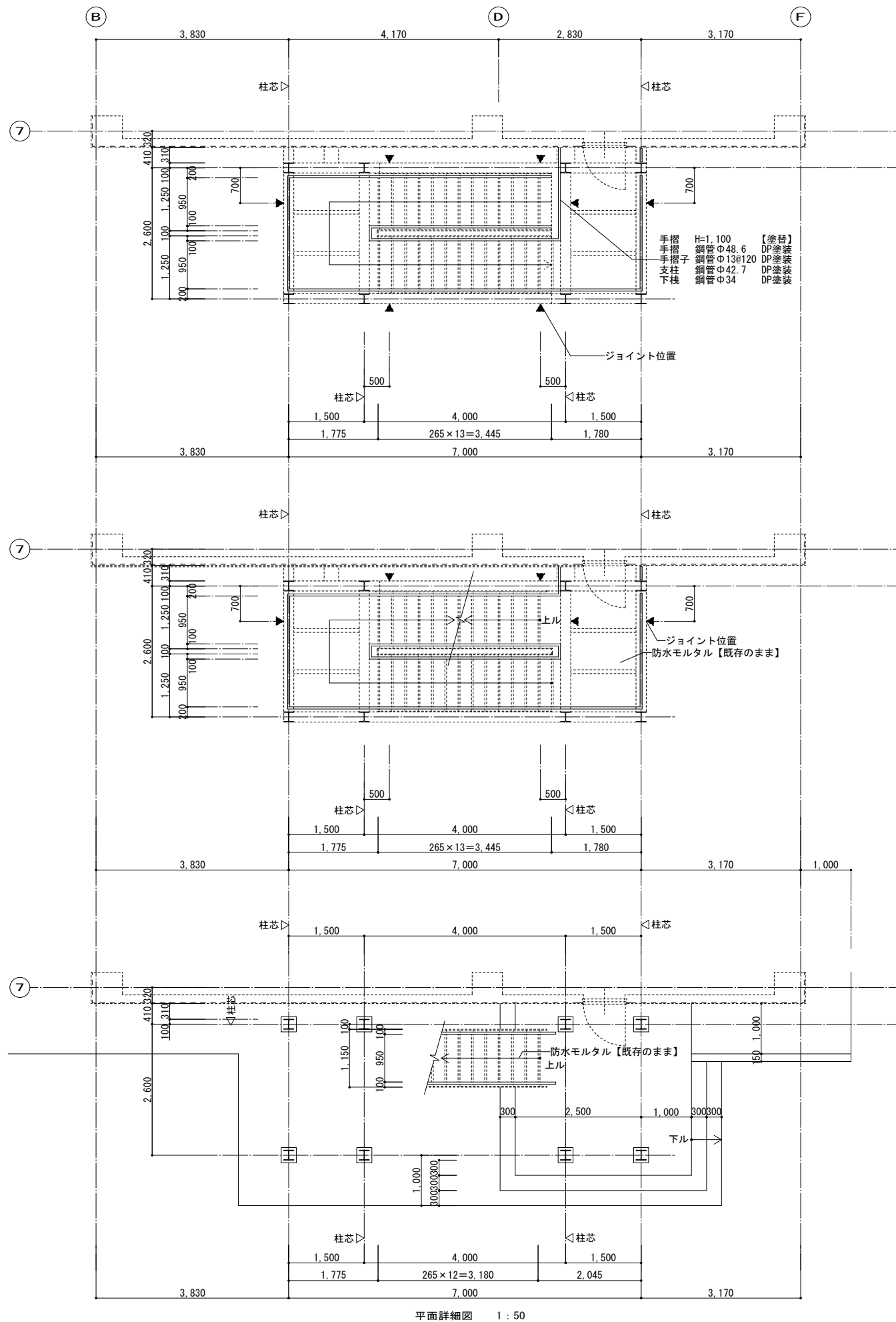


建具 符号	名称	① AD	両開きガラス戸			② AD	両開きガラス戸			③ AD	両開きガラス戸			④ AD	両側アルミフラッシュ戸		
位置	数量	1F×2	2F×0	3F×0	2	1F×1	2F×0	3F×0	1	1F×1	2F×0	3F×0	1	1F×1	2F×0	3F×0	1
形状・寸法																	
建具 符号	名称	⑤ AD	両開きフラッシュ戸			⑥ AD	親子開きエアタイトドア			⑨ AD	8枚折りタタミドア			⑩ AD	両開きガラスドア		
位置	数量	1F×1	2F×1	3F×1	3	1F×0	2F×0	3F×2	2	1F×4	2F×0	3F×0	4	1F×0	2F×1	3F×1	2
形状・寸法																	
建具 符号	名称	② AW	引違い窓			③ AW	引違い窓			④ AW	引違い窓			⑤ AW	引違い窓		
位置	数量	1F×1	2F×14	3F×14	29	1F×10	2F×0	3F×0	10	1F×4	2F×5	3F×5	14	1F×1	2F×2	3F×2	0
形状・寸法																	
建具 符号	名称	⑥ AW	上部嵌殺し豎反転窓			⑦ AW	豎反転窓			⑧ AW	引違い窓 両袖嵌め殺し窓			⑨ AW	突出し窓及びガラスブロック		
位置	数量	1F×6	2F×0	3F×0	6	1F×3	2F×0	3F×0	3	1F×1	2F×0	3F×0	1	1F×1	2F×0	3F×0	1
形状・寸法																	
備考)	便所窓のみFIX窓無し(W850 H1,500)																
形状・寸法																	
備考)	2F及び3Fの各1箇所のみ(W1,000 H1,000)																
形状・寸法																	
備考)	2F及び3Fの各1箇所のみ(W1,000 H1,000)																
形状・寸法																	
備考)	ガラスブロック：既存シールの上、シール材（SR-2 20×10）充填																
形状・寸法																	
備考)	ガラスブロック：既存シールの上、シール材（SR-2 20×10）充填																
形状・寸法																	



建具 符号	名 称	⑪ AW	引違い窓		⑫ AW	片開き窓		⑬ AW	引違い窓		⑭ AW	引違い窓									
位 置	数 量	1F×2	2F×0	3F×0	2	1F×3	2F×1	3F×1	塔屋×2	7	1F×2	2F×0	3F×0	2	1F×2	2F×0	3F×0	2			
形状・寸法						備考) 3FのH寸法のみ1,000 								既存ランマ W1,720 H570(フロートガラスt=5共) 【撤去】 改修後ランマ W1,620 H430(フロートガラスt=5共) 【新設】 【カバー工法】 							
建具 符号	名 称	⑮ AW	片開き窓及び嵌め殺し窓		⑯ AW	片開き窓及び嵌め殺し窓		⑰ AW	引違い窓		⑱ AW	引違い窓									
位 置	数 量	1F×1	2F×1	3F×1	3	1F×0	2F×1	3F×0	1	1F×0	2F×0	3F×1	1	1F×5	2F×8	3F×8	21				
形状・寸法																					
建具 符号	名 称	⑲ AW	引違い窓		⑳ AW	引違い窓		㉑ AW	引違い窓		㉒ AW	引違い窓		㉓ AW	引違い窓		㉔ AW				
位 置	数 量	1F×0	2F×2	3F×2	4	1F×0	2F×2	3F×2	4	1F×0	2F×1	3F×0	1	1F×0	2F×0	3F×1	1				
形状・寸法																					
建具 符号	名 称	㉕ AW	引違い窓		㉖ AW	引違い窓		㉗ AW	引違い窓		㉘ AW	引違い窓									
位 置	数 量	1F×0	2F×6	3F×6	12	1F×2	2F×2	3F×0	4	1F×1	2F×1	3F×1	3	1F×2	2F×2	3F×2	6				
形状・寸法																					

建具 符号	名称	②7 AW		突出し窓及びガラスブロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
----------	----	----------	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

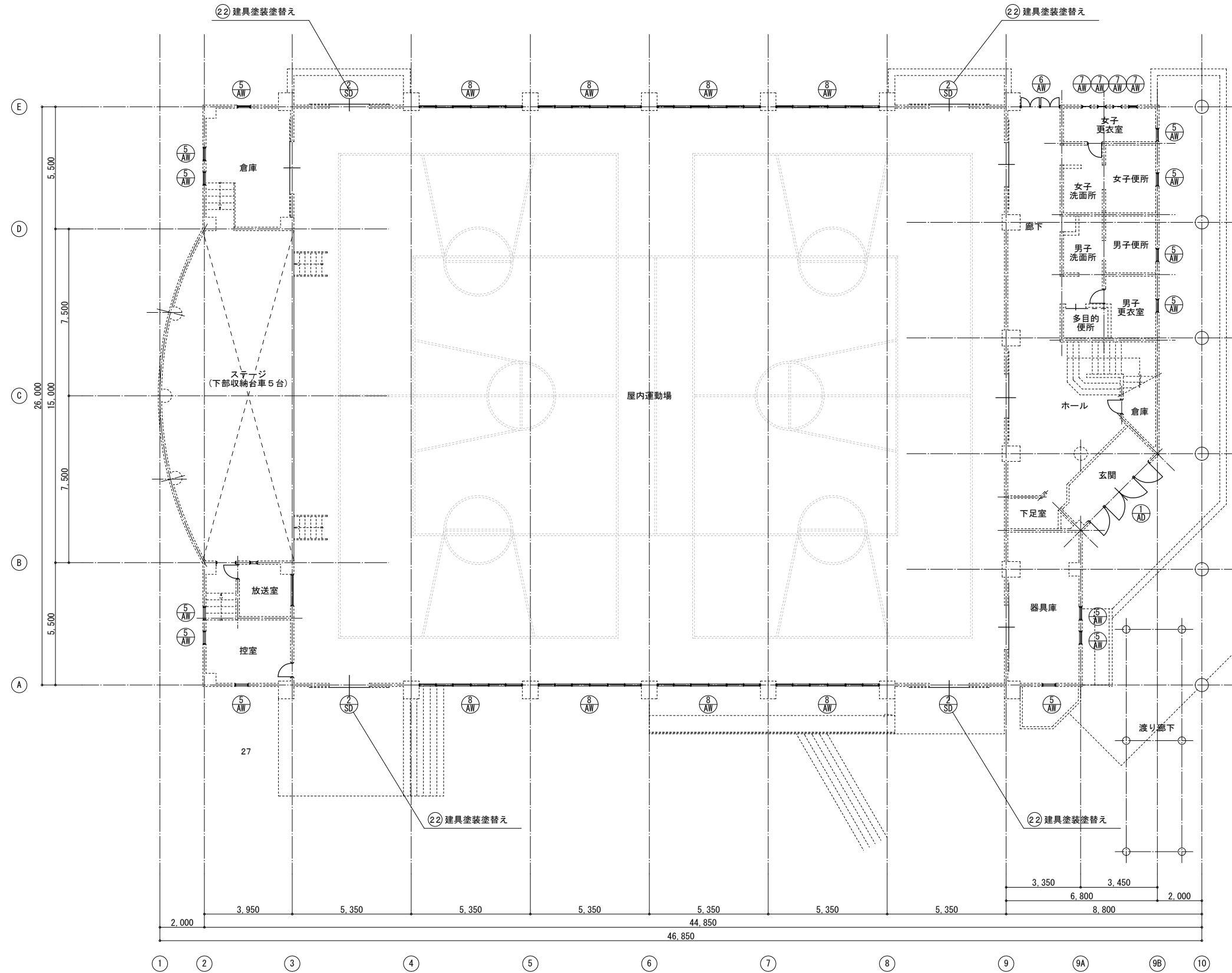
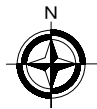


外部階段改修工事一覧表			
外部階段 (普通教室棟)	改修前	外部階段 SOP塗装	【塗替】
	改修後	既存下地調整 (RB種) の上、DP塗装	【塗替】

内 外 部 改 修 仕 上 表				
	符号	改修工事項目	改修工事内容	
外部	①	屋根 1	改修前	フッ素樹脂塗装鋼板 厚0.4 アスファルトルーフィング 22kg 木毛セメント板 t=25 【既存のまま】
			改修後	既存屋根の上 高圧水洗浄 嵌合式立平H-45カバー工法 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 片面2層発泡アルミフォーム t=9、片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2 【新設】
	②	屋根 2	改修前	コンクリートの上、アスファルトシングル葺き アスファルトルーフィング 22kg 防水モルタル t=30 アスファルトシングル材にアスベスト含有 【既存のまま】
			改修後	既存アスファルトシングル葺きの上、高圧水洗浄 嵌合式立平H-45カバー工法 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 片面2層発泡アルミフォーム t=9、片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2 【新設】
	③	屋根 3	改修前	コンクリートの上、露出アスファルト防水(平場 既存のまま)(立上り部、防水押えアングル共 撤去) 【防水改修】
			改修後	【M4C工法】既存防水の上、高圧水洗浄、アスファルト屋根露出防水密着工法 (C-1) アルミ製防水押え金物(シーリング共) 【新設】
	⑤	屋根 4	改修前	鉄骨下地 SOP塗装【塗替】、ポリカーボネート波板葺きt=1.5【撤去】 【塗替】【撤去】
			改修後	既存下地調整(RB種)の上、DP塗装【塗替】スレート大波型 ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5 発泡ポリエチレンフォーム t=4.0 裏貼【新設】 【塗替】【新設】
	⑥	屋根 5	改修前	合成樹脂塗床 モルタル材にアスベスト含有 【防水改修】
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 【新設】
	⑦	軒樋	改修前	防水モルタル 【防水改修】
			改修後	既存防水モルタルの上、高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 【新設】
	⑧	壁樋 1	改修前	VP管φ50 SOP塗装 ステンレス掴み金物 【撤去】
			改修後	カラーVP管φ50、ステンレス掴み金物 【新設】
	⑨	壁樋 2	改修前	VP管φ100 SOP塗装 ステンレス掴み金物 【撤去】
			改修後	カラーVP管φ100、ステンレス掴み金物 【新設】
	⑩	ドレン 1	改修前	ルーフドレンφ50(鋳鉄製) 【撤去】
			改修後	改修用ドレンφ50用 【新設】
	⑫	ドレン 2	改修前	ルーフドレンφ100(鋳鉄製) 【撤去】
			改修後	改修用ドレンφ100用 【新設】
	⑬	外壁・柱・梁	改修前	コンクリート打放し 複層塗材E 下地調整材にアスベスト含有 【改修】
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【改修】
	⑭	軒裏 1	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E 下地調整材にアスベスト含有 【改修】
			改修後	既存面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【改修】
	⑮	軒裏 2	改修前	コンクリート打放し 【清掃】
			改修後	既存コンクリートの上、高圧水洗浄 【清掃】
	⑯	打継目地	改修前	PU-2・20×15 【撤去】
			改修後	PU-2・20×15 【新設】
	⑰	伸縮目地	改修前	PU-2・20×15 【撤去】
			改修後	PU-2・20×15 【新設】
	⑱	建具廻りシーリング	改修前	MS-2・10×15 【撤去】
			改修後	MS-2・10×15 【新設】
	⑳	鋼製手摺	改修前	鋼製手摺 SOP塗装 【塗替】
			改修後	既存下地調整(RB種)の上、DP塗装 【塗替】
	㉑	点検ハッチ	改修前	鋼製点検ハッチ600角 【撤去】
			改修後	ステンレス製点検ハッチ600角(カギ付) 【新設】
	㉒	建具	改修前	鋼製建具 【塗替】
			改修後	【塗替】既存下調整(RB種)の上、DP塗装 【塗替】
		天井改修	改修前	天井伏図参照のこと
			改修後	天井伏図参照のこと

仕 上 特 記 仕 様 書
使用する特定建材（下地、接着材、内装材、塗料等）は全てF☆☆☆☆とする。
特記なき限り外壁に取付ける金物の雨掛り部周囲はシール材を充填すること。
高圧水洗浄の高圧ポンプ種別は、高圧水洗浄：10～15MPa程度とする。

表 示 略 号		
部位	表示略号	表 示 事 項
塗 装	S O P	合成樹脂調合ペイント塗り
	D P	耐候性塗料塗り



1 階平面図

参考図

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

Architect  
Architect

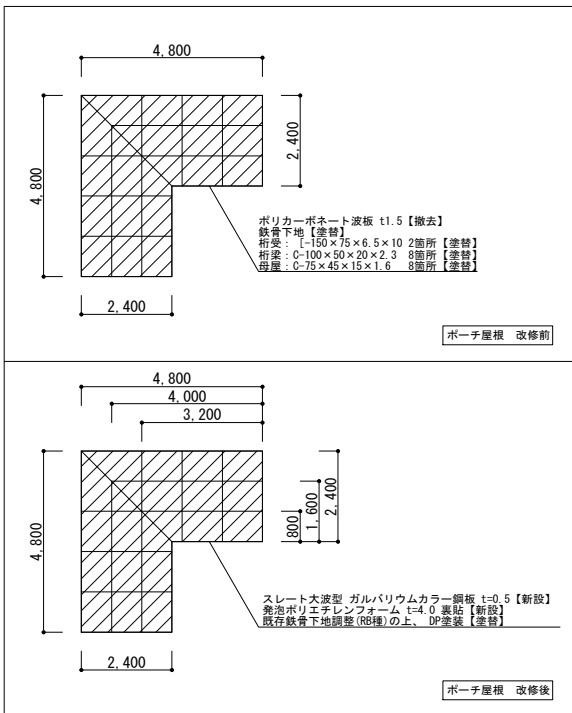
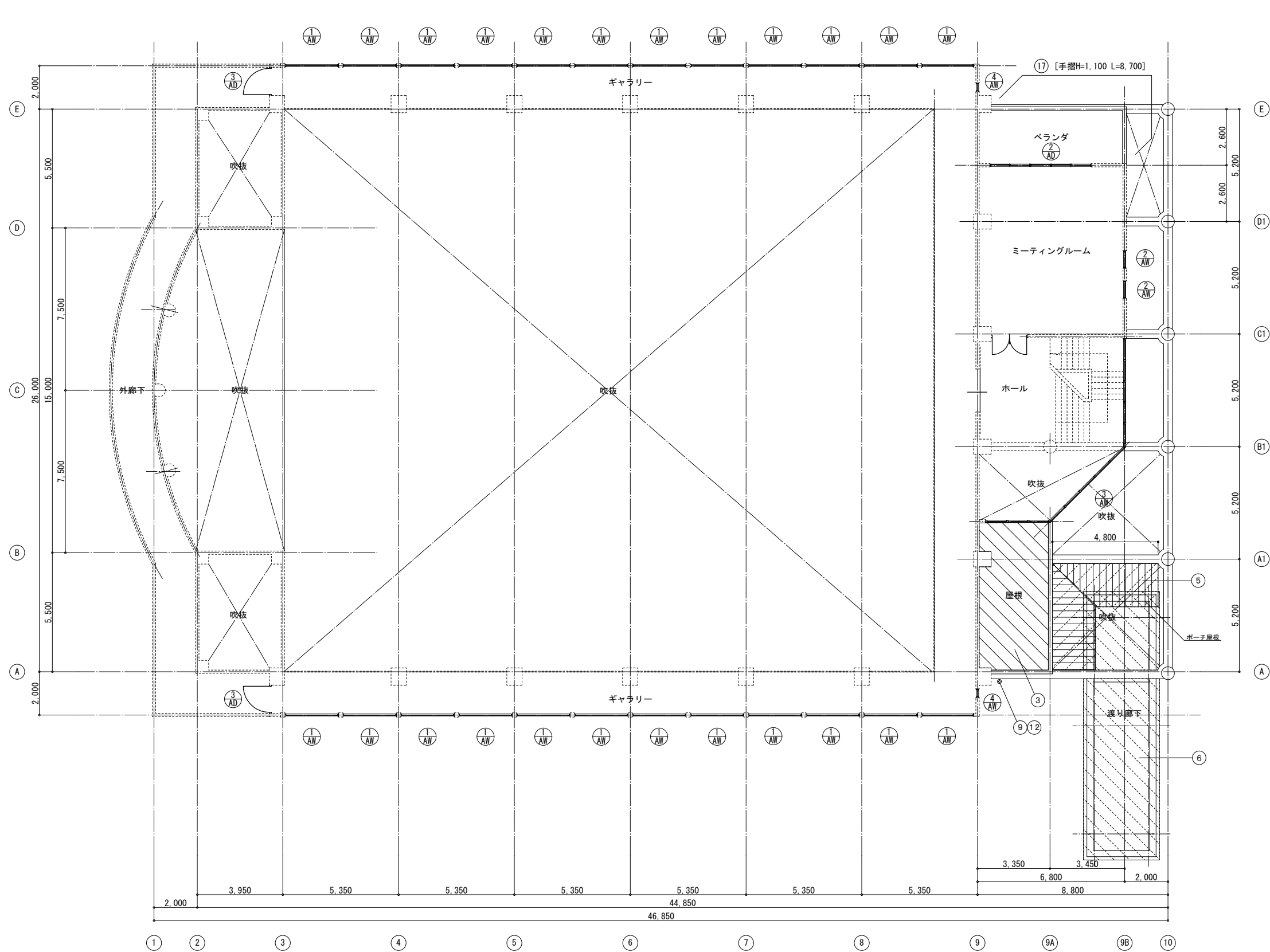
Date  
R 6. 0 3

Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
1 階平面図・外部建具KEYプラン(屋内運動場)

Scale  
A 1 : 1 / 1 0 0  
A 3 : 1 / 2 0 0

Drawing No.  
A - 2 9



2階平面図

備考)  
(番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

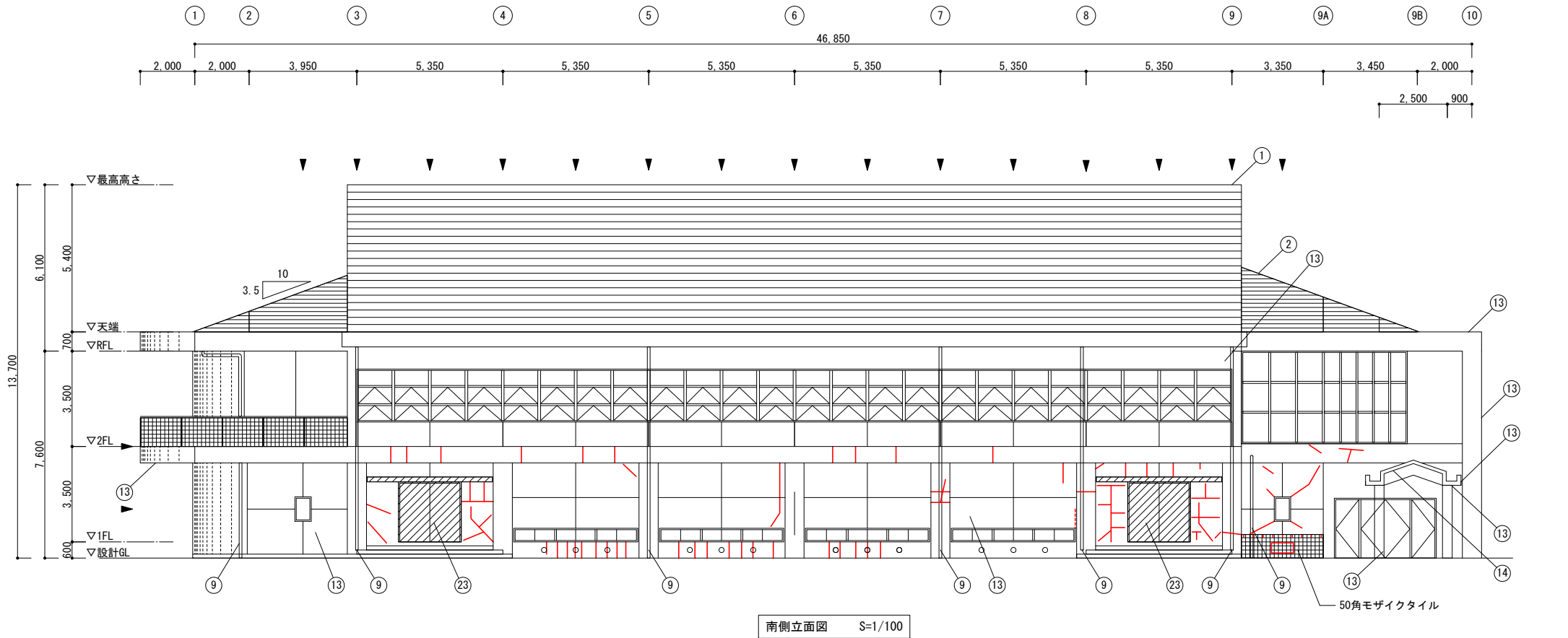
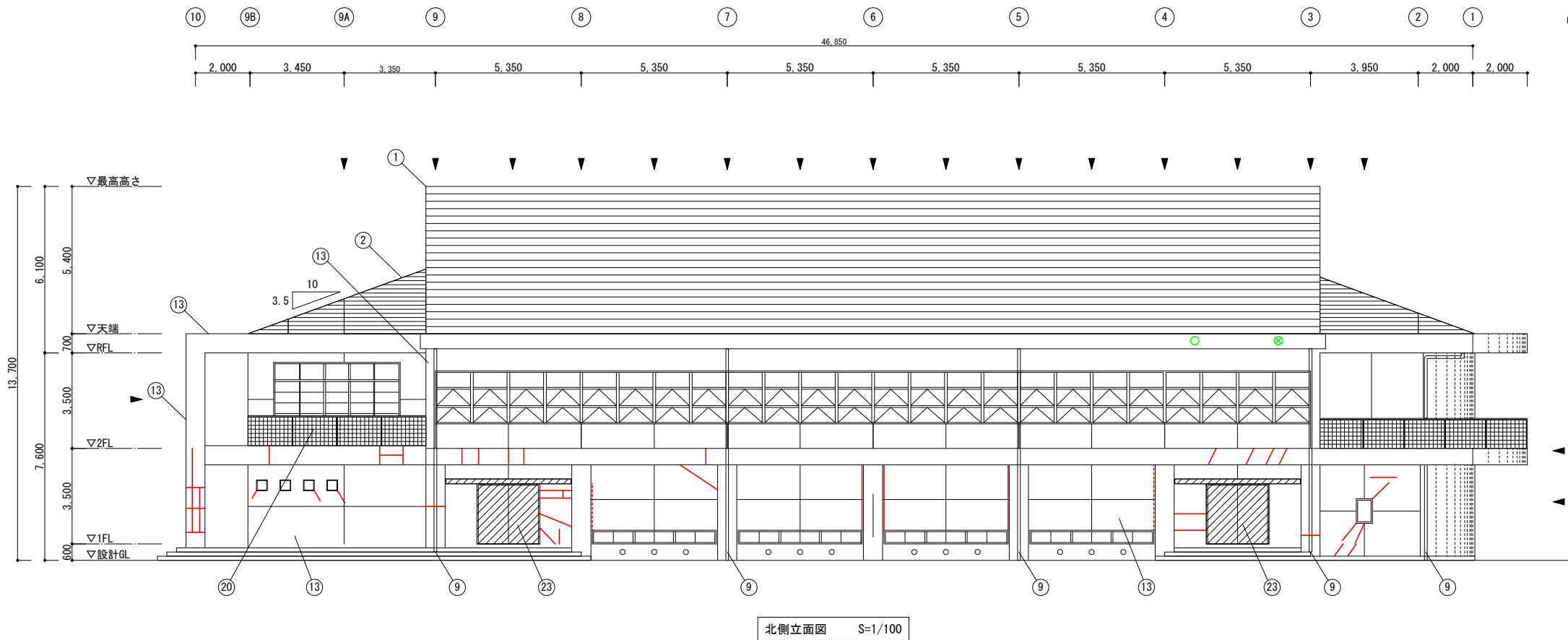
Architect  
Architect

Date  
R 6 . 0 3

Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
2階平面図・外部建具KEYプラン(屋内運動場)

Scale  
A1 : 1/100  
A3 : 1/200  
Drawing No.  
A-30



備考  
打継目地（水平）、伸縮目地（垂直）、建具廻りシーリングは改修対象棟の全ての部分を改修とする。

番号 は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

▲ は目地の位置を示す。

工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、  
躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）を実施し報告書を提出の上、  
発注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行うこと。

種 別		符 号		
ひび割れ		—	E	幅0.2mm未満
		—	F	幅0.2mm以上
		---	G	幅1.0mmを超える
		■	H	網状クラック
爆 裂		○	i	150角程度
		⊗	l	セバ跡
				浸透性防錆工法

参考数量		屋内運動場	クラブハウス
ひび割れ	幅0.2mm未満	0 m	0 m
	幅0.2mm以上	3 6 0 m	9 0 m
	幅1.0mmを超える	1 0 m	3 m
	網状クラック	2 m	1 m
爆 裂	150角程度	1 か所	1 か所
	セバ跡	5 0 か所	1 0 か所

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松 本 義 勝

Architect  
Architect

Date  
R 6 . 0 3

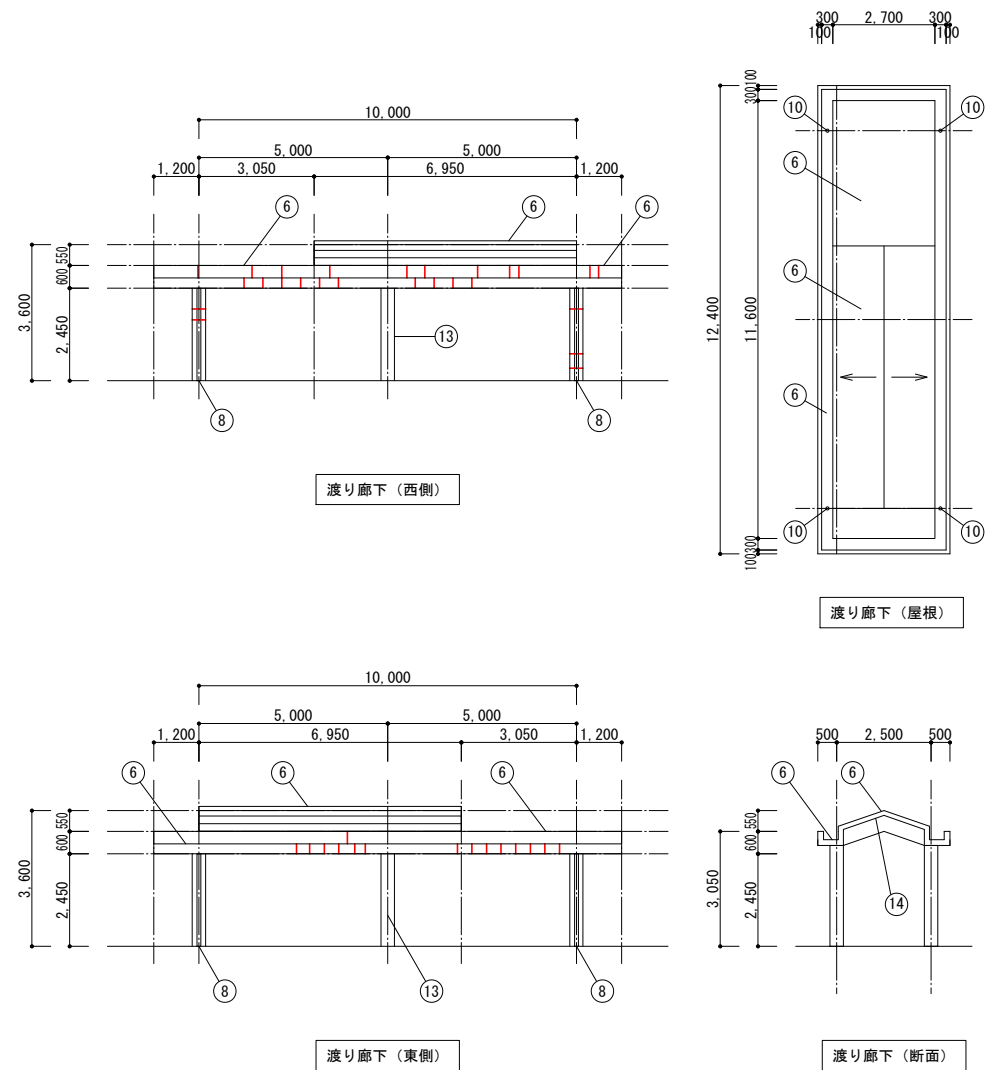
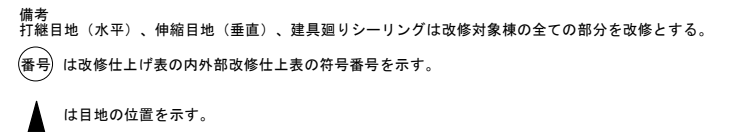
Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

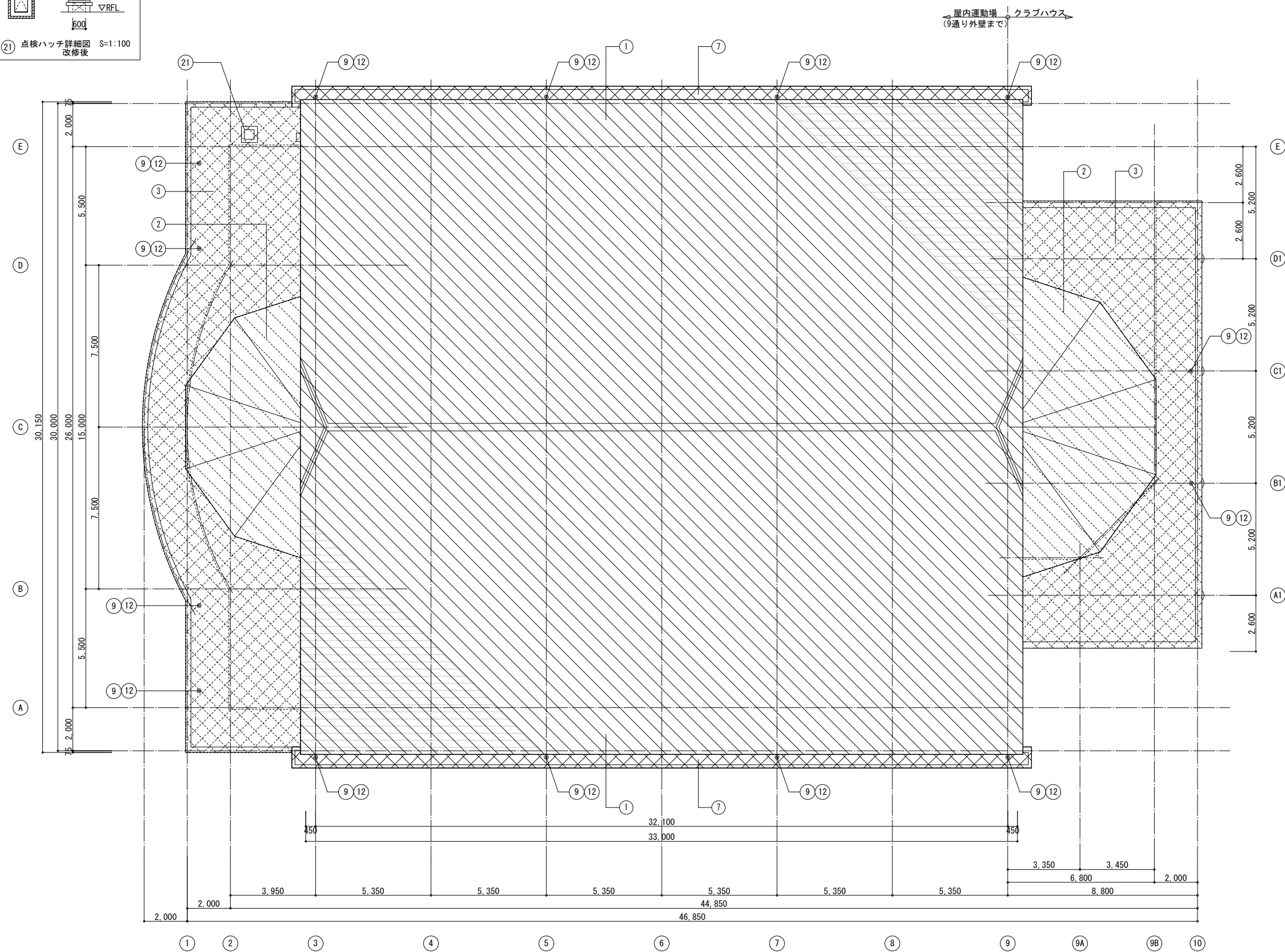
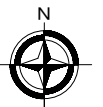
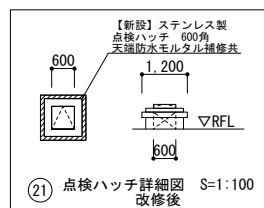
Drawing Title  
立面図(1) (屋内運動場)

Scale  
A 1 : 1 / 1 0 0  
A 3 : 1 / 2 0 0

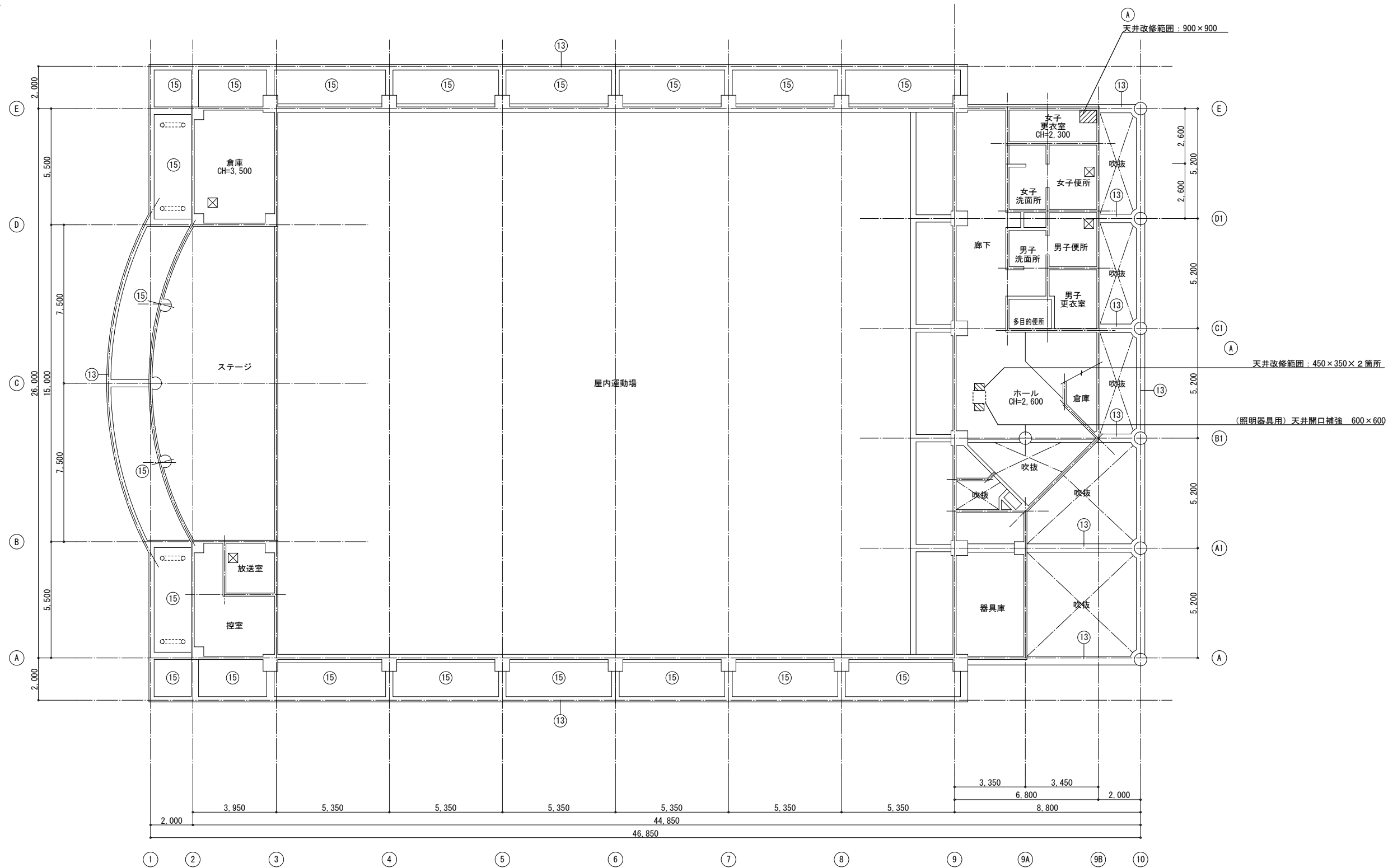
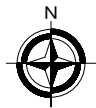
Drawing No.  
A - 3 1







屋根伏図 S=1/100



1 階天井伏図 S=1/100

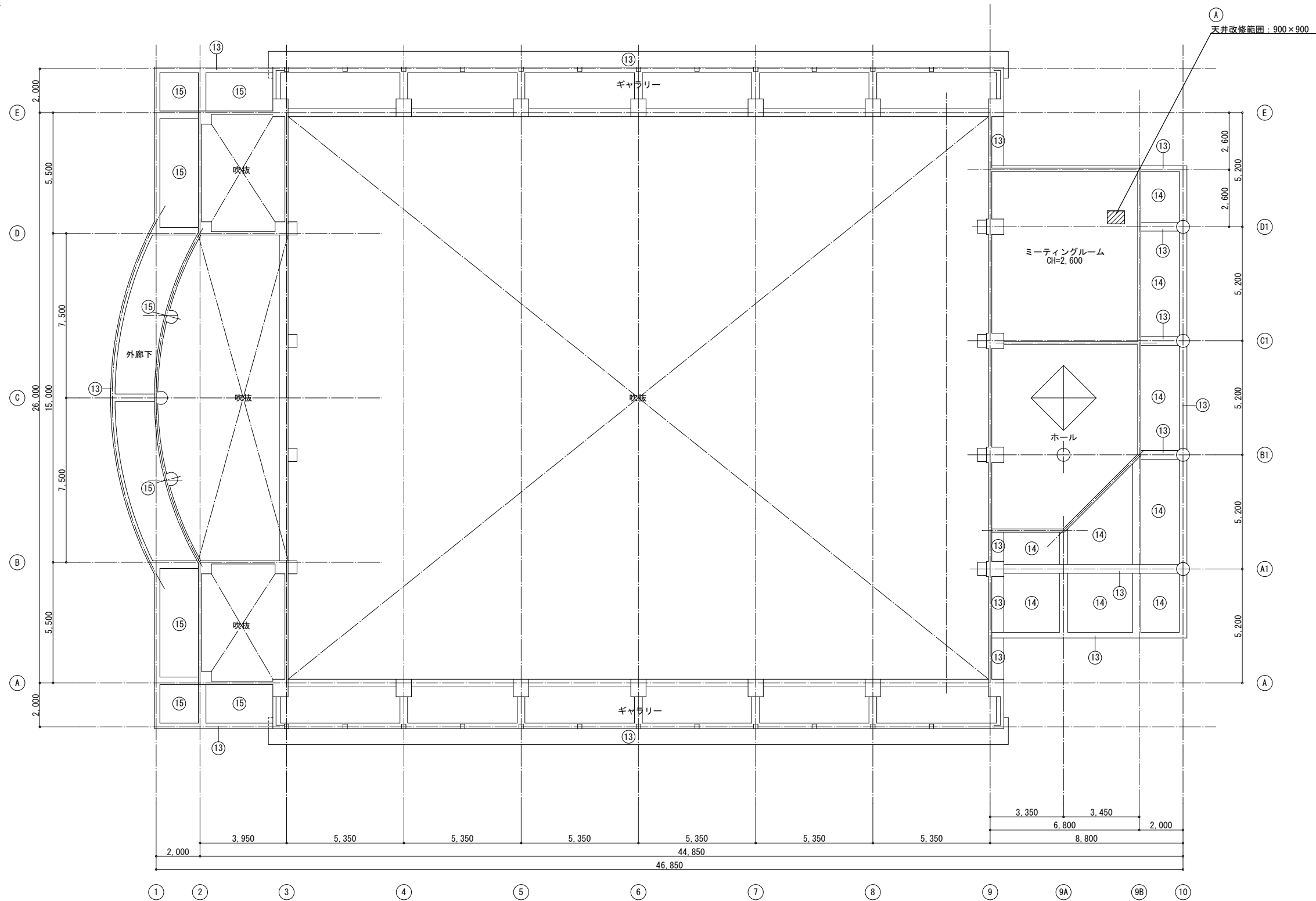
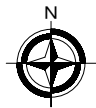
備考)  
設備機器天井開口補強 600×600 計 1 か所 【新設】

凡例 : 天井改修範囲


天井改修工事一覧表

A	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード張り t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧石膏ボード張り t=9.5	【新設】

外部の(番号) は改修仕上り表の内外部改修仕上りの符号番号を示す。



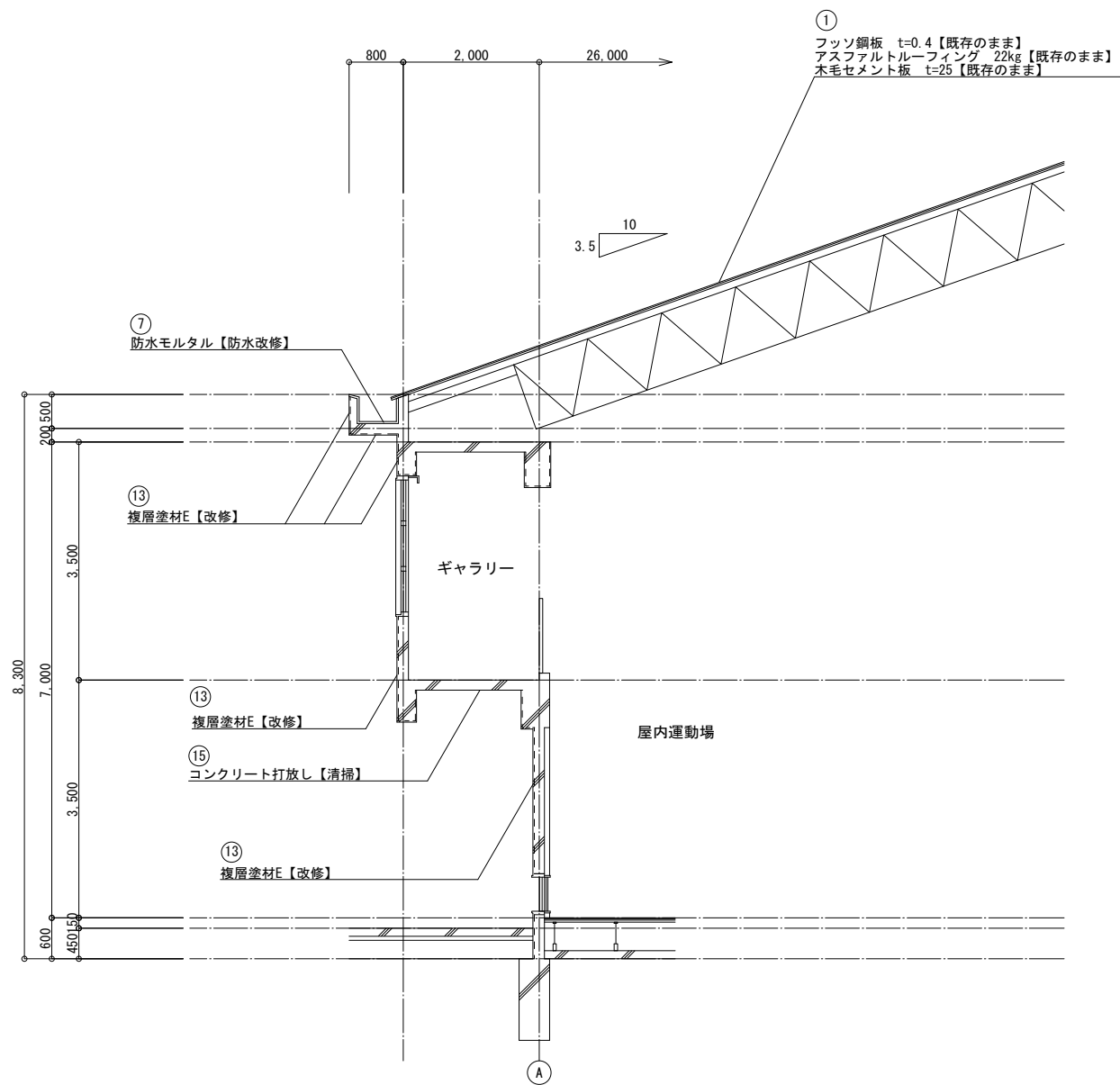
2階天井伏図 S=1/100

凡例  : 天井改修範囲

天井改修工事一覧表

A	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード張り t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧石膏ボード張り t=9.5	【新設】

外部の(番号) は改修仕上り表の内外部改修仕上り表の符号番号を示す。

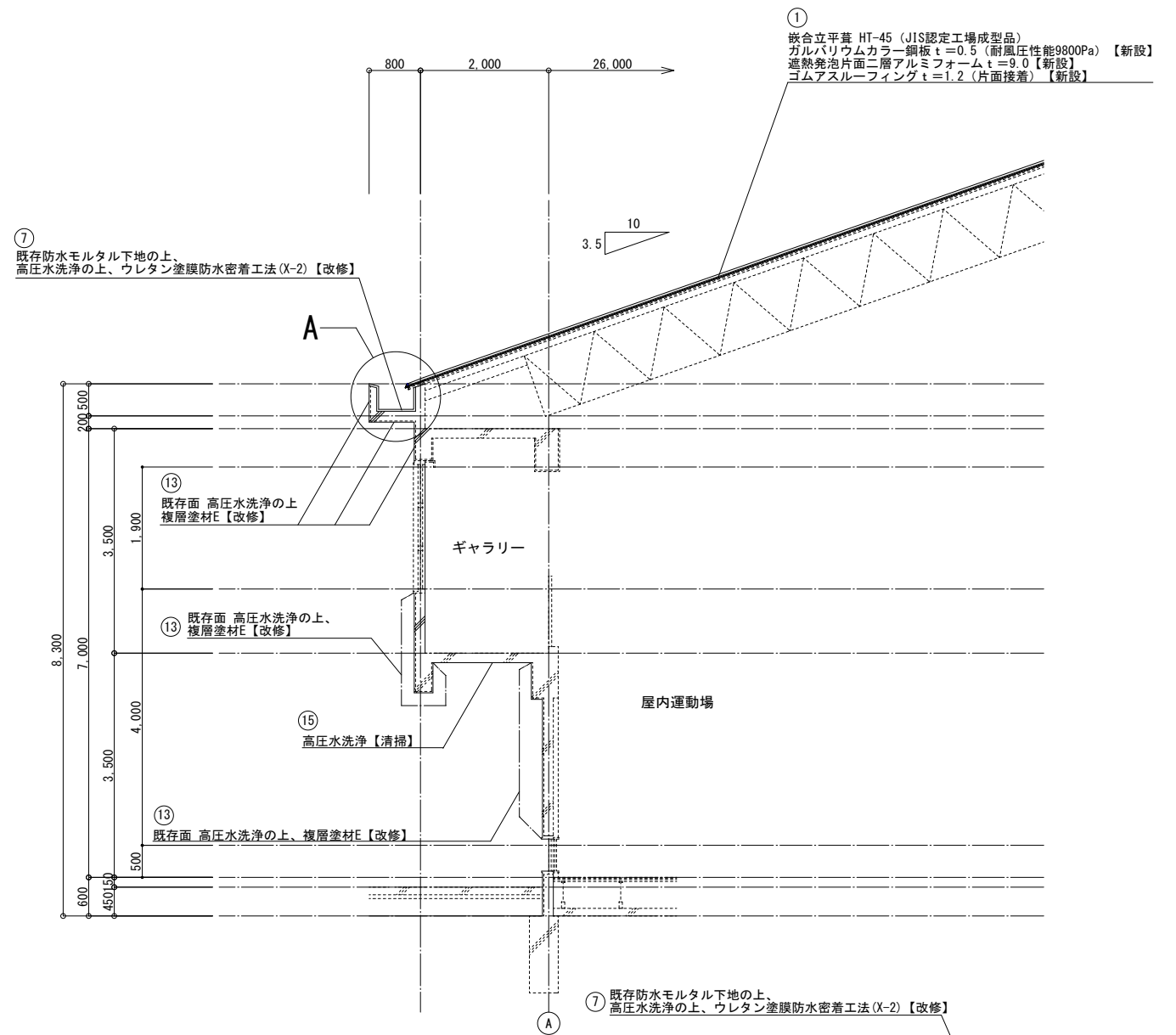


凡 例

撤去部分を示す。

シーリング打替位置を示す。

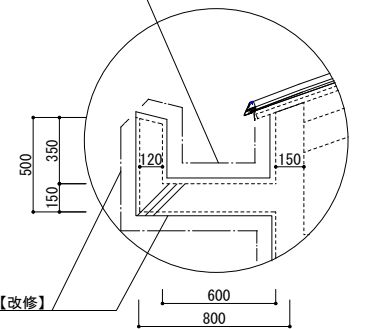
改修前矩計図

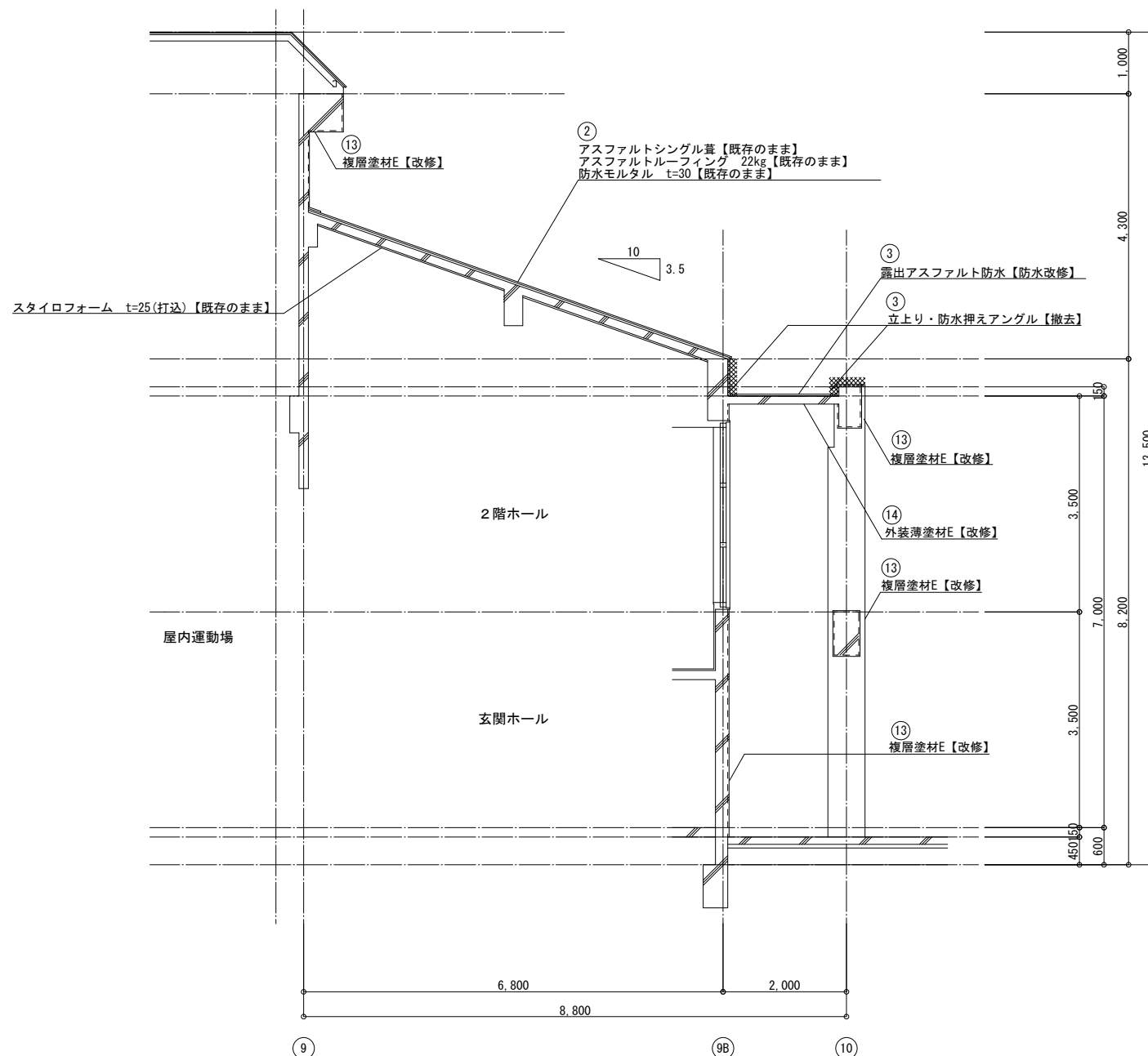


⑦  
既存防水モルタル下地の上、  
高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 【改修】

改修後矩計図

⑬  
既存面 高圧水洗浄の上、複層塗材E【改修】



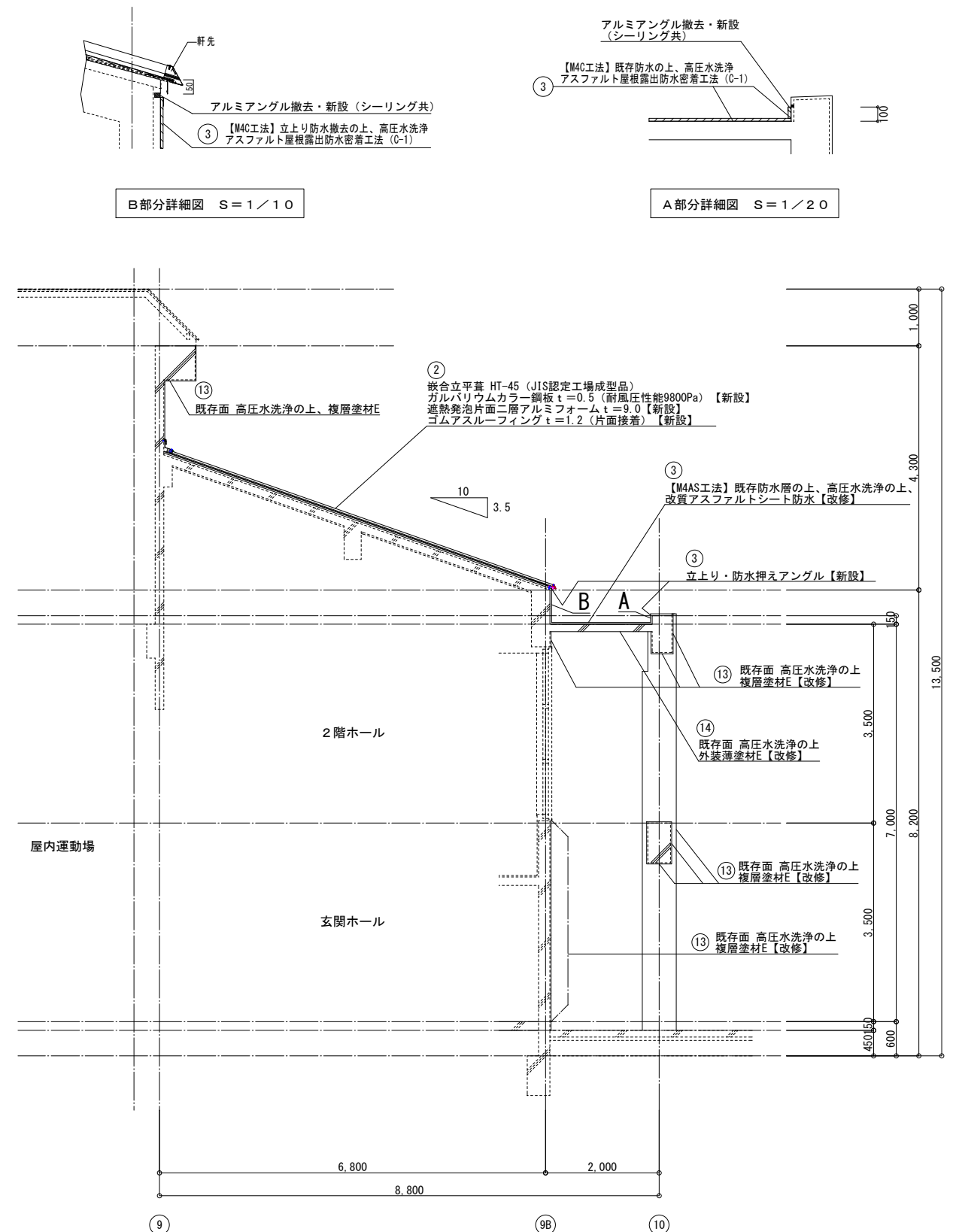


## 凡 例

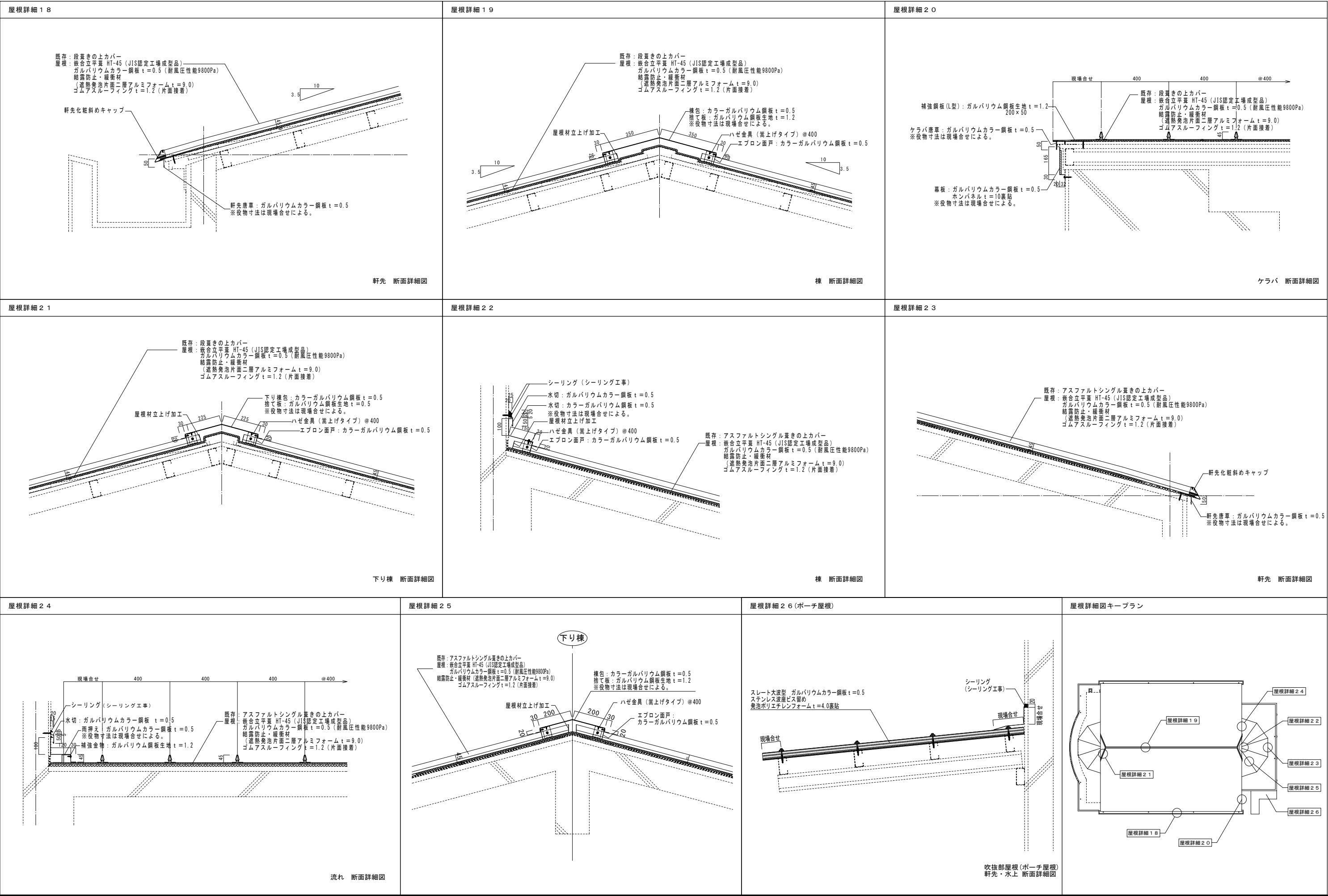
撤去部分を示す。

◁ シーリング打替位置を示す。

改修前矩計図

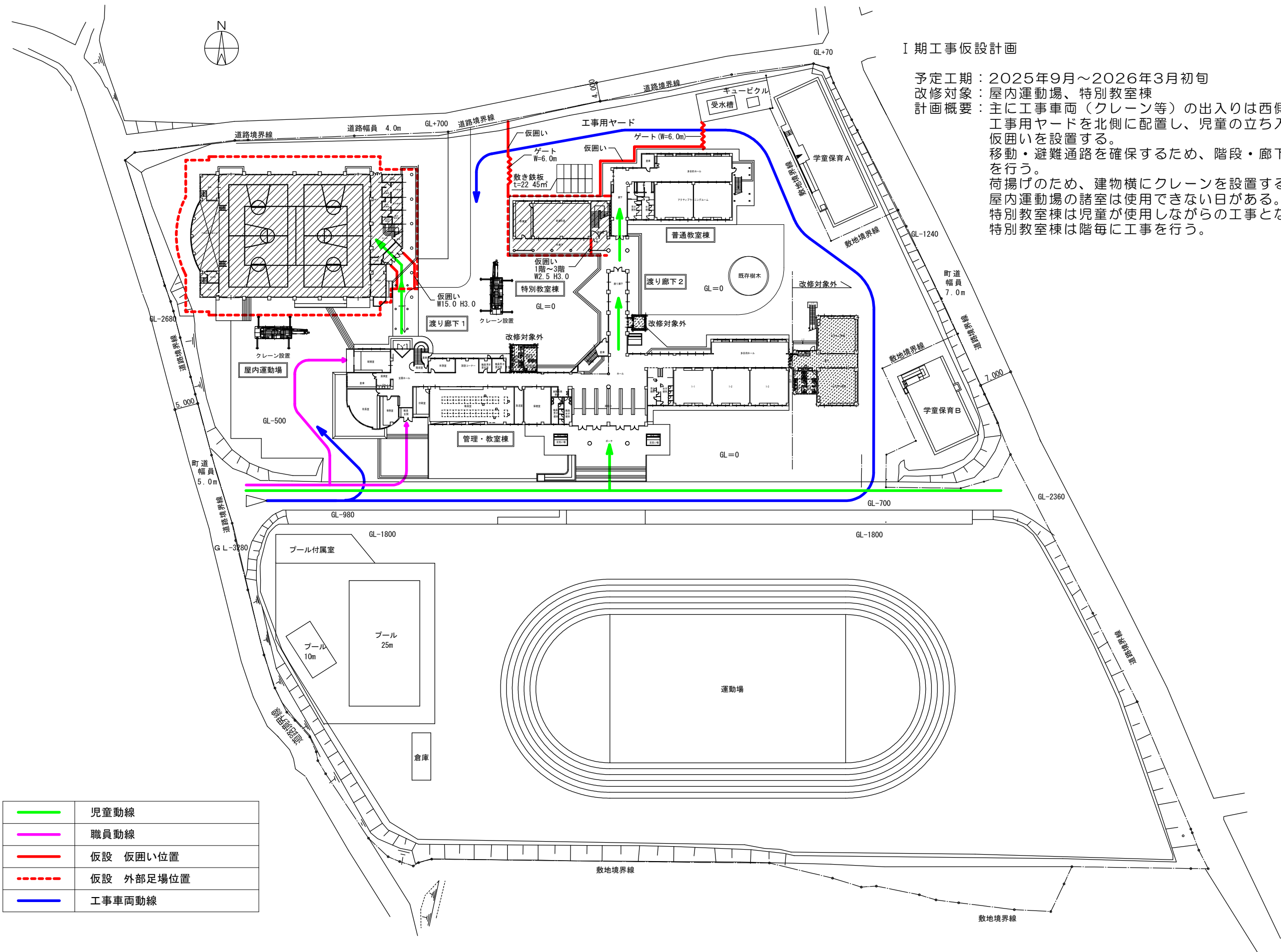


改修後矩計図



建具 符号	名 称	① AD	両袖片開き付両開きドア		② AD	中央 F 1 X 両袖引違い窓		③ AD	片開きフラッシュドア										
位 置	数 量	玄関ホール			1	ミーティングルーム			1	ギャラリー		2							
形 状 ・ 寸 法																			
建具 符号	名 称	④ AW	嵌め殺し窓及び突き出し窓			⑤ AW	上部嵌め殺し 縦滑り出し窓			⑥ AW	嵌め殺し窓 突き出し窓								
位 置	数 量	ギャラリー			24	ミーティングルーム			2	階段室					1				
形 状 ・ 寸 法																			
建具 符号	名 称	⑦ AW	3 連嵌め殺し窓			⑧ AW	横軸回転窓			⑨ AW	2 連両開き窓		⑩ AW	嵌め殺し窓		⑪ AW	3 連引き違い窓		
位 置	数 量	ギャラリー			2	控室、便所			13	廊下		2	女子更衣室		4	屋内運動場		8	
形 状 ・ 寸 法																			
建具 符号	名 称	⑫ SD	引き分けハンガードア																
位 置	数 量	屋内運動場			4														
形 状 ・ 寸 法																			

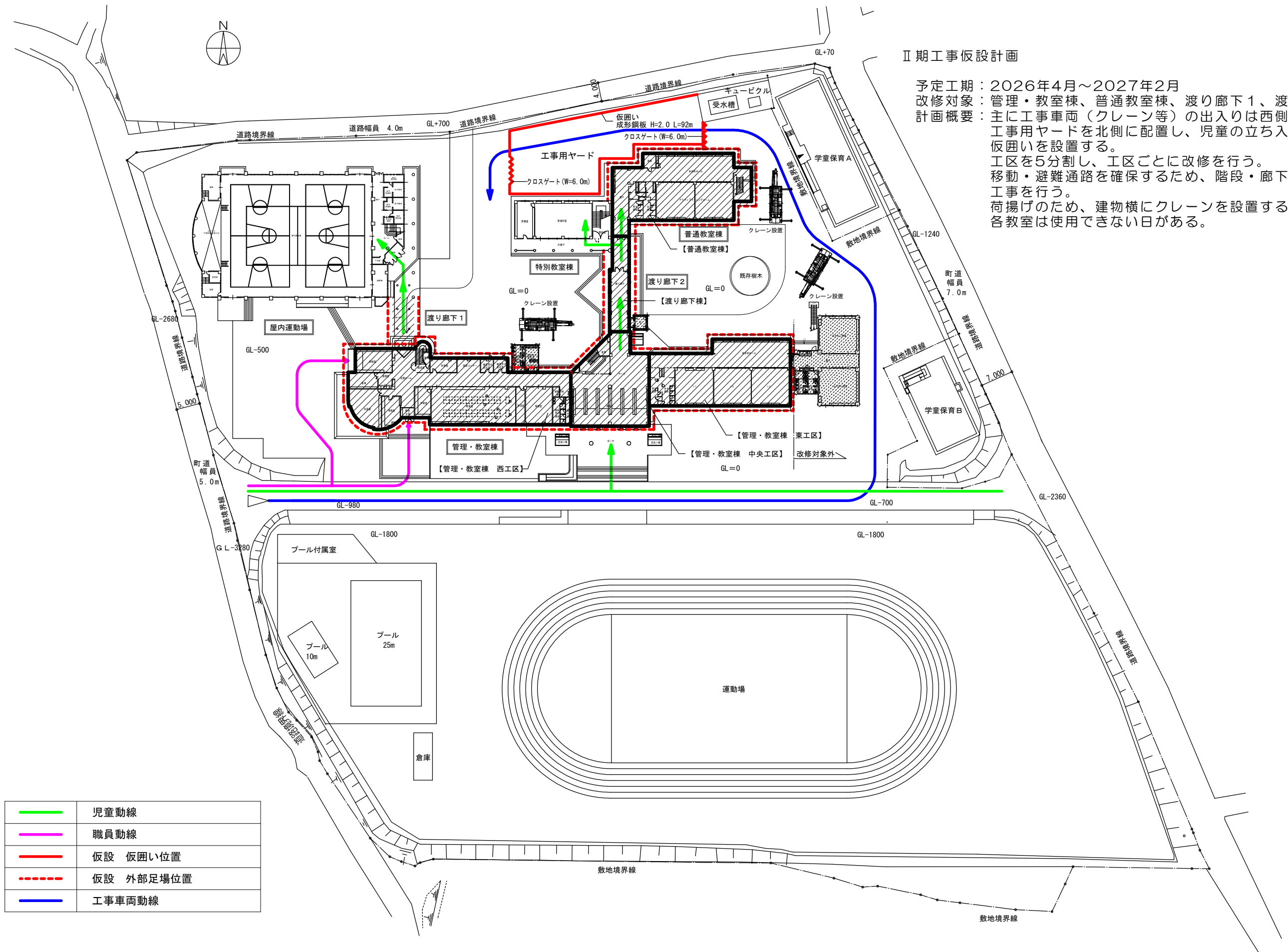




I 期工事仮設計画

予定工期：2025年9月～2026年3月初旬  
改修対象：屋内運動場、特別教室棟  
計画概要：主に工事車両（クレーン等）の出入りは西側道路とする。  
工事用ヤードを北側に配置し、児童の立ち入りができないように仮囲いを設置する。  
移動・避難通路を確保するため、階段・廊下は長期休暇時に工事を行う。  
荷揚げのため、建物横にクレーンを設置する。  
屋内運動場の諸室は使用できない日がある。  
特別教室棟は児童が使用しながらの工事となる。  
特別教室棟は階毎に工事を行う。

	児童動線
	職員動線
	仮設 仮囲い位置
	仮設 外部足場位置
	工事車両動線



Ⅱ 期工事仮設計画

予定工期：2026年4月～2027年2月  
改修対象：管理・教室棟、普通教室棟、渡り廊下1、渡り廊下2  
計画概要：主に工事車両（クレーン等）の出入りは西側道路とする。  
工事用ヤードを北側に配置し、児童の立ち入りができないように仮囲いを設置する。  
工区を5分割し、工区ごとに改修を行う。  
移動・避難通路を確保するため、階段・廊下は長期休暇時に工事を行う。  
荷揚げのため、建物横にクレーンを設置する。  
各教室は使用できない日がある。

	児童動線
	職員動線
	仮設 仮囲い位置
	仮設 外部足場位置
	工事車両動線

熊 本 県 機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

工事概要						
1	工事名称	大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事				
2	工事場所	大津町大字室1825番地				地 内
3	建物概要					
	建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第1区分	備 考
1	管理棟・普通教室棟	R C	3階	3,740	7項	
2	特別教室棟	R C	3階	490	7項	
3						
4						
建築基準法に基づき定められた風速 (V0) ( n/sec )						
建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ( )						
地表面粗度区分 . . . .						
4	工事項目 (電気設備工事) 印を付したものを					
	建物名	1	2	3	4	屋 外
1	電灯・コンセント設備					
2	幹線・動力設備					
3	電熱設備					
4	雷保護設備					
5	受変電設備					
6	電力貯蔵設備					
7	発電設備					
8	構内情報通信網設備					
9	電話・構内交換設備					
10	情報表示設備					
11	映像・音響設備					
12	拡声設備					
13	障害支援設備					
14	呼出設備					
15	テレビ共同受信設備					
16	テレビ電波障害防除設備					
17	監視カメラ設備					
18	入退室管理設備					
19	自動火災報知設備					
20	自動閉鎖・非常警報設備					
21	中央監視制御設備					
22	防犯設備					
23	電気時計設備					
24	外灯設備					
25	構内配電線路					
26	構内配電線路					
27	撤去工事					
5	工事項目 (機械設備工事) 印を付したものを					
	建物種別及び屋外	1	2	3	4	屋 外
1	空気調和設備	○	○			
2	換気設備					
3	排煙設備					
4	自動制御設備					
5	衛生器具設備					
6	給水設備					
7	排水設備					
8	給湯設備					
9	消火設備					
10	厨房設備					
11	ガス設備					
12	浄化槽設備					
13	昇降機設備					
14	撤去工事	○	○			
6	設備概要 (機械設備工事)					
( 本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない 印を付けたものが該当項目となる )						
空気調和方式	・ダクト方式(・中央・各階ユニット)・F C U方式 ・F C U+ダクト併用方式 ○パッケージ方式					
主要熱源機器	○空気熱源ヒートポンプユニット ・吸収冷凍水機 ・吸収冷凍水機ユニット ・パッケージ型空気調和機 ・マルチパッケージ型空気調和機 ・ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機					
換 気 設 備	機械換気 (・有・無)					
排 煙 設 備	機械排煙 (・有・無)					
自動制御設備	・電気式 ・電子式 ・デジタル式					
給 水 設 備	・水道直結方式 ・高圧タンク方式 (・上水・井水・中水) ・ポンプ直送方式 (・上水・井水・中水) ・増圧ポンプ方式					
排 水 設 備	建築物内の汚水と雑排水(・分流・合流) ポンプ排水 (・有 (・濯水・雨水・雑排水・汚水)・無) 汚水放流先 (・公共下水道 ・し尿浄化槽) 雑排水放流先 (・公共下水道 ・し尿浄化槽)					
消 火 設 備	・屋内消火栓 (・1号・2号) ・屋外消火栓 ・遠給送水 ・遠給取水 ・泡消火 ・スプリンクラー ・ハロゲン化物消火 ・二酸化炭素消火 ・新ガス系消火 ・フード専用簡易自動消火					
ガ ス 設 備	・都市ガス (供給業者名 種別 発熱量 MJ/m3) ・液化石油ガス					
注意事項	工事用資・機材、建設副産物等の過積載をしないこと。 過積載を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。 さし枠の設置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況 踏まえ同団体への加入者の使用の促進に努めること。 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する記述に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等 よって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 から の事項につき、下請け契約における受注者を指導すること。					

本工事の仕様は、図面及び仕様書に基づくものと、漏付の工事内訳書は参考とする。

2 図面及び仕様書に記載されていない事項は、概略図及び附属台帳は、概略図を示すものと参考とする。

3 契約締結後工事を進捗やかに進捗すること。現場代理人及び主任（監理）技術者通知書は、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することと確約できる事項を添付すること。

4 建設業連関金共済制度の「加入納付書」と及び建設労災補償共済制度の「加入証明書」（写し）もしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を証する書類を契約後1以内に提出すること。なお、建設業連関金共済制度の「掛金納付書」提出の必要がある場合は、建設業連関金共済証交付申請書を提出すること。

5 特記仕様書に記載されている監督員の承認、監督員との協議等の要項については、工事監理要項に定めることによる。

6 使用材料及び下請業者については、東屋資材、東内企業及び建設企業の採用を要すること。東屋資材を使用しない場合は、「東屋資材等不使用状況報告書」を監督員等に提出し、報告を得ること。なお、東屋資材、東内企業及び建設企業は、以下に該当するものという。

（1）東屋資材とは、東内で産出、生産又は製造されたものをいう。

（2）東内企業とは、東内に主たる営業所を置く建設事業者をいう。

（3）建設企業とは、東内に開設された企業をいう。

7 本工事は電子納品対応工事とする。

8 暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

なお、遵守しないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。

不当介入を受けた場合は、概略としてこれを拒否し、不当介入があった時点より速やかに警備署等へ通報し、捜査上必要な協力を行うこと。

警備に通報等を行う際には、図面より速やかに発見者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工事に遅延が生じるとの事実が判じ地場合は、発注者と協議を行うこと。

**工事仕様**

1 図面及び仕様仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁部監修「公共施設工事標準仕様書（建築工務編）」（令和4年版）」及び「公共施設工事標準仕様書（電気設備工務編）」（令和4年版）」、及び「公共施設工事標準仕様書（機械設備工務編）」（令和4年版）」による。なお、公共住宅関連にあっては、国土交通省住宅住宅住宅総合監修監修「公共住宅施設工事公共仕様書（令和元年度版）」を併せて適用する。

2 項目は、番号の前に 印の付いたものを適用する。

3 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と印の付いた場合は、両方適用する。

4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。

5 各章の特記事項欄にある（ ）書きは新築工事標準仕様書の章・項番号である。

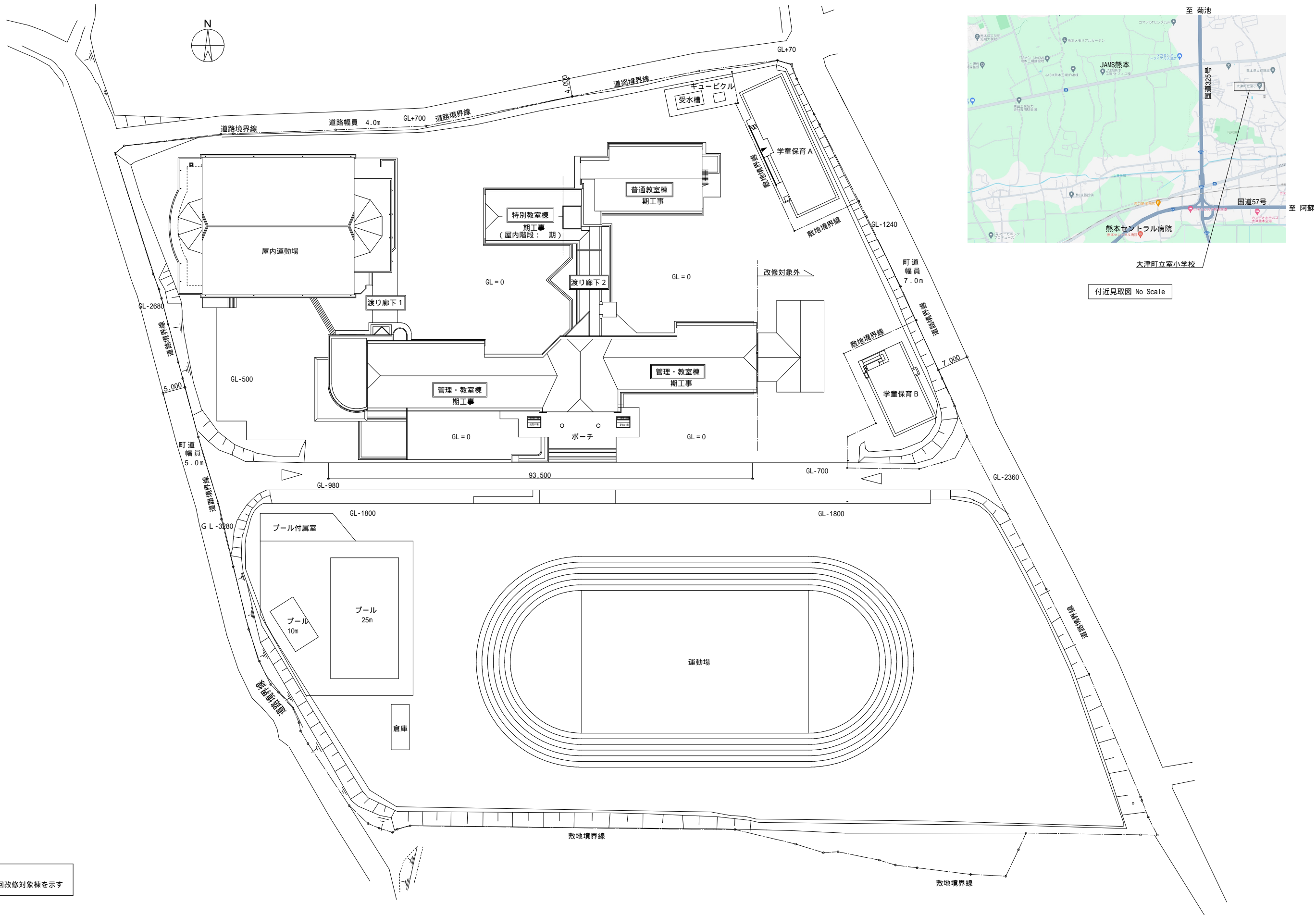
6 使用する材料、工法については監理監督員と協議のうえ、変更することができる。

各章共通事項	12	技能士	通用工事種別（ ）内は、通用作業 ・ 鉄筋工事 1級鉄筋施工技能士 ・ コンクリート工事 ・ 1級左官技能士 ・ 1級型枠施工技能士 ・ 1級コンクリート圧送施工技能士 ・ 鉄骨工事 1級とび技能士 ・ ブロック及びALCパネル工事 1級ブロック置築技能士 ・ 防水工事 1級防水施工技能士 （ 作業） ・ 石工事 1級石材施工技能士 ・ タイル工事 1級タイル張り技能士 ・ 木工事 1級造作大工技能士 ・ 屋根及びとい工事 1級屋根板金技能士（内外装板金作業） ・ 金属工事 ・ 1級内装仕上げ施工技能士（鋼製下地工事作業） ・ 産業板金（内外装板金作業） ・ 左官工事 1級左官技能士 ・ 障具工事 ・ 1級サッシ施工技能士 ・ 1級ガラス施工技能士 ・ 塗装工事 1級塗装技能士 （ 作業） ・ 内装工事 1級内装仕上げ施工技能士 （ 作業） ・ 植栽工事 1級表装技能士 （ 作業） ・ 設備工事 ・ 1級油屋技能士 ・ 1級冷凍空調機器施工技能士 ・ 1級給排水衛生技能士 ・ 1級建築板金技能士（ダクト板金作業） 技能士は、資格を証明する資料を監督員に提出すること。	(1.5.2)
	13	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	
	○ 14	建設工事使用機械等	建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。	
	15	設計 G L	図示による。 ・ 現状地盤の平均高とし、監督員の指示による。	
	○ 16	既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修すること。	
	○ 17	他工事との取合い	施工期間 別表 - 1 にによる。 施工間 設備機種の設置、取合いなどが検討できる施工間を提示し、監督員の承認を受けること。	
	○ 18	建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放数量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。 F ・ （ ）	
	19	化学物質の濃度測定	・ 行う。 ・ 行わない。（1.5.9） 厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名 : （ ） 測定法 ・ アクティブ型 ・ パッシブ型 ・ その他	
	20	工事写真等	撮影箇所及び撮影方法は、「熊本県建築工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成写真用写真は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下記冊子の撮影とする。 ・ 監督員の承諾を受けた写真専門業者 監督員の承諾を受けた撮影者	
	21	完成図	貸与した原図（電子データを含む）に変更内容を加削訂正し、下記のものを添えて監督員に提出すること。（1.7.1 1.7.2） また、施設引渡し品がある場合、その受領帳（写）を監督員に提出すること。 工事完成図（２つ折製本（A４）１部、２つ折製本（原図）１部、A４版折込製本（原図）１部） 試験成績簿、保証書、取扱説明書等 電子データについては、熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品を行うこと。	
22	施工図	熊本県電子納品運用ガイドラインの仕様により作成し、納品するものとする。 当該建築物の取得する施工図等の著作権に係わる使用権は、当該建築物に限り発注者に移譲する。		
23	保全に関する資料	・ 提出する。 ・ 提出しない。（1.7.1 1.7.3） 提出回数 ２回 ・ （ ）回		
24	保険等	熊本県公共工事集約的契約第50条第1項により、次の保険等（その他これに準ずるものを含む）に付さなければならない。 （１） 保険の種類 ・ 火災保険又は建設工事保険 組立保険 〈事業賠償責任担保保持特約付き〉 （２） 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）〈損害賠償等特約を含む〉 （３） 保険の加入期間 工事着手後（原則とする）速やかに加入し、工期末より３０日間以上 ・ その他 （ ） （４） 保険金額 原則として償済金額に相当する金額 ・ その他 （ ）		
25	安全施工実施対策	建築工事安全施工技术指針にしたがい、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ提出すること。		
○ 26	官公庁への 諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特記ある事項は別途とする。（1.1.3）		
○ 27	石綿（アスベスト）	工事開始前に労働基準監督署と自治体（自治体への報告は大気汚染防止法に基づくもの）に対して、本工事に関係する石綿の有無について事前調査結果の報告を行う 事前調査結果の報告については、石綿事前調査結果報告システム（ <a href="https://www.lshwta-houkoku.mhiw.go.jp">https://www.lshwta-houkoku.mhiw.go.jp</a> ）を用いても良い。 また、石綿の有無の事前調査の対象箇所については、県監督員と協議のうえ決定すること。		
2	仮設工事			
○ 1	既存部分の養生	養生方法 ビニールシート等による。 ・ （ ） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 行わない。 ・ 行う（図示による） 既存家具等の養生 ・ ビニールシート等による。 ・ （ ）		
○ 2	監督員事務所	・ 設ける 設けない（2.3.1） 面積規模 （ ）㎡程度 備品については、監督員の指示による。	(2.3.1)	
○ 3	工事用水	構内既存の施設 利用できる( 有償 ・無償) 利用できない		
○ 4	工事用電力	構内既存の施設 利用できる( 有償 ・無償) 利用できない		
5	外部足場	伸縮本足場 その他( )		
6	手すり先行足場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基研第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、手すりや足場の取付け等を行う旨を事前に申し渡すこと。手すりや足場の取付け等を行う旨を事前に申し渡すこと。手すりや足場の取付け等を行う旨を事前に申し渡すこと。		
3	土工事			
1	埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)		
2	建設発生土の処理	構外指示の場所 受け入れ場所 ( ) 受け入れ場所での処理 ( ・ 敷きならし たい覆い ) 搬出距離 ( ) km 上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、実際にあたっては監督員と協議のうえ決定する ・ 構内指示の場所 ( ・ 敷きならし ・ たい覆い )	(3.2.5)	

R5.3.17改定

目 次		特 記 事 項		備 考																																																		
○ 1	機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする		8 風量測定口	下記の箇所に測定口を取り付けること ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込側ダクト・ 外気取入ダクト ・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト																																																	
	○ 2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による (1.1.4.5) (1.1.4.6)			9 チャンパー等																																																	
	○ 3 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は原則として表示された数値以上とすること (2) 電動機出力は原則として表示された数値以上の容量とすること			(1) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りへ排水すること (2) シーリングディフューザー形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) ネット径が 200 以下のもの 400×400×250H (b) ネット径が 200 をこえるもの 500×500×300H (3) プリースライク形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) シングル形 200×(L+100)×300H (b) ダブル形 250×(L+100)×300H 標準仕様書によるほか、下記による(3.1.15.8) (3.1.15.9) 操作方法 同時通電式又は電動式( DC24V 0.7A 以下) 制御方式 遠隔制御式( DC24V 以下)																																																	
	○ 4 附属施工	(1) 設計用水平地耐力 機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) [kN] に、次に示す設計用荷重密度を乗じたものとする 局部集積法による建築設備機器の設計用荷重密度 (K/s) <table border="1"><thead><tr><th colspan="4">設置場所</th><th colspan="4">設置場所</th></tr><tr><th colspan="2">○ 特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th><th colspan="2">○ 特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>機器</th><th>水槽</th><th>機器</th><th>水槽</th><th>機器</th><th>水槽</th><th>機器</th><th>水槽</th></tr></thead><tbody><tr><td>上層階、屋上及び埋置</td><td>2.0 (2.0)</td><td>2.0</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6</td></tr><tr><td>1階及び地下階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>1.5</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0 (1.0)</td><td>1.0 (0.6)</td><td>0.4 (0.6)</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> 上層階の定義は次にによる 注：( ) 書きの数値は防振機器とする 層 階 埋 置 上 層 階 埋 置 上 層 階 埋 置 上 層 階 埋 置 2 ～ 6 階埋置 最上階埋置 10 ～ 12 階埋置 上層 3 階 7 ～ 9 階埋置 上層 2 階 13 階埋置 上層 4 階 天井から吊る空調室内機、全熱交換器等は振れ止めを施すこと 形振れ止め支持をする壁取り付けの末端部に形振れ止めを施すこと (2) 設計用鉛直地耐力 設計用鉛直地耐力は、設計用水平地耐力の1/2とした値とする					設置場所				設置場所				○ 特定の施設		一般の施設		○ 特定の施設		一般の施設		機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	上層階、屋上及び埋置	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0	中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6	1階及び地下階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (0.6)	0.4 (0.6)	0.6
設置場所				設置場所																																																		
○ 特定の施設		一般の施設		○ 特定の施設		一般の施設																																																
機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽																																															
上層階、屋上及び埋置	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0																																															
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6																																															
1階及び地下階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (0.6)	0.4 (0.6)	0.6																																															
5 建築物導入部の位置	・ 図示による 標準図 施工4、5(・ (a)・ (b)・ (c)) による (・ 給水・ガス・消火・ )			11 弁類	JIS の呼び圧力5K とする ー ただし、特記部分は JIS の呼び圧力10K とする			1 弁類	JIS の呼び圧力5K とする (2.2.2.1) ー ただし、特記部分は JIS の呼び圧力10K とする																																													
○ 2	建築物 E X P J の位置	・ 図示による 標準図 施工7 (・ (a)・ (b)・ ) による (・ 給水・ガス・消火・ )		5 空気調和設備	12 防振継手	・ 合成ゴム製 ・ ベローズ形ステンレス製 (2.2.2.8)		12 厨房設備	2 その他	貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りへの流しに間接排水すること																																												
	○ 7 総合試験調整	各機器の個別運転後に下記の総合試験調整を行い、測定報告書を提出する 改修工事で影響のある範囲で行う ・ 風量調整 ・ 水量調整 ○ 室内気流及び室内外空気の温度の測定 ・ 騒音の測定 ・ 飲料水の水量測定 ( 箇所) ・ 給排水の水量測定 ( 箇所)			13 圧力計	取得部は下記による 温度計はガード付き形温度計で水銀製品以外のもの又はバイメタル式 100 とする (3.1.14.14) ・ 熱源機器の冷水水管 (送り、送り) 及び冷却水管 (送り、送り) ・ ボイラーの温水管 (送り、送り) ・ 空気調和機の冷水水管 (送り、送り) 及び三方弁装置後の冷水水管 (送り、送り) ・ 熱交換機の温水管 (送り、送り) 及び冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 冷水水ヘッダー (送り) 及び冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 空気調和機 (パッケージ形を含む) のサブライチチャンパー、レタングダクト、外気取入ダクト及びレタングチャンパー			1 室内消火設備	室内消火設備の仕様は以下による (5.1.5.2.2) ・ HB-1A ・ HB-1B ・ HB-1AT ・ HB-1BT ・ HB-2A ・ HB-2B ・ HB-4A ・ HB-4B																																												
	○ 8 配管工事	管 道 保 護 材 ( 屋 内 配 出 ) ( 屋 外 配 出 ) ( 屋 上 配 出 ) 冷水管 ・ SGP (白) ・ STPG370 ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS アルミガラスクロス 冷温水管 ・ SGP (白) ・ STPG370 ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS アルミガラスクロス 温水管 ・ SGP (黒) ・ STPG370 ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS アルミガラスクロス 排水管 ・ SGP (黒) ・ STPG370 ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS アルミガラスクロス 冷熱 ○ 断熱材被覆管 (JCA0008) シフト ・ ベア ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS アルミガラスクロス 排水 (室内) ・ SGP-VA ・ SGP-VB ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 単色アルミガラスクロス (屋外) ・ HI-VP ・ SGP-VD ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS 単色アルミガラスクロス 給湯 ・ SGP-HVA ・ SUS304 ・ 外装被覆管 ( 屋 上 配 出 ) 消火 ・ SGP (白) ・ STPG370 ・ SUS304 ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 ガルバ ・ SUS 単色アルミガラスクロス 排水 (室内) ○ VP ・ RF-VP ・ 耐火二層管 ○ GS ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 アルミガラスクロス (屋外) ・ VP ・ RU ・ RF-VP ・ RS-RU ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 アルミガラスクロス 温水管 ・ VP ・ RU ・ RF-VP ・ RS-RU ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 アルミガラスクロス 排水管 ・ VP (白) ・ G ・ R ・ P 合成樹脂製パイパー1 アルミガラスクロス 注 2 はガラス管、R はロッキング、P はステンレスフォーム 注 都市ガスはガス事業者の供給規定による 注 SUS管は ( ) とする (2.2.1.2) (2.2.4.1) (2.3.1.6) 注 使用する管、保護材、保護外装については関係管業と協議のうえ、変更することができる。 自動 (1) 用水 弁類 (・ 青銅製 ・ SUS製) フロート (・ SUS製 ・ 合成樹脂製) (2.2.2.5) (2) 蒸気用 弁類 (・ 青銅製 ・ 鋼鉄製) ベローズ (・ 青銅製 ・ SUS製)																																																				
	9 エア抜き	異電圧の接合要領は図示が無い場合は、標準図 (施工3) に準ずる(2.2.2)			14 温度計	取得部は下記による 温度計はガード付き形温度計で水銀製品以外のもの又はバイメタル式 100 とする (3.1.14.14) ・ 熱源機器の冷水水管 (送り、送り) 及び冷却水管 (送り、送り) ・ ボイラーの温水管 (送り、送り) ・ 空気調和機の冷水水管 (送り、送り) 及び三方弁装置後の冷水水管 (送り、送り) ・ 熱交換機の温水管 (送り、送り) 及び冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 冷水水ヘッダー (送り) 及び冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 空気調和機 (パッケージ形を含む) のサブライチチャンパー、レタングダクト、外気取入ダクト及びレタングチャンパー			2 加熱方法	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 電気 (5.1.6.1)																																												
	10 絶縁継手	ステンレス製・鋼板より付け 鋼製継手 (2.2.2.20)			17 瞬間流量計及び測定タッピング (32mmビット管用流量計)	(1) 熱源機器の冷水水管 (送り又は送り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (2.2.3.8) (2) 熱源機器の冷却水管 (送り又は送り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (3) ボイラー又は熱交換機の温水管 (送り又は送り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (4) 空気調和機の冷水水管 (送り又は送り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (5) 冷水水ヘッダーの各返り管			3 安全装置	・ 立ち消火安全装置 ・ 加熱防止装置 ・ 空焚き防止機能 ・ 自動消火装置 ・ 過圧防止装置																																												





凡例  
今回改修対象棟を示す

Matsumoto  
Architecture  
Corporation

Office  
株式会社 マック  
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号  
Architect  
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号  
松本 義勝

Architect  
Architect

Date  
R 6 . 0 3

Project  
大津町立室小学校校舎体育館屋根外壁等改修工事

Drawing Title  
付近見取図・配置図

Scale  
A1 : 1/400  
A3 : 1/800

Drawing No.  
M-03

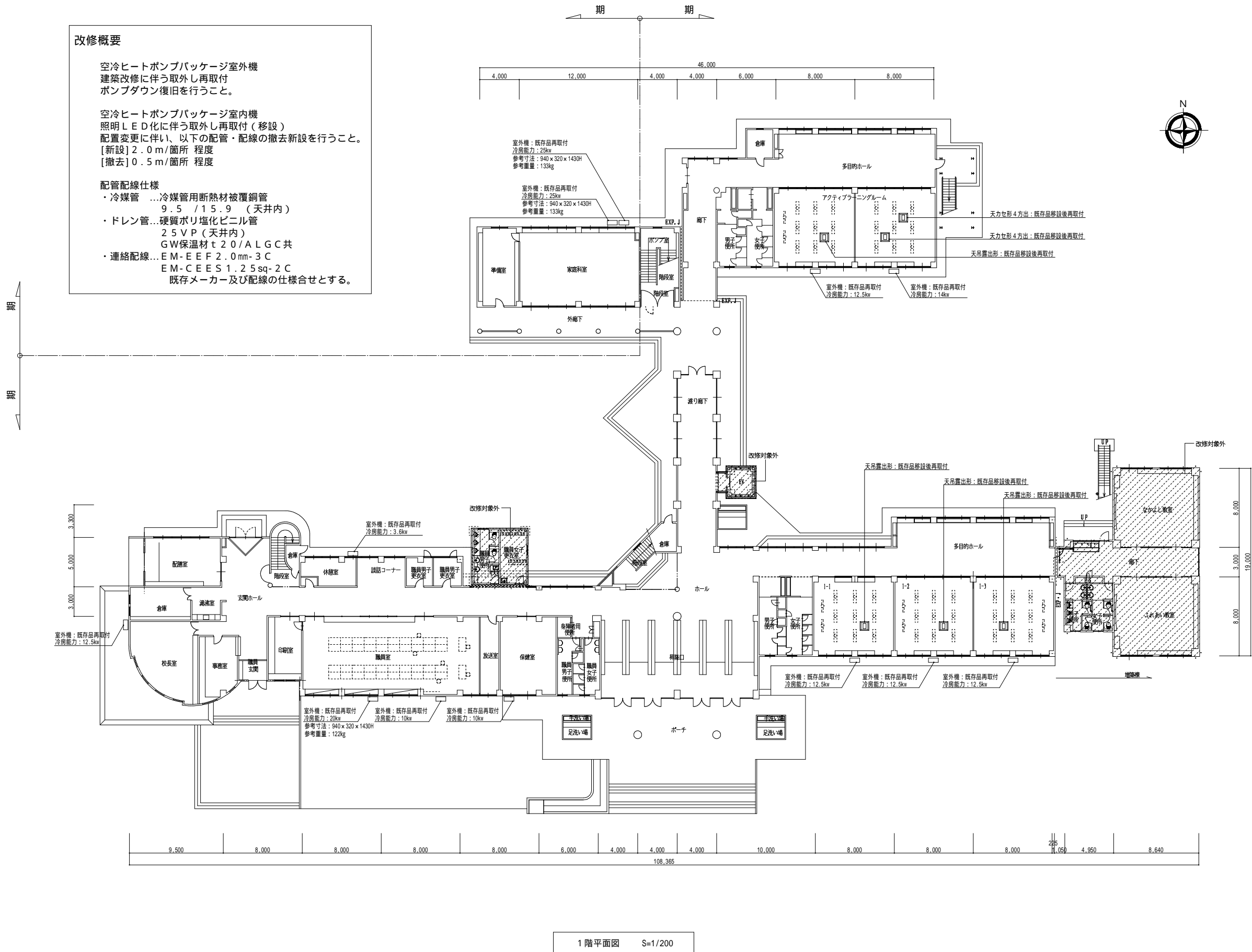
改修概要

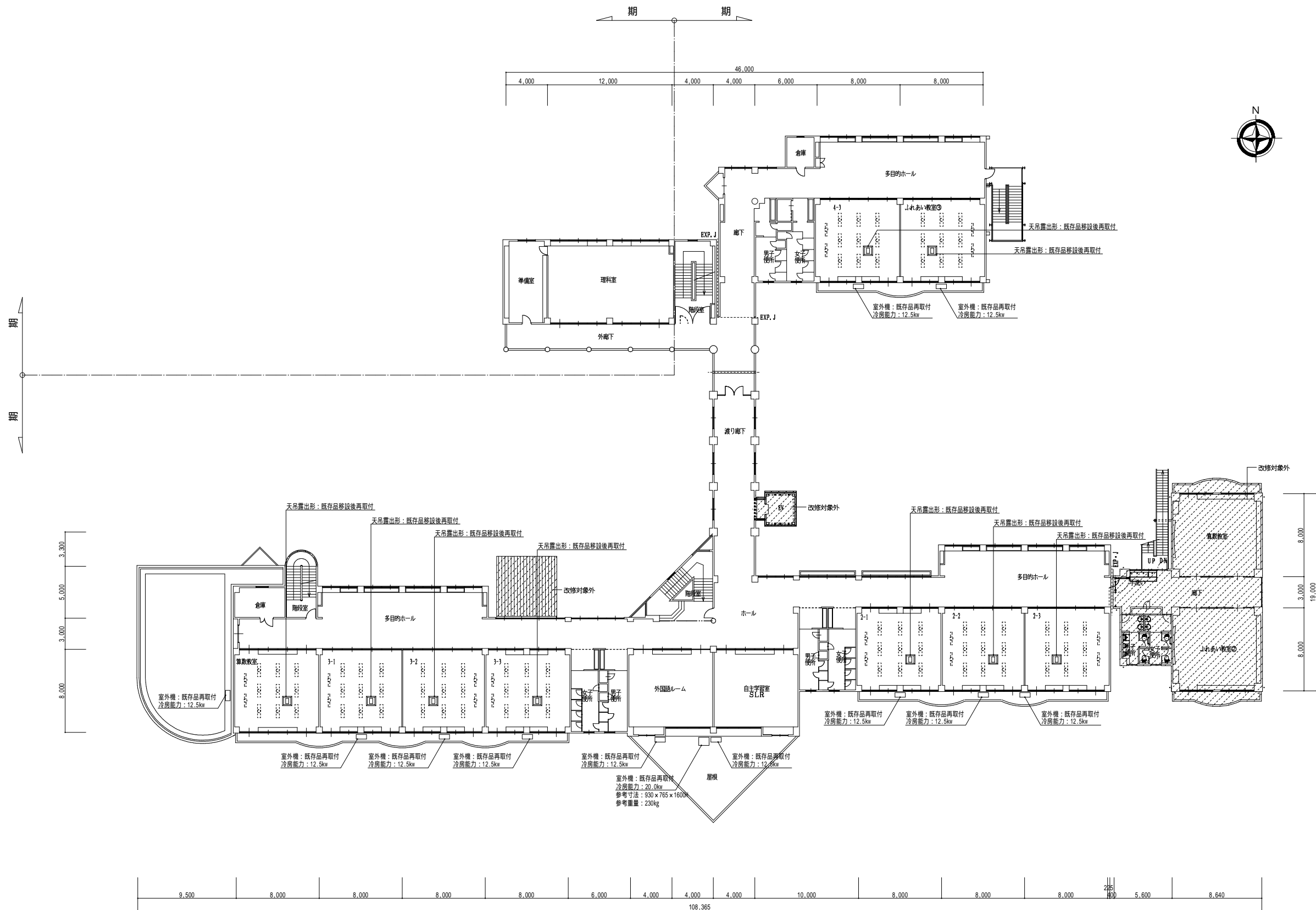
空冷ヒートポンプパッケージ室外機  
建築改修に伴う取外し再取付  
ポンプダウン復旧を行うこと。

空冷ヒートポンプパッケージ室内機  
照明LED化に伴う取外し再取付（移設）  
配置変更に伴い、以下の配管・配線の撤去新設を行うこと。  
[新設] 2.0m/箇所 程度  
[撤去] 0.5m/箇所 程度

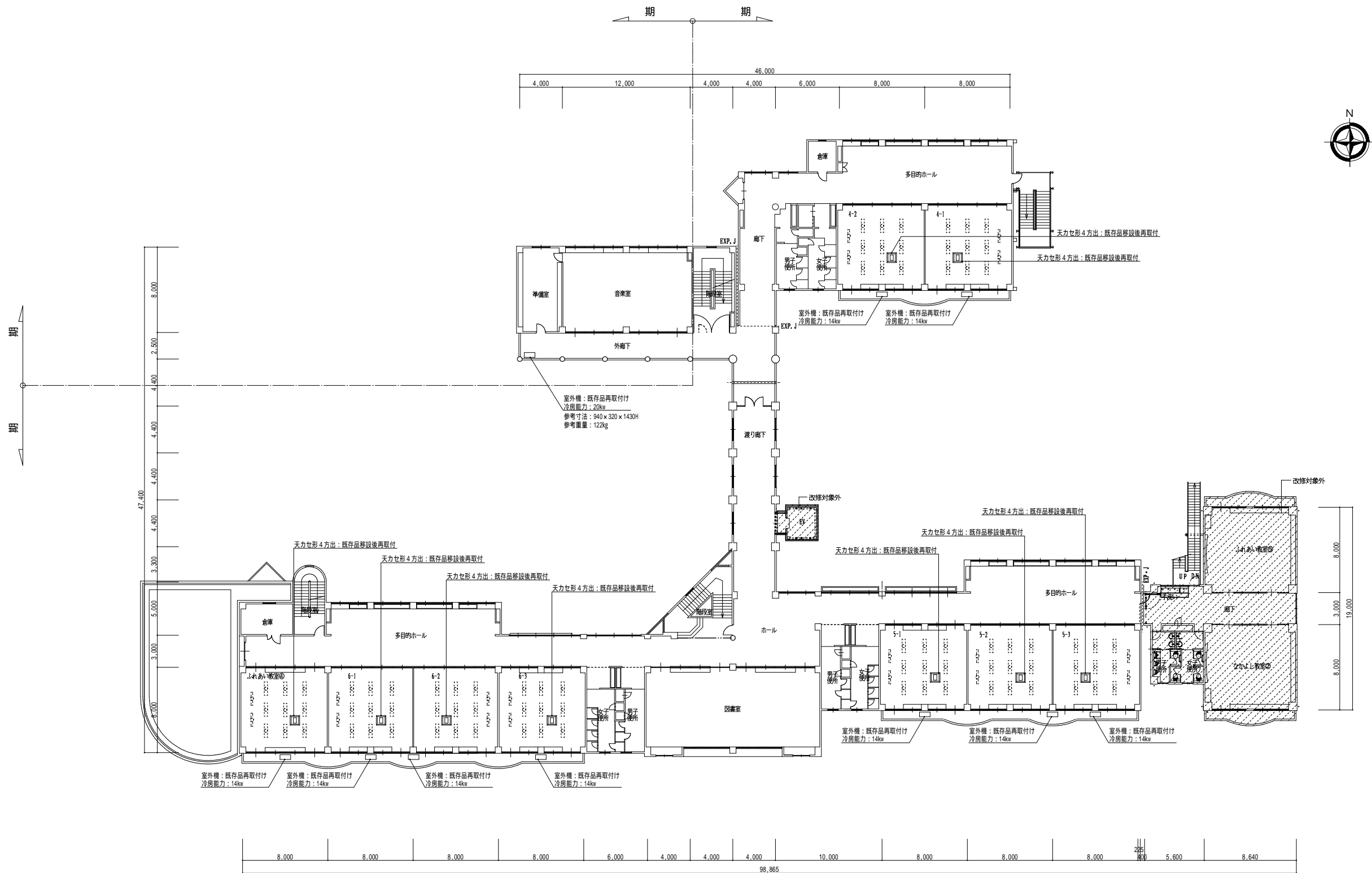
配管配線仕様

- 冷媒管 ...冷媒管用断熱材被覆銅管  
9.5 / 15.9 （天井内）
- ドレン管...硬質ポリ塩化ビニル管  
25VP（天井内）  
GW保温材t20/ALGC共
- 連絡配線...EM-EEF2.0mm-3C  
EM-CEES1.25sq-2C  
既存メーカー及び配線の仕様合せとする。



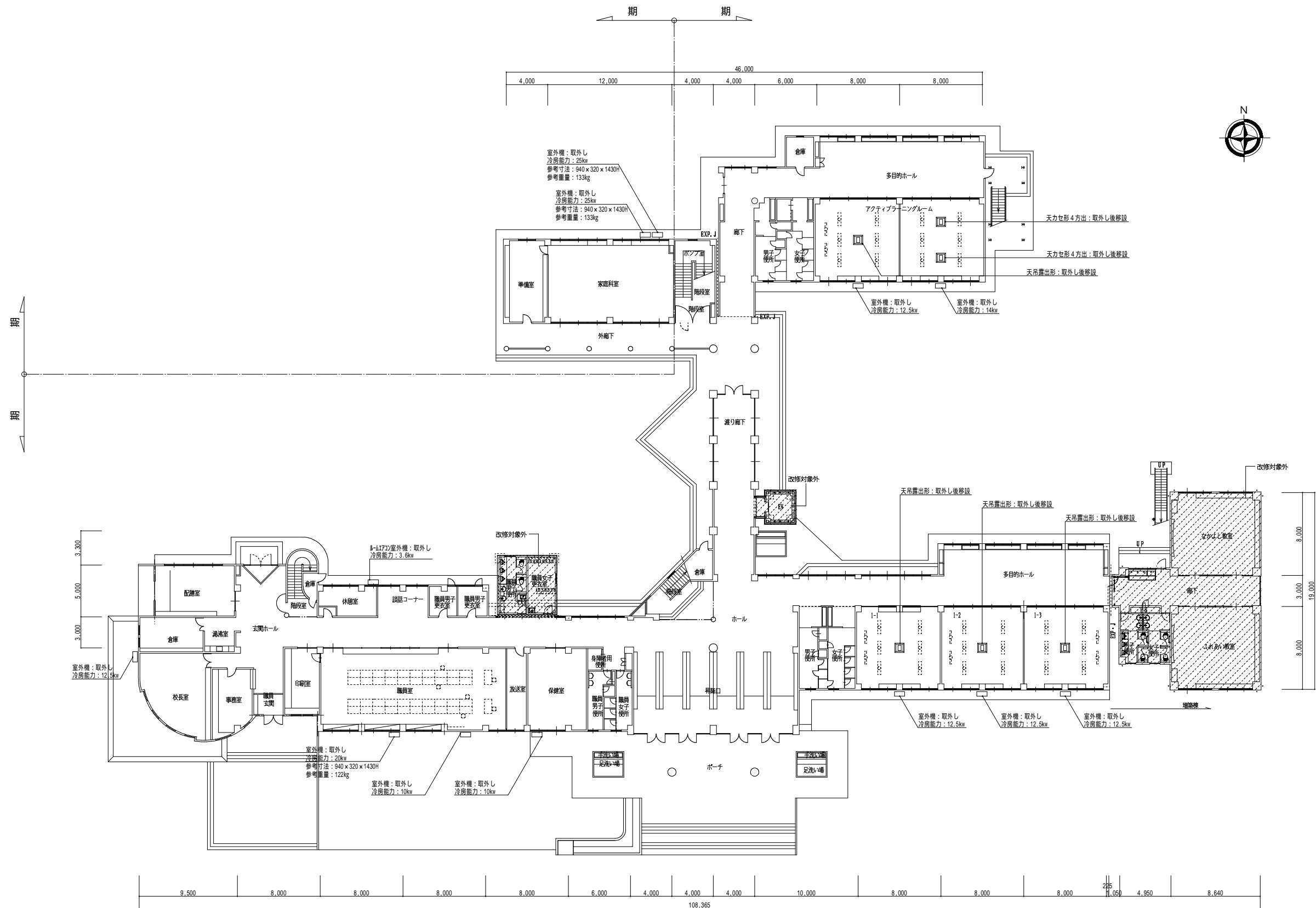


2 階平面図 S=1/200

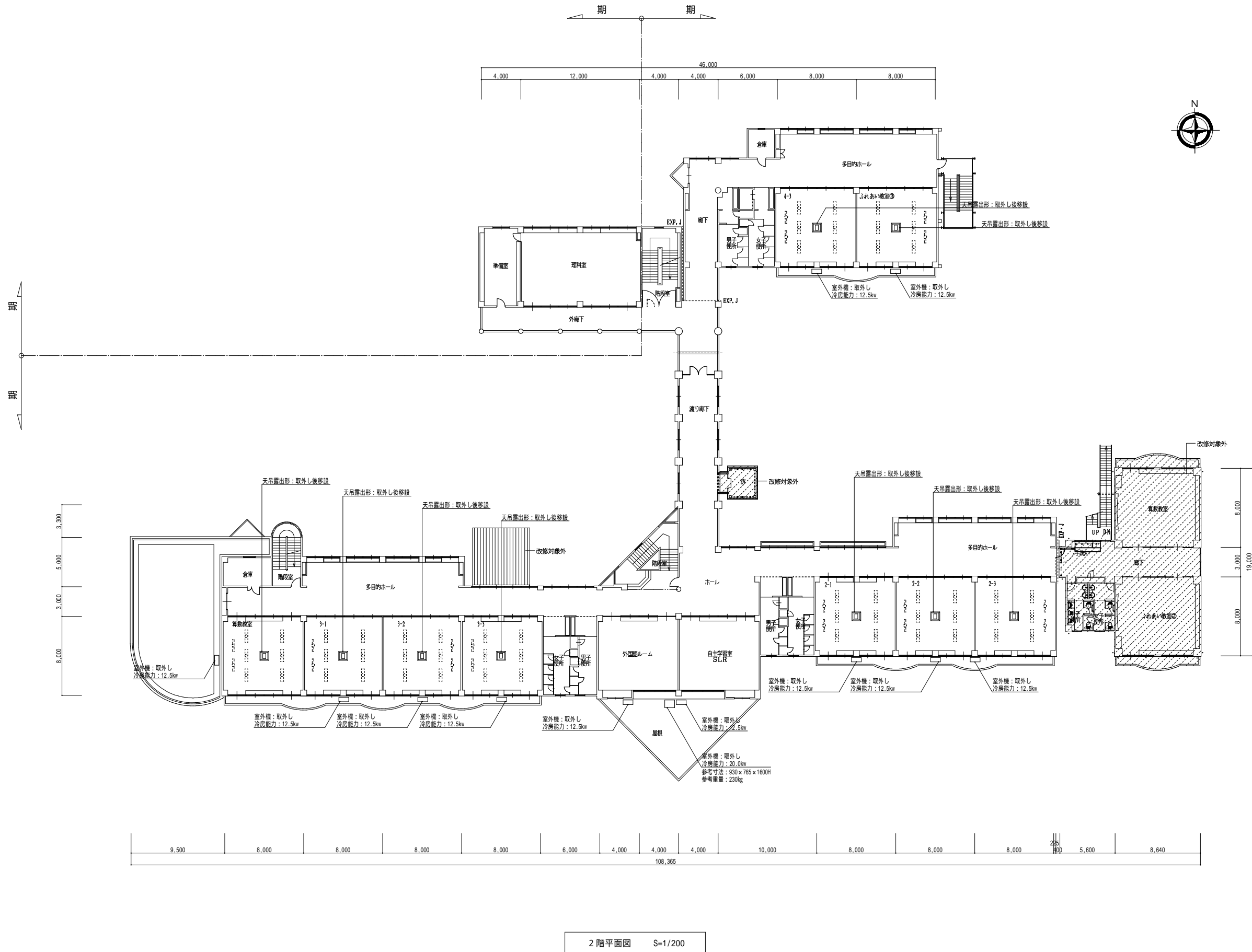


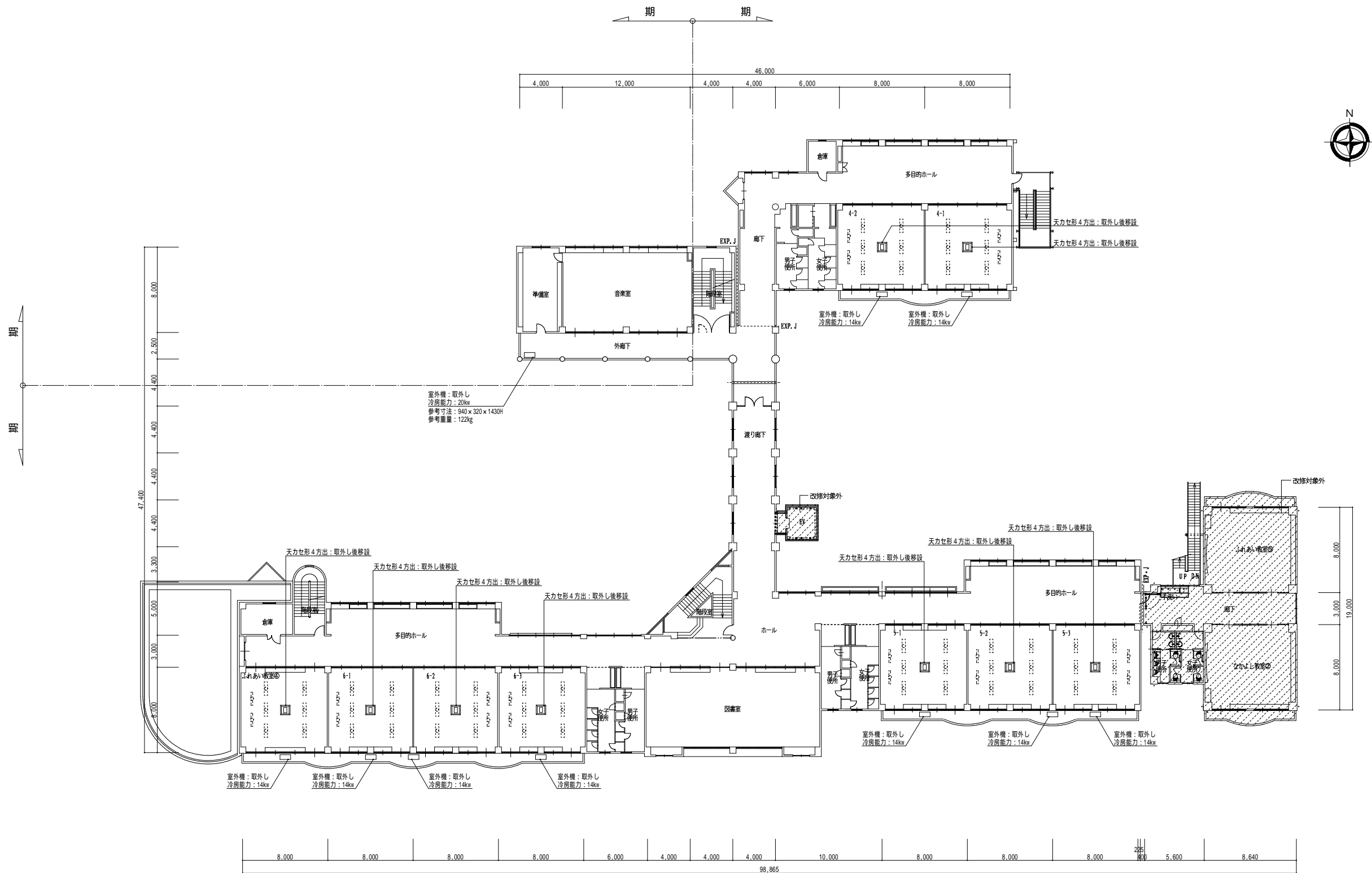
3 階平面図 S=1/200





1 階平面図 S=1/200





3 階平面図 S=1/200